

令和7年度（2025年度）

道立特別支援学校 高等部のしおり

令和7年（2025年）6月
北海道教育庁
学校教育局特別支援教育課

道立特別支援学校高等部における入学者選考の概要

1	対象となる生徒（出願資格）	P	4
2	入学者選考の方法について	P	4
3	事前の教育相談について	P	5
4	入学者選考に係る主なスケジュールについて	P	5
5	知的障がい特別支援学校の高等部について	P	6

各学校の紹介

凡例

視覚	……視覚障がいの学校
聴覚	……聴覚障がいの学校
知普	……知的障がいの学校（普通科のみを設置する学校）
知職	……知的障がいの学校（職業学科のみを設置する学校）
知職・普	……知的障がいの学校（職業学科と普通科を設置する学校）
肢普	……肢体不自由の学校（普通科のみを設置する学校）
肢職・普	……肢体不自由の学校（職業学科と普通科を設置する学校）
病弱	……病弱の学校
肢普・病	……肢体不自由と病弱の学校

【視覚障がい】

•	視覚	北海道札幌視覚支援学校	P	9
---	----	-------------	---	---

【聴覚障がい】

•	聴覚	北海道高等聾学校	P	13
---	----	----------	---	----

【知的障がい】

（道央圏）

•	知普	北海道美唄養護学校	P	17
•	知普	北海道南幌養護学校	P	19
•	知普	北海道夕張高等養護学校	P	21
•	知職	北海道雨竜高等養護学校	P	23
•	知普	北海道札幌養護学校白桜高等学園	P	25
•	知普	北海道札幌養護学校共栄分校	P	27
•	知普	北海道星置養護学校ほしみ高等学園	P	29

•	知普	北海道札幌伏見支援学校	P	31
•	知普	北海道札幌伏見支援学校もなみ学園分校	P	33
•	知職	北海道札幌高等養護学校	P	35
•	知職	北海道札幌稲穂高等支援学校	P	37
•	知職・普	北海道札幌あいの里高等支援学校	P	39
•	知職	北海道千歳高等支援学校	P	41
•	知職	北海道白樺高等養護学校	P	43
•	知職	北海道新篠津高等養護学校	P	45
•	知普	北海道余市養護学校	P	47
•	知普	北海道余市養護学校しりべし学園分校	P	49
•	知職	北海道小樽高等支援学校	P	51
•	知普	北海道室蘭養護学校	P	53
•	知職	北海道伊達高等養護学校	P	55
•	知普	北海道平取養護学校	P	57
•	知普	北海道平取養護学校静内ペテカリの園分校	P	59

(道南圏)

•	知普	北海道七飯養護学校	P	63
•	知普	北海道七飯養護学校おしま学園分校	P	65
•	知職・普	北海道函館高等支援学校	P	67
•	知職	北海道北斗高等支援学校	P	69
•	知職	北海道今金高等養護学校	P	71

(道北圏)

•	知普	北海道鷹栖養護学校	P	75
•	知普	北海道東川養護学校	P	77
•	知職・普	北海道旭川高等支援学校	P	79
•	知職	北海道美深高等養護学校	P	81
•	知職	北海道美深高等養護学校あいべつ校	P	83
•	知職	北海道小平高等養護学校	P	85
•	知普	北海道稚内養護学校	P	87

(オホーツク圏)

•	知普	北海道北見支援学校	P	91
•	知普	北海道紋別養護学校	P	93
•	知普	北海道紋別養護学校ひまわり学園分校	P	95
•	知職・普	北海道紋別高等養護学校	P	97

(十勝圏)

•	知普	北海道帯広養護学校	P	101
•	知職	北海道新得高等支援学校	P	103
•	知職・普	北海道中札内高等養護学校	P	105
•	知職	北海道中札内高等養護学校幕別分校	P	107

(釧根圏)

•	知普	北海道釧路養護学校	P	111
•	知職・普	北海道釧路鶴野支援学校	P	113
•	知職・普	北海道中標津支援学校	P	115

【肢体不自由】

•	肢職・普	北海道岩見沢高等養護学校	P	119
•	肢普	北海道真駒内養護学校	P	121
•	肢普・病	北海道手稲養護学校	P	123
•	肢普	北海道拓北養護学校	P	125
•	肢普	北海道函館養護学校	P	127
•	肢普	北海道旭川養護学校	P	129
•	肢普	北海道網走養護学校	P	131

【病弱】

•	病弱	北海道手稲養護学校三角山分校	P	135
---	----	----------------	---	-----

【札幌市】

•	病弱	市立札幌山の手支援学校	P	139
•	肢普	市立札幌北翔支援学校	P	141
•	知職	市立札幌豊明高等支援学校	P	143
•	知職・普	市立札幌みなみの杜高等支援学校	P	145

道立特別支援学校高等部における入学者選考の概要

1 対象となる生徒(出願資格)

- 特別支援学校の中学部、中学校又は義務教育学校を卒業した者(令和8年(2026年)3月末日までに卒業する見込みの者を含む。)
 - 中等教育学校の前期課程を修了した者(令和8年(2026年)3月末日までに終了する見込みの者を含む。)
 - 道教委が作成する「募集要項」及び各学校で定める「募集要領」に記載している要件を満たす者
- ※ 令和8年度(2026年度)の「募集要項」は11月下旬、「募集要領」は12月上旬に公表する予定です。出願資格、出願手続き等について御確認ください。

令和7年度特別支援学校高等部入学者選考における出願資格(参考)

例1:「知的障がいのある者」

- 医師の診断がある、又は、公的な機関において知能検査の結果や社会生活への適応の困難性などから知的障がいと判断されている
- 知的障がい特別支援学級に在籍している
- 療育手帳を取得している(取得見込みを含む)
(令和7年度(2025年度)北海道立特別支援学校高等部(知的障がい)生徒募集要領)

例2:特別支援学校分校高等部(北海道星置養護学校ほしみ高等学園、北海道札幌養護学校白桜高等学園、北海道美深高等養護学校あいべつ校及び北海道中札内高等養護学校幕別分校を除く。)への出願

- 原則として当該特別支援学校(平成19年3月以前に設置されていた養護学校を含む。)
分校中学部を卒業した者(令和7年3月末日までに卒業する見込みの者を含む。)
(令和7年度(2025年度)道立特別支援学校(高等部)入学者募集要項)

例3:病院・施設を併設している特別支援学校

- 原則として各学校が隣接している病院への入院・施設への入所をしている者
(令和7年度(2025年度)道立特別支援学校(高等部)入学者募集要項)

2 入学者選考の方法について

- ※ 令和8年度(2026年度)の入学者選考の方法については、11月下旬に公表を予定している「募集要項」に記載しますので、必ず御確認ください。

令和7年度特別支援学校高等部入学者選考の方法について(参考)

- 出願先の校長は、次の選考検査の結果及び個人調査書を総合的に評価し、選考する。
- 視覚障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校
ア 障害状況調査 イ 面接
- 聴覚障害者、肢体不自由者又は病弱者である生徒に対する教育を行う特別支援学校
ア 学力検査(国語、数学その他出願先の校長の定める教科について行う。)
ただし、北海道真駒内養護学校、北海道手稲養護学校、北海道拓北養護学校、北海道函館養護学校、北海道旭川養護学校及び北海道網走養護学校にあっては、他の検査によることができる。
イ 障害状況調査 ウ 面接
- 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校
ア 学習状況検査 イ 面接
- 普通科(訪問教育)に出願する者にあっては、他の検査によることができる。
(令和7年度(2025年度)道立特別支援学校(高等部)入学者募集要項)

3 事前の教育相談について

教育相談は、授業見学や寄宿舍の様子など、学校生活を知る貴重な機会です。
できるだけ早い時期に、希望する特別支援学校の教育相談を受けてください。

※ 教育相談で話をする内容について

☐ 授業内容について	☐ 通学手段について
☐ 教育課程について	☐ 寄宿舍について
☐ 指導体制について	☐ てんかんやアレルギーについて
☐ 卒業後の進路について	☐ 諸経費等について
など	

- ※ その他、疑問や不安に感じることにについて担当者に確認をしてください。
※ なお、教育相談の実施に当たり、中学校等の担当者の同行を一律に求めることはありません。

4 令和8年度入学者選考に係る主なスケジュールについて

時期	内容
6月～11月	○ 公立特別支援学校配置計画案の公表(6月) ○ 事前の教育相談の開始 ※ 教育内容や学校生活の理解、志望学科の選択など ※ 学校見学や教育相談は、原則、在籍している学校から入学を志望する学校に申込み ○ 「道立特別支援学校高等部のしおり」発行 ○ 「進路指導協議会」の実施(7月) ○ 公立特別支援学校配置計画の公表(9月)
11月下旬～	○ 北海道教育委員会公報で「募集要項」告示 (道教委特別支援教育課Webページに掲載)
12月	○ 高等部を設置する特別支援学校のWebページ上にて、「募集要領」を公表 ○ 中学校から入学を希望する学校へ出願書類を請求
1月上旬	○ 中学校から入学を希望する学校へ入学願書を提出
1月30日(金)	○ 入学者選考検査
2月12日(火)	○ 合格者発表 ※ 第2次募集人員の発表

5 知的障がい特別支援学校の高等部について

知的障がい特別支援学校の高等部は、生徒やその保護者が障がいの程度により学科を選択するのではなく、将来の進路希望等に応じて、教育課程の特色や学ぶ内容によって学校を選択することができる受入体制を整備するなど、一人一人の教育的ニーズに応じた専門性の高い教育を行います。

○ 知的障がい特別支援学校高等部の学科と学習内容について

普通科のみを設置している学校	普通科	保護者や地域の人々等の支援をもとに可能な限り社会に参加するために必要な知識や技能、態度などの能力を養うことを目指して、身辺処理能力など、基本的な生活習慣の向上を図ることを中心とした学習を行います。
職業学科を設置している学校	普通科	幅広く知識や技能を学ぶことで、卒業後の自立(職業自立、社会自立)に必要な知識や技能の習得を目指して、知的障がい特別支援学校の各教科別の指導や就業体験、ボランティア活動、社会体験活動等の体験的な学習を行います。
	職業学科	卒業後の自立(職業自立、社会自立)に必要な知識、技能、態度などの能力を養い、その習慣形成を目指して、作業学習を中心に行います。

学科名	主な学習内容
農業科	野菜や花などの栽培などの学習
園芸科	野菜、果樹及び草花の栽培などの学習
生産技術科	木や紙などの様々な素材を使った製品の製造、リサイクル活動などの学習
窯業科	セラミック製品の製造、陶器制作、紙などを主材料とする製品の製造などの学習
木工科	テーブルやペン立てなど木材製品の製造などの学習
情報ものづくり科	コンピュータ等の情報機器を用いた製品の製造などの学習
工業科	コンクリート製品や金属加工製品の製造などの学習
環境・流通サポート科	ビルクリーニングや、書類等の発送事務など流通に関する学習
家庭総合科	被服の製作や手芸作品、調理、住居の管理などの学習
被服デザイン科	被服の製作や手芸作品などの学習
食品デザイン科	調理や住居の管理などの学習
クリーニング科	衣服や絨毯などの洗濯、乾燥、仕上げなどの学習
福祉サービス科	介護技術や家事援助、接客やサービスなどの学習
福祉デザイン科	介護・家事援助や保育、家庭看護などの学習
産業総合科	製造、流通、福祉などの複数の作業を組み合わせた学習

【視覚障がい】

石狩管内

北海道札幌視覚支援学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒064-8629 札幌市中央区南14条西12丁目1-1
☐ 問合せ先 TEL 011-561-7107
 FAX 011-561-2423
 E-mail sapporoshikaku-zO@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.sapporoshikaku.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 基本理念

「視覚障がい教育の専門性を発揮し、教育機能、理療機能、支援機能を推進する学校」

□ 学校教育目標

「将来に向かって」

- 意欲的に学び、考える人
- 心を豊かに伝え合い、思いやりのある人
- 健康で、たくましく活動する人

□ 概要

本校は、視覚に障がいのある幼児児童生徒に対し、幼稚部から専攻科まで一貫した専門的な教育を行う学校として、北海道札幌盲学校と北海道高等盲学校が統合し、平成27年4月に開校した学校です。高等部は、普通科と高等学校卒業後に入学できる専攻科を設置しています。

専攻科は、あん摩・マッサージ・指圧師、はり師、きゅう師の国家資格を取得するための学科（保健理療科、理療科）を設置しており、途中で視覚障がいとなった方も多数入学しています。



■特色ある教育活動

高等部普通科の教育目標

障がいによる困難を主体的に改善し、責任ある社会人として必要な知識・技能とたくましく生きる力をもつ次のような生徒を育てる

- 将来を見据え、自ら学び、考え、表現できる生徒
- 自他を尊重できる生徒
- 健康と安全を管理し、心身を鍛えることができる生徒

【 安心・安全な教育環境 】

校内を安全に移動するための誘導ブロックや見やすい教室表示、明るさを調節できる教室照明、遮光カーテン等、見えない、見えにくい生徒が安心・安全に過ごせる教育環境を整備しています。

【 視覚障がいに適した学習内容・方法 】

点字や文字を拡大して読むことは時間がかかるため、学習内容を精選して学習し、基礎・基本の定着が図られるようにしています。個々の生徒の実態に応じて、「聴くこと」「触ること」「残存視力を活用すること」を生かした教材・教具で学習に取り組みます。

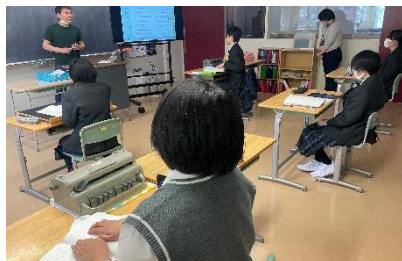
【 ICT機器の活用 】

高等部普通科では、生徒全員がタブレット端末を所有しており、校内Wi-Fiネットワークを活用した学習に取り組んでいます。最適な環境で調べ学習を行ったり、デジタル教科書を利用したりすることにより、ICT機器の活用能力を高め、視覚障がいによる「情報収集」「文字の読み書き」等の困難さを改善・克服しています。

【 視覚障がい者スポーツの取組 】

本校に入学してから視覚障がい者スポーツを通して「運動する楽しさ」を味わう生徒が多く、部活動を通して全国大会への出場やアスリート発掘プロジェクトに参加している生徒もいます。

※ 特別支援学校高等部や高等学校を卒業した方を対象とした専攻科を設置し、あん摩・マッサージ・指圧師、はり師、きゅう師の国家資格取得に向けた学習をします。（理療科、保健理療科）



普通科：点字や拡大文字による教科学習



普通科：ICTを活用した学習



普通科：職業での作業学習



普通科：単独歩行に向けた学習



専攻科：あん摩施術の学習



普通科：ゴールボールの学習

■普通科第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	地理総合	現代の国語	倫理表現	音楽	現代の国語
2	英語C○	生物基礎	公共	数学I	体育
3	言語文化	数学A	数学I	英語C○	公共
4	数学I	英語C○	体育	地理総合	数学A
5	音楽	家庭総合	自立活動	体育	生物基礎
6	体育	家庭総合	言語文化	LHR	倫理表現

※英語C○：英語コミュニケーション

【重複障がい学級】

	月	火	水	木	金
1	自立活動	社会	自立活動	自立活動	自立活動
2	体育	職業	体育	職業	数学
3			情報		国語
4	音楽	自立活動	音楽	道徳	理科
5	数学		美術		美術
6	国語	英語	LHR	LHR	

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施
登校時間 8:40（月～金） 下校時間 15:25（月～金）

■教育課程の特徴

高等部普通科の普通学級と重複障がい学級は、学校行事や生徒会活動、部活動等で生徒と一緒に協力して活動しています。

□ 高等部普通科（普通学級）

高等学校と同じ教科書（拡大版、デジタル版、点字版、音声版）を使用して、同じ内容を学習します。

進学希望者には、模擬試験や放課後に講習等を行います。また、インターンシップでの職業体験活動や、札幌市内の高等学校との交流及び共同学習を行います。

□ 高等部普通科（重複障がい学級）

国語や数学、情報、職業等では、知的障がい者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科等の目標や内容を学習します。生徒の実態に合わせたグループ学習を中心に、卒業後の就労に向け、達成感や自己有用感を味わえるような授業を行います。

現場実習では、生徒の実態に応じて「学校近隣での実習」「居住地での実習」「卒業後の就労を前提とした実習」を行っています。

□ 自立活動の学習

視覚障がいによる困難さを生じやすい、学習や生活の基盤となる「文字の読み書き」「情報収集」「移動」「日常生活動作」などを中心に、個別に自立活動の学習を行います。

高等部普通科では、早い段階で単独での登下校（帰省・帰舎）が行えるよう、歩行訓練に取り組みます。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 一般就労（高等部専攻科）～2名【小野治療院、株式会社フレアス】
- 福祉的就労（高等部普通科）～3名【函館視力障害センター（理療教育）、キャリアエスコート】
【就労継続支援B型事業所 ワークプレイスさんれっと】
- 進学（高等部普通科）～3名【筑波技術大学共生社会創成学部共生社会創成学科（視覚障害コース）】
【本校専攻科保健医療科、札幌ビジュアルアーツ専門学校】

学校Webページ



【聴覚障がい】

後志管内

北海道高等聾学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- ☐ 住 所 〒047-0261 小樽市銭函1丁目5番1号
☐ 問 合 せ 先 TEL 0134-62-2624
 FAX 0134-62-2663
 E-mail koutourou-zO@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

- ・個に応じた教育を進め、言語的思考力と自ら学ぶ力を育てる。
- ・自己理解を深め、的確にコミュニケーションを行う力を育てる。
- ・集団生活をとおして、ものの見方、考え方を広げ、個性を伸ばし豊かな人間性育てる。

□ 校 訓

- ・ 進んで実行する人になろう（自主・自立）
- ・ 働くよろこびを知る人になろう（勤労・責任）
- ・ 伝え合うよろこびを知る人になろう（対話・協働）



□ 概 要

本校は、聴覚障がい特別支援学校において高等部を設置している道内唯一の学校です。本科には、「普通科（普通学級、重複学級）」「クリーニング科」「産業技術科」「生活情報科」の4学科があります。専攻科には、「情報デザイン科」の1学科があります。

■特色ある教育活動

- 1 学ぶ喜びを実感できる授業づくりと確かな学力の育成
- 2 多様なコミュニケーション方法の習得と活用
- 3 生徒・学生の自立と社会参加を目指した社会適応力と必要な健康や体力の育成
- 4 地域や関係機関との連携強化及びろう・難聴者との関わり
- 5 個性に応じた進路選択・決定の主体的な態度の育成
- 6 自立活動の充実によるセルフアドボカシーの育成
- 7 重複学級では、卒業後の生活に関わる「働く力」「生活する力」「余暇を過ごす力」の育成
- 8 専攻科では、職業に関するより専門的な知識・技能の習得と創造性豊かな社会生活ができる力の育成

【 普通科 】

普通学級では、社会人として必要な一般教養を身に付け、社会への適応力を養うとともに、大学や専門学校などへの進学に対応できるよう、学力の向上を図っています。重複学級では、社会で生活できる力の伸長を目指し、個別での学習と集団での学習を組み合わせで行っています。

【 職業学科 】

クリーニング科では、クリーニング師国家試験合格や働く力の育成を目指して、個々の能力に応じたきめ細かい指導を行っています。実習を通して自ら考える力や仲間と協力して取り組む力を身に付け、達成感や自己肯定感を得て、主体的に社会に参加できることを目指しています。

産業技術科では、主に木材や金属などの材料を使った「ものづくり」、製図、電子機器、コンピュータを使った情報技術を学習します。「ものづくり」に必要な心構えや、知識・技能の習得を目指します。製品を完成させたときの喜びを感じ、新しい時代の「ものづくり」を担う人材として活躍することを願っています。

生活情報科では、生活およびデータ作成についての基礎から専門的な知識・技術を、実習等の体験的な学習を通して指導しています。自分らしさを生かした人生設計と、社会生活に適應できる力の育成を目指しています。多くの生徒が各種検定や資格取得を目標にして、日々積極的に学習しています。



普通科普通学級：A L Tとの学習



普通科重複学級：カフェの企画



クリーニング科：法被のプレス



産業技術科：木工



生活情報科：ファッション造形



情報デザイン科：高鷲祭ディスプレイ

■第1学年生徒の週時程表

【 普通科 】 左：普通学級、右：重複学級

	月		火		水		木		金	
1	LHR		数学 I	国語	言語文化	数学	自立活動		公共	国語
2	公共	体育	現代の国語	体育	英語 コミュ I	体育	体育	生単	保健	生単
3	言語文化	数学	情報 I	数学	数学 I	生単	公共	生単	言語文化	生単
4	体育	国語		生単	生物基礎	自立	数学 A	情報	英語 コミュ I	
5	数学 I	作業学習	地学基礎	作業学習	美術 I	作業学習	現代の国語	作業学習	地学基礎	作業学習
6	英語 コミュ I		英語 コミュ I				生物基礎		数学 A	

【 職業学科 】

	月	火	水	木	金
1	LHR	公共	言語文化	自立活動	数学Ⅰ
2	情報Ⅰ	科学と人間生活	公共	体育	英語 コミュニケーションⅠ
3		英語 コミュニケーションⅠ	専門科目	現代の国語	専門科目
4	体育	保健		科学と人間生活	
5	現代の国語	数学Ⅰ	数学Ⅰ	美術	家庭基礎
6	科学と人間生活	言語文化	英語 コミュニケーションⅠ		

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

※「コミュ」は英語コミュニケーション、「生単」は生活単元学習、「自活」は自立活動の略

※ 登校時間 8：30（月～金） 下校時間 15：40（月～金）

■教育課程の特徴

基礎的・基本的な内容を身に付け、可能性を引き出す教育を重視しています。

□ 自立活動の指導

「コミュニケーション」「社会生活」「進路」を主なテーマとし、社会自立に向けた自己理解が図られるよう指導しています。

□ 習熟度別グループでの学び

一人一人の教育的ニーズに応じた習熟度別の学習グループを編成し、指導を行っています。

□ 検定受検と資格取得に向けた取組

検定受検や資格取得は、将来の進学・就職に役立つだけでなく、生徒の自信と学びへの推進力となります。検定受検や資格取得に向け、授業の内外で積極的に学習に取り組んでいます。

□ 職業教育

希望する進路の実現に向け、働くために必要な力を身に付けるとともに、自分の適性を理解して進路選択できるよう、就業体験や自立活動、各学科での実習等を通して学びを積み重ねます。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）※本科、専攻科

- 進学 ～9名【筑波技術大学、北翔大学、専門学校（調理、美容、デザイン）、本校専攻科】
- 一般就労 ～4名【自動車製造、介護施設、高速道路サービスエリア】
- 福祉的就労～4名【就労継続支援A型】【就労継続支援B型】



【知的障がい】
（道央圏）

空知管内

北海道美唄養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒072-0811 美唄市東7条南3丁目1-1
- 問 合 せ 先 TEL 0126-62-6511
FAX 0126-62-6512
E-mail bibaiyugo-zo@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.bibaiyugo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「児童生徒の主体的に生きる力を伸ばし
地域社会の中で豊かに生活する人を育てる」
- 教 育 信 条
「あくまでも優しく あくまでも厳しく」
- 概 要



本校は昭和52年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。高等部は、平成10年に設置され、知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、交流及び共同学習や地域への貢献活動など地域の人材や資源を生かした学習活動を通して、卒業後の自立と社会参加を目指しています。生徒一人一人が培ってきた力を土台に、現在の学校生活を豊かにするとともに、将来の社会参加、自立に必要な力を養うための教育を行っています。寄宿舎では、一人一人の発達の段階に応じて、生活スキルの向上を図るほか、日常生活を豊かに過ごすための様々な余暇活動に取り組んでいます。

■特色ある教育活動

高等部教育目標「地域社会とのつながりを意識し、生活する力を身に付ける」

- (1) 社会生活に必要な基本的生活習慣を身に付ける
- (2) 身体の状態の改善・維持・増進を図る
- (3) 自ら考え、主体的に行動する力を身に付ける
- (4) 意欲的に社会参加する力を身に付ける
- (5) 心理的な安定を図り、円滑にコミュニケーションをとれる力を身に付ける

【 進路の学習 】

総合的な探究の時間を中心に、卒業後の生活を見据えた進路学習に計画的に取り組んでいます。「働くことの理解」「挨拶、言葉遣い、マナー」「社会見学（事業所・施設見学）」「現場実習（含事前・事後学習）」等の指導内容を配置し、自己理解を促し卒業後の生活について考える学習に取り組めます。同時期に、終日作業学習を行う「集中作業日」（3日間）を設けているほか、学校生活全般を通して、様々な人との関わりの中で生活していくために必要な力を身に付ける指導を行っています。

【 地域の清掃活動 】

「生徒自身が地域の人々のために役に立てることはないだろうか」と考え、年に数回、美唄市役所市民部生活環境課と連携し、学校周辺地域の環境整備として清掃活動に取り組んできました。地域の方からの「お疲れ様」「ありがとう」の感謝の声は、生徒たちの励みとなっています。

【 交流及び共同学習 】

同年代の生徒と協働した活動を通して生活経験を広げ、社会性や豊かな人間性を育てることを目的として、美唄市にある高等学校2校と交流及び共同学習に取り組んでいます。



作業学習



現場実習：事務所



校外学習



体育：20分間走



高等部祭：ビンゴ大会



生活単元学習：選挙

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	国語・数学	保健体育	国語・数学	保健体育	保健体育
3	作業学習	生活単元 学習	作業学習	作業学習	生活単元 学習
4					
5	日常生活の指導（給食）				
6	保健体育	音楽	日常生活の 指導	生活単元 学習	LHR
7					
8	日常生活の 指導	日常生活の 指導		日常生活の 指導	日常生活の 指導

【重複障がい学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	自立活動	保健体育	自立活動	保健体育	保健体育
3		生活単元 学習		自立活動	生活単元 学習
4					
5	日常生活の指導（給食）				
6	保健体育	音楽	日常生活の 指導	生活単元 学習	LHR
7					
8	日常生活の 指導	日常生活の 指導		日常生活の 指導	日常生活の 指導

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

* 登校時間 8:50～9:00（月～金）

* 下校時間 14:50（月・火・木・金）／13:20（水）

■教育課程の特徴

生徒一人一人の教育的ニーズや障がいの特性、発達の段階等を考慮し、グループ別学習を行うとともに、本校小・中学部の教育課程との一貫性を踏まえた教育課程を編成しています。

□ 作業学習

作業学習は4つの作業班を設定しています。

- ・環境班（清掃活動、農作業等）
- ・陶芸班（皿などの製作、販売に向けた取組等）
- ・リサイクル班（空き缶・ペットボトル回収、分別等）
- ・生活総合班（クラフト、木工作業等）

3年間を通して一つの作業班に所属して学習するのではなく、年度ごとに意向調査を行い、作業班の変更を可能としています。生徒が様々な作業を通して、自身の作業適性や特性（よさ）を知るなど、自己を理解する機会としています。

□ 現場実習

生徒、保護者の願いを踏まえ、卒業後の生活を見据えた現場実習を行っています。各事業所等での作業や余暇的な活動を経験し、進路を選択するための学習を計画的に進めます。

- ・第1学年：学校近隣の事業所で行う実習（3日間）
- ・第2学年：自宅から通勤して行う実習（5日間）
- ・第3学年：卒業後の福祉的就労先で行う実習（10日間）

※必要に応じて、追加の実習を行います。

□ 生活単元学習

生活年齢にふさわしい単元設定を意識し、ねらいに合わせて学習集団を学部全体、学年、学級などで構成し学習活動を進めています。

□ 自立活動の指導

生徒一人一人の学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するための指導を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

□ 福祉的就労～19名（就労継続支援B型～8名/自立訓練～1名

/生活介護～9名/共同生活援護（GH）1名）

学校Webページ



空知管内

北海道南幌養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒069-0232 空知郡南幌町緑町5丁目1番1号
- 問 合 せ 先 TEL 011-378-2313
- FAX 011-378-2319
- E-mail nanporoyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.nanporoyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「一人一人が力と個性を発揮し 社会で豊かに生活する力を育む」

- 校 訓
「健康」「協力」「努力」

- 概 要
本校は昭和60年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。平成10年に高等部が設置され、生徒一人一人の発達の状態や障がいの特性、課題等を踏まえ、よさや可能性を最大限に伸ばし、将来につながる基礎的・基本的な力を身に付けることを目標としています。

また、寄宿舎では、基本的な生活習慣や社会性、主体的な生活態度の育成・定着を図っています。

令和2年度から学校運営協議会設置校（コミュニティ・スクール）となり、一層地域と連携した教育活動の充実を図っています。



■特色ある教育活動

高等部教育目標

様々な経験をとおり、知識や技能を深め、自己選択・自己決定・自己表現できる力を高め、課題解決しながら学び、多様な他者と協働する。

【 各教科等の指導・各教科等を合わせた指導 】

生徒一人一人が、社会生活に役立つ力や表現力を伸ばすことができるよう、集団生活の中で主体的な活動や協力的な活動に一人一人の特性や発達段階等に応じて取り組んでいます。学習内容に応じて、個別の学習やグループ学習で効果的に学ぶことができますようにしています。

【 社会生活実習 】

卒業後の社会生活を考え、教育活動で培った力を実社会で実践し、発展させることを目標として、社会生活実習を行っています。学年進行で段階的に取り組んでおり、町内の施設を活用した実習などを経験し、第3学年では、卒業後に働くことを前提とした実習に取り組んでいます。こうした取り組みを通して、卒業後の生活にスムーズに移行できるようにしています。

【 地域資源を活用した体験学習 】

学習経験の拡充・充実を目指し、地域の物産館や生涯学習センターを活用した調べ学習や体験学習を行っています。学校周辺の地域から、生徒の居住地区や北海道の地域の特徴や文化などに興味を持つことができるよう、発展的に取り組んでいます。



社会生活実習：町内施設での実習



作業学習：町内施設花壇の花植え



作業学習：手芸班の作品



生活単元学習



体力づくり



地域資源を活用した学習：
南幌ビューロー見学

■第1学年生徒の週時程表

【1学年共通（普通学級・重複障がい学級）】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
	S H R				
2	課題別学習・ 自立活動	保健体育			
3	美術	課題別学習・自立活動			
4	LHR	作業学習	作業学習	生活単元 学習	生活単元 学習
5	生活単元 学習／ 総合的な探 究の時間	音楽	保健体育		作業学習
6					

□ 日常生活の指導

生活の流れに沿った実際の場面で指導を行うことで、生活リズムの確立や健康で安全な生活を送るための知識や技能を身に付けることを目指しています。

* 登校時間 8：50（月～金）

* 下校時間 14：50（月～水・金）／13：20（木）

■教育課程の特徴

作業学習、生活単元学習、日常生活の指導を中心に、保健体育や音楽などの教科の学習や総合的な探究の時間、自立活動等を適切に配置し、相互に関連付けながら教育課程を編成しています。キャリア教育の視点を踏まえ“生徒が卒業後の社会生活で役に立つ力”の習得や定着を目指し、日頃学習した体験を日常生活に結び付ける教育活動を推進しています。

□ 作業学習

ものづくりや植物を育てる学習活動を通して、働く意欲を育み、学校生活や卒業後の社会生活をより主体的に送るための知識や技能、態度及び習慣を身に付けることを目指しています。環境・リサイクル班、手芸班等を編制し、学習しています。

□ 生活単元学習

生活に関連する一連の活動を組織的に学習することで、社会生活に必要な事柄を実際の・総合的に身に付けることを目指しています。成功経験を数多く積むことを大切にしながら、卒業後の社会参加に必要な知識や技能などを身に付けます。

□ 自立活動の指導

課題別学習や体力づくりの時間などを通して、個々の目標や生活に合わせた活動に取り組み、主体的に生活していくための知識や技能を身に付けます。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 福祉的就労～16名（就労継続支援B型、生活介護、自立訓練）
- 施設入所 ～ 1名（生活介護1名）

学校Webページ



空知管内

北海道夕張高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

※ 重複障がいがある生徒、知的障がいがある生徒を対象とした特設支援学校です。

■学校の基本情報

- 住所 〒068-0424 夕張市千代田7番地1
- 問合せ先 TEL 0123-56-5530
FAX 0123-56-5532
E-mail yukoyo-zo@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.yukoyo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「Believe in yourself～協働・チャレンジ～
「輝きながら、夢をもって歩む人を育てる」

□ 校訓

「伸びやかに たくましく」

□ 概要

本校は、知的障がいと他の障がいを併せ有する生徒を対象とした高等部普通科のみを設置する特設支援学校として平成13年に開校しました。令和6年度からは、普通学級が設置になり、学年の人数が最大11名となり小規模の良さを生かした教育活動を実践しています。そのため、個々の教育的ニーズに対応した指導が特徴の一つです。また、寄宿舎を併設しており、少人数のゆとりのある空間を利用した生活習慣の育成を目指しています。



■特色ある教育活動

個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づいた一人一人に応じた指導の充実

【 小集団・縦割り学習集団、個別対応による学習形態 】

生徒一人一人の障がいの状態に応じた教育課程を編成し、個々の教育的ニーズに応じた指導を行っています。個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づいて指導体制や教育環境の整備に努め、社会生活において生徒個々に必要となる知識や技能等の実践的な力の育成を行います。

【 個別の課題に応じた進路指導 】

進路選択に向けて、1学年から事業所の見学を行います。事業所における現場実習は2学年から居住地において実施し、3学年になると卒業後の利用を前提とした現場実習を実施します。毎年行う校内実習や地域の教育資源を活用した授業の展開など、丁寧な進路指導に努めています。

【 充実した寄宿舎生活 】

寄宿舎生活では、2人部屋を基本としています。日課に沿った生活を通して、基本的な生活習慣の質を高めるとともに、余暇活動の充実を図り、社会で「生活する力」の育成を行います。

【 個別の配慮が可能な設備・施設 】

校舎は、平屋のバリアフリーの構造で、各学年に1室ずつ冷房付きの教室、全教室に高さを調節できる可動式の洗面台があります。



作業学習



美術



タ張チャレンジプログラム



体育



寄宿舍での余暇活動1



寄宿舍での余暇活動2

■第1学年生徒の週時程表

【全学年共通】（普通学級/重複学級）

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導（朝の会） 保健体育 / 自立活動				
2	国語・数学 / 自立活動				
	中休み				
3	作業学習 / 自立活動			生活単元 学習 / 総合的な 探究の 時間	社会 / 理科
4				自立活動	英語
	日常生活の指導（給食）				
5	音楽	美術	音楽	ホームルーム 活動	自立活動
6	自立活動		自立活動 / 生徒会	日常生活の指導 （帰りの会）	
	日常生活の指導（帰りの会）				

* 登校時間 8:35（月・火・水・木・金）

* 下校時間 14:40（月・火・水）／14:00（木・金）

■教育課程の特徴

本校では、学校教育目標を達成するために『協働・チャレンジ』を合い言葉に、目指す生徒像（資質・能力）として、①日常生活にかかわる力 ②健康・体力にかかわる力 ③相談・理解・表現にかかわる力 ④余暇活動にかかわる力 ⑤人とかかわる力の「5つの力（意欲）」の育成に努めています。

□ 今年度、令和7年度から新しい教育課程を実施しています。

「自立活動」に重点を置き、各教科等を合わせた指導である「作業学習」「生活単元学習」や「体力づくり」「日常生活の指導」。

教科別の指導である「国語」「数学」「理科」「社会」「保健体育」「外国語（英語）」「美術」「音楽」と「総合的な探究の時間」「道徳」を学びます。

□ 自立活動では、一人一人の実態に合わせて、それぞれの課題に即した活動を取り入れ、他の学習と関連付けて学習しています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

□ 福祉的就労（生活介護）～1名

・生活形態 福祉事業所への入所～1名

学校Webページ



空知管内

北海道雨竜高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒078-2600 雨竜町字尾白利加92番地21号
☐ 問合せ先 TEL 0125-78-3101
 FAX 0125-78-3101
 E-mail uryuukoyo-zO@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.uryuukoyo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「～夢・チャレンジ・実現～」

希望に向かって挑戦する、明るく力強く生きる生徒を育てる」

□ 校訓

「健康 誠実 努力 創造」

□ 概要

本校は昭和59年に開校した職業学科を設置する高等養護学校です。5つの学科を設置しており、地域資源を活用した作業学習等を通じて、卒業後の職業自立と社会参加に向け、「働く力・生活する力」「意欲・主体性・自信」を養うための教育を行っています。

寄宿舎では、集団生活におけるルールやマナーを守りながら生活することで、規範意識を高めるとともに、基本的生活習慣の定着を図っています。



■特色ある教育活動

本校では「生徒一人一人が 生き生きと輝き 挨拶と感謝と笑顔があふれる 学校づくり」を本年度の重点と位置づけています。また、指導の重点として【生徒一人一人のために「生徒が主語の授業づくり」「考え、判断し、実践する力の育成」「自分や相手を思いやる心の涵養】を設定し、日々の教育活動に取り組んでいます。

【 農 業 科 】

農業科では、野菜、花の栽培・販売、校地内の花壇整備・管理、近隣地域の農家提供の稲わらを使用した製縄、町内公共施設に四季の鉢花を提供するフラワースマイルプロジェクトなどに取り組みます。

【 生産技術科 】

生産技術科では、農作物の栽培・収穫・販売、花の栽培、紙工作業（名刺・はがき・カレンダー等）、織工作業（コースター、ランチョンマット等）、資料の丁合業務などに取り組みます。町内施設の窓清掃も計画中です。

【 窯 業 科 】

窯業科では、粘土で皿や小鉢、カップ類等の製作・販売活動に取り組みます。また、年間を通した活動として、雨竜米の粳（もみ）を原材料とした釉薬（ゆうやく）「暑寒白鳥釉」作りにも取り組みます。

【 木 工 科 】

木工科では、木材を原料に、材料取り・製材・研磨・組立て・塗装までの工程を通した製品づくりや販売活動に取り組みます。町内の幼児に積木を贈呈する「ウッドスタート事業（学校・雨竜町・東京おもちゃ美術館との協定）」にも取り組みます。

【 工 業 科 】

工業科では、セメントを原料とした各種コンクリート製品（民地仕切石・歩道平板など）や皮革加工による製品（コースターなど）の製造、販売活動に取り組みます。町内の公園遊具の整備や工業科製品を用いた簡単な土木施工にも取り組みます。



農業科：収穫の様子



生産技術科：窓清掃の様子



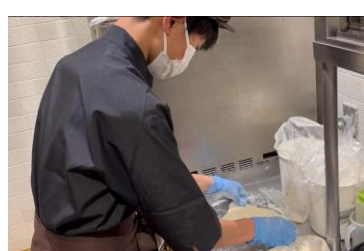
窯業科：スポンジ掛け



木工科：ボール盤による穴開け



工業科：土木施工の様子



現場実習の様子

■第1学年生徒の週時程表

【全学科共通】

	月	火	水	木	金
1	生徒会活動 (委員会・集会)	体力づくり			生活単元学習 ／ 情報
2	作業学習	作業学習	生活単元学習 ／ 情報	作業学習	美術
3					
4					LHR
5	生活単元学習 ／ 総合的な探究の時間	保健体育	国/数	生活単元学習 ／ 情報	
6	国語 ／ 数学		音楽	国語 ／ 数学	

* 登校時間 8:30 (月～金)

* 下校時間 15:30 (月～木)
／12:15 (金)

■教育課程の特徴

作業学習を中心に、各教科等を合わせた指導と教科別の指導を適切に配置し、相互に関連付けて教育課程を編成しています。“卒業後の社会生活（職業生活を中心とした自立と社会参加・社会貢献）のために、どこで生活しても汎用的に役立つ力（強み）”となる知識や技能、態度及び習慣の育成を目指した教育活動を展開しています。

□ 自立活動の指導

一人一人の中心課題を適切に分析し、必要となる項目を選定し、具体的な指導内容を設定します。生活の質を高めるための土台として、全教育活動と関連付けながら意図的・計画的に指導しています。

□ 作業学習

各学科の作業では、仕事場で必要とされる知識や技能、態度及び習慣や、状況判断・対応する力などを身に付けることができるよう、実践的な学習活動に取り組みます。

授業時数は、週あたり1学年が9時間、2学年が11時間、3学年は12時間です。

□ 現場実習

事業所や施設等での実習を通して、自立と社会参加・社会貢献に向けた基礎的な能力を育成し、意欲、自信、主体性を育みます（第1学年は5日間、第2学年は2週間、第3学年は2～6週間）。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 一般就労（就労継続A型含む）～8名【飲食・接客業、販売業、土木業、クリーニング、鉄工溶接業など】
- 福祉的サービス（就労移行/就労継続B型/自立訓練）～19名【接客、パン・製菓製造、委託作業など】
- その他（進学）～3名

学校Webページ



石狩管内

北海道札幌養護学校白桜高等学園

寄宿舎：無

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住所 〒003-0876 札幌市白石区東米里2062番地10
- 問合せ先 TEL 011-879-2530(代表)
FAX 011-879-2531
E-mail hakuou-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.hakuou.hokkaido-c.ed.jp/>



■本校の概要

- 学校教育目標
「一人一人のよさ・可能性を最大限に伸ばし、
健やかで主体的に学び続ける児童生徒が育つ学校」
- 具 体 目 標
「健康で丈夫な体」「優しく豊かな心」「表現する力」
「主体的に学ぶ力」



□ 概 要

本校は、昭和33年に知的障がいのある生徒を対象とした特設支援学校として開校しましたが、令和3年4月には高等部が札幌白陵高等学校の校舎へ移転し、「白桜高等学園」として新たに開校しました。現在は校舎2階を専用スペースとし、学習活動を行っています。札幌養護学校高等部の良さを受け継ぎつつ、発展させることを基本に据え、さまざまな生活場面での学習や、卒業後の生活に結び付く体験的な学習を展開しています。また、多様な発達段階にある知的障がいのある生徒一人ひとりの学習特性に配慮し、音楽、美術、保健体育といった教科のほか、生活単元学習や作業学習などにおいて、個に応じた指導を行っています。

■特色ある教育活動

高等部の教育目標

- 自分の良さや持ち味を生かすとともに、自分の方法で表現したり、伝えたりする力を育てる。
- 集団生活を通して相手に優しい心を持ち、仲間とともに活動する力を育てる。
- 自分で考え選択するとともに、最後までやり抜く力を育てる。

【 主体的に活動するための工夫 】

学習活動全般を通して、生徒が自ら活動を選択したり、意思表示を促されたりするような体験的な場面を設定しています。また、各授業においては、生徒が学習に興味や関心をもって主体的に取り組めるよう、ICT機器を積極的に活用しています。これにより、基本的な知識や技能の習得を目指した学習にも取り組んでいます。

【 各教科等を合わせた指導 】

集団生活の中で、自主的な活動や協力的な活動を体験することを通して、社会的なルールを身に付け、望ましい人間関係を築く力を育成します。また、日常生活の指導や体力づくり、生活単元学習、作業学習などを通して、社会生活に必要な力や働く力（活動する力）を、実践的かつ総合的に身に付けていきます。

【 各教科の指導 】

音楽、美術、保健体育の指導を通して、感受性を豊かにするとともに、豊かな人間性や健康を維持するための体力の向上を図ります。また、生徒一人ひとりの長所を生かしながら、表現力の向上を目指した学習活動に取り組んでいます。



作業学習：環境整備班



作業学習：紙工班



作業学習：手芸班



体育大会



白桜祭（学校祭）



生徒会役員選挙

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級／重複障がい学級】

時限	月	火	水	木	金
	登 校				
1	日常生活の指導 着替え・朝の学習・朝の会				
2	体力づくり			課題学習	体力 づくり
3	作業学習	生活単元 学習	作業学習		生活単元 学習
4				保険体育	
5	日常生活の指導 配膳 給食 下膳				
	休み時間		日常生活の 指導	休み時間	
6	総合的な探 究の時間	美術		LHR	音楽
7	日常生活の指導 掃除・着替え・帰りの会 下校			日常生活の指導 掃除・着替え・帰りの会 下校	

*登校時間 8:50（月～金）
*下校時間 14:45（月火木金）
13:10（水）

■教育課程の特徴

日常生活の指導、体力づくり、生活単元学習、作業学習、課題学習などの教科等を合わせた指導に加え、将来に必要な力を育てるために、音楽、美術、保健体育などの教科を適切に配置し、相互に関連づけながら教育課程を編成しています。

また、生徒が自分の良さを理解し、自ら判断・行動して課題を解決できる力を高められるよう、教育活動を展開しています。

□ 生活単元学習

将来の生活を見据えながら行事単元や実際の生活に即した単元、社会体験を広げる単元を中心に、生徒の生活を再構築した学習を行っています。

□ 作業学習

生徒の実態や興味・関心などを考慮し、環境整備班、手芸班、紙工班の3グループに分かれて学習活動を行うことで、様々な職場や場面に対応して働くための基礎的な力を高めています。

□ 課題学習

国語や数学の学習に加え、手指の巧緻性やコミュニケーション能力の向上を目的とした自立活動の内容など、生徒の実態や課題に応じた学習を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

□ 福祉的就労50名（生活介護、就労継続支援A型、B型、自立訓練）

学校Webページ



石狩管内

北海道札幌養護学校共栄分校

寄宿舎：無

スクールバス：無

※ 原則として中学部から在籍している方を対象とした特別支援学校です。

■学校の基本情報

- 住 所 〒061-1112 北広島市共栄274番地1
- 問 合 せ 先 TEL 011-373-6859
FAX 011-373-6860
E-mail sapporoyougokyouei-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.sapporoyougokyouei.hokkaido-c.ed.jp/>



■本校の概要

- 学校教育目標
「一人一人のよさ・可能性を最大限に伸ばし 健やかで主体的に学び続ける児童生徒を育てる」
- 校 訓
「健康で丈夫な体」 「優しく豊かな心」 「表現する力」
「主体的に学ぶ力」



□ 概 要

本校は、広島町立東部小学校富ヶ岡分校が北海道へ移管されたことに伴い、昭和54年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。当初は施設内分校として設置されましたが、施設が成人対象に転換するなどの状況があり、現在は知的障がいに肢体不自由を併せ有する重複障がいの生徒が多く在籍しています。生徒の学習上・健康上の特性等を踏まえ、医療的ケアの実施も含めた安全・安心な環境整備に努め、他者と関わり自己を表現するために必要なコミュニケーション力を養うことを中核として、卒業後の自立と社会参加を目指した教育を行っています。

■特色ある教育活動

高等部教育目標 「人と豊かにかかわる生徒」

- ア 自分の身体を意識しながら、健康な生活を送る力を育てる
 - イ 社会生活に向け、体力の向上や健康を維持できる体と心を育てる
 - ウ 人とのかかわりの中で興味・関心を広げ主体的に学ぶ力を育てる
 - エ 自分の思いを表現できる力を育てる
- 今年度の重点：人とかかわる力や集団の中で役割をもって行動する力を育てる

【 集団での学習を大切にした授業づくり 】

生徒の実態に応じた個別の対応を大切にしながら、集団学習の機会を数多く設定し、自分の思いを表現したり、他者とのかかわりの中で主体的に学ぶ力を育てたりする学習活動を行っています。

【 医療的ケアの実施 】

健康状態に特に配慮が必要な生徒に対して、生徒の主治医等と連携して医療的ケアを実施しています。医療的ケアの実施により、生徒は心身が安定した状況で充実した教育活動に取り組むことができます。

【 安全・安心な教育環境づくり 】

障がいの重度・重複化、多様化に伴い、体調の急変などの緊急時における関係諸機関等と連携した体制整備に努めています。在籍生徒一人一人の状況に応じた体制づくりを行っています。



体づくり：ウォーカー



生活単元学習：化石掘り体験



作業学習：ミシンでの雑巾作り



たいいくタイム：そりすべり



おながくタイム：夏のおながく



総合的な探究の時間：
主権者教育(選挙)

■第1学年生徒の週時程表

【 重複障がい学級 】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導/自立活動（朝の活動）				
2	自立活動（体づくり）				
3	日常生活の指導（朝の会）				
4	生活単元学習	たいいくタイム	生活単元学習	総合的な探究の時間	おながくタイム
5	日常生活の指導（給食）/自立活動（昼食）				
6	作業学習	作業学習	LHR	作業学習	生活単元学習
7	自立活動（体づくり）		帰りの会	自立活動（体づくり）	帰りの会
8	日常生活の指導（帰りの会）			日常生活の指導（帰りの会）	

* 登校時間 8：50（月～金）

* 下校時間 15：00（月・火・木）／14：00（水・金）

■教育課程の特徴

学校生活全体を通して相手を意識し、人と豊かに関わる力を身に付けられるよう学習活動に取り組んでいます。

また、生徒一人一人に応じた課題を設定し、「できた」や「誰かの役に立った」といった気持ちを実感できる学習に取り組んでいます。

□ 自立活動の指導（体づくり）

体の状態に合わせ、筋緊張の緩和、姿勢保持を目的としたストレッチやウォーキングなど、自立活動教諭と連携しながら個別に進めています。

□ 総合的な探究の時間

興味・関心のある活動を選んで、友達と一緒に取り組みます。

□ 作業学習

自助具を使って、「自分でできること」と「できた」という達成感を大切に学習を行います。

□ 生活単元学習

社会や季節、行事等の場面を題材に、様々な活動に取り組めます。

■卒業後の主な進路先について（※令和4・5年度実績）

□ 福祉的就労（生活介護）～1名（令和4年度）

【地域サポートセンターみなみ 北広島コラボ、共生型看護小規模多機能ホームあんずの華】

□ 福祉的就労（生活介護）～1名（令和5年度）

【社会福祉法人北ひろしま福祉会 北広島デイセンター】

※令和6年度は高等部卒業生の在籍はありませんでした。

学校Webページ



石狩管内

北海道星置養護学校ほしみ高等学園

寄宿舎：無

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒006-0860 札幌市手稲区手稲山口740番地1
- 問 合 せ 先 TEL 011-681-6500
FAX 011-681-6511
E-mail hoshimi-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.hoshimi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「一人一人の思いを大切にし、豊かに生きる力を育てる」
- 目指す学校の姿
共に学び、共に育つ学校～信頼・協力・感動～



□ 概 要

本校は、星置養護学校の分校として平成26年4月に開校しました。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、卒業後、主体的で豊かな社会生活を送るために必要な実際の・実用的な力や態度、習慣を育成する学習活動を展開しており、コース制を採用しています。

■特色ある教育活動

ほしみ高等学園の教育目標

「一人一人の思いを大切にし、豊かに生きる力を育てる」を達成するため、以下のように考える。

- ① 学校生活の学びを通して、見通しを持ちながら、自分で物事を考え、伝える力を育てる。
- ② 周りの人や物事に興味・関心をもち、自己選択を通して主体的に関わる力を育てる。
- ③ 望ましい生活習慣を獲得し、身辺自立に向けて生活する力を育てる。
- ④ 自分の役割を意識し、将来、地域に出て働く意欲や働くために必要な力を育てる。
- ⑤ 周囲と協力しながら、集団の一員としての自覚や責任を持ち、自分の役割を果たす力を育てる。

【 コース制の導入 】

本人や保護者の希望を重視し、コースを決定します。コース制では、生徒の適性、将来の進路希望等を踏まえて、卒業後の自立や社会参加に必要な力の育成を目指します。

また、学校、家庭、地域において、自ら主体的に、あるいは支援者とともに自分の生活をデザイン（計画・設計）する力を養います。さらに、その目的を達成し、一人一人の多様な教育的ニーズに応えるため、各コースにいくつかの「グループ」を編制してきめ細かな指導を行います。

○ ワークデザインコース

- ・「職業」での特色ある学びを通して、卒業後、主体的で豊かな社会生活を送るために必要な実際の・実用的な態度、習慣を育成します。
（職業を設定）

○ ライフデザインコース

- ・「作業学習」「表現活動」という体験的な学習を通して、卒業後、主体的で豊かな社会生活を送るために必要な実際の・実用的な力や態度、習慣を育成します。
（総合的な探究の時間（表現活動）を設定）

【 卒業後を見据えた現場実習の実施 】

第2学年で施設や事業所での実習（5日間）を2回行います。その中から卒業後に利用したい施設・事業所を選択し、第3学年は10日間、卒業後に働くことを前提とした実習を行います。現場実習は、卒業後を想定し、教員が引率せず卒業後に利用する場合と同様の形態（自宅からの通所、入所など）で実施します。



体カトレーニング



ワーク：手芸（職業）



ワーク：木工（職業）



ライフ：美術的表現活動



ライフ：紙すき（作業学習）



ライフ：委託（ミズゴケ管理）

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導／SHR				
2	体力トレーニング				
3	美術	作業 学習	生活 単元 学習	作業 学習	生活 単元 学習
4			課題 学習		課題 学習
	日常生活の指導				
5	作業 学習	保健 体育	総合的 な探究 の時間	LHR	音楽
6			日生／SHR		
7	日生／SHR				日生／ SHR

■コース制の週時程表（WORK・LIFE）

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導／SHR				
2	体カトレーニング				
3	W：職業 L：作業 学習	生活 単元 学習	W：職業 L：表現 活動	生活 単元 学習	W：職業 L：作業 学習
4		課題 学習		課題 学習	
	日常生活の指導				
5	2年 音楽	2年 美術	総合的 な探究 の時間	LHR	2年 保健体育
6	3年 保健体育	3年 音楽	日生／SHR		3年 美術
7	日生／SHR				日生／ SHR

■教育課程の特徴

日常生活の指導や体カトレーニング、作業学習、生活単元学習、課題学習（国語・数学）、職業、音楽、美術、保健体育、特別活動、自立活動、総合的な探究の時間で教育課程を編成し、社会生活に必要な知識や技能の習得及び意欲、態度の確立を図っています。

□ スクールバスについて

札幌市手稲区、西区、北区と石狩市（厚田区と浜益区を除く）には、スクールバスを運行しています。

□ コース選択について

卒業後の主体的で豊かな社会生活を送るには、どちらのコースが本人に合っているか、生徒、保護者が検討できるよう、授業参観や保護者懇談等を実施しています。

□ 自立活動の指導

自立活動は教育活動全体を通じて、生徒個々の自立活動の目標と各教科等の指導との関連を図りながら、効果的に指導を行っています。

登校時間 8：55（月～金）

下校時間 14：15（水・木）／15：00（月・火・金）

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

□ 福祉的就労（生活介護/就労継続B型/入所）～30名

【ジャンプレッツ、トイシス山の手、てらす、あんみワークス、札幌育成園など】

□ その他～3名【療養介護】

学校Webページ



石狩管内

北海道札幌伏見支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒064-8514 札幌市中央区伏見4丁目4番21号
- 問 合 せ 先 TEL 011-520-5003
FAX 011-520-5004
E-mail fushimishien-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.fushimishien.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「一人一人の可能性や夢に向かって、個性を伸ばし、心豊かに、生き生きと自分の力を発揮できる児童生徒を育てる」
- 校 訓
「夢」「協働」「感謝」「笑顔」



□ 概 要

本校は、平成28年に開校した知的障がいのある児童生徒が対象の特設支援学校です。小学部、中学部、高等部を設置し、札幌市内に在住する児童生徒が通学しています。児童生徒の障がいに伴う学習上の特性等を踏まえ、「分かりやすさ」「伝わりやすさ」を重視して教育環境を整え、活動の選択や意思表示等の主体的な行動を引き出す学習指導に力を入れています。

■特色ある教育活動

生徒一人一人の個性や能力、学びの特徴等を把握しながら、将来の生活につながる知識や技能等を身に付けるとともに、主体的に判断して行動することができる学習活動に取り組む。

【 選択授業 1、2 】

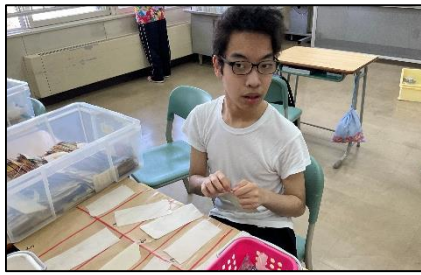
高等部第2学年から、生徒が自分の学びたいことを選択する選択授業を設定しています。これまで身に付けてきたことや、得意なことを生かし、生徒が主体的に学ぶことができる教育活動を展開することを目的としています。また、自己選択・決定の経験を繰り返すことで、将来、可能な限り、自ら意思決定できる力を育成することを重視しています。

「選択授業1（作業学習）」では、接客サービスとアートクラフトのグループに分かれて学習を行っています。接客サービスでは、他者との相互的なやりとりをしながら学ぶことができる接客や清掃等のサービス活動に取り組みます。アートクラフトでは、決まった工程や手順等、分かりやすい学習環境の中で学ぶことができる製品加工（紙工、手芸等）に取り組みます。

「選択授業2」では、音楽や美術の学習に取り組み、自分の得意なことを生かしたり、挑戦したりすることを通して、一人一人の興味・関心を広げたり、深めたりしています。また、学習したことを伏見祭で発表したり、展示したりする機会を設けています。

【 地域学校協働学習 】

地域学校協働学習では、「自分の良さを地域の力に」をテーマにして、地域の企業等と連携した教育活動（就労体験）に取り組み、社会とのつながりを感じさせ、自分のやりたいことへの気付きを促したり、活動に対する意欲を高めたりしています。



選択授業 1：紙すき準備



選択授業 1：校内販売会



音楽：発表会



美術：絵画（デッサン）



地域清掃ボランティア



球技大会：ポッチャ

■第 1 学年生徒の週時程表

【 普通学級 】

	月	火	水	木	金
1	日生 SHR 保体	日生 SHR 保体	日生 SHR 保体	日生 SHR 保体	日生 SHR
2	LHR	生活単元 学習	音楽	作業学習	ステップ アップ
3	ステップ アップ				保健体育
4	日常生活の指導（給食準備、後片付け、歯みがき指導等）				
5	生活単元 学習	美術	総合的な 探究の時 間／特別 活動	作業学習	日常生活 の指導 /SHR
6					
7	日常生活の指導/SHR				

* 「日生」は日常生活の指導

* 登校時間 8：50（月～金）

* 下校時間 14：55（月～木）、13：20（金）

■教育課程の特徴

日常生活の指導や生活単元学習、作業学習を中心に教育課程を編成しています。また、生徒の興味・関心に基づき、地域の公共施設等を積極的に活用した学習や、地域のひとと協働し、将来の生活に結び付く実践的な学習を行います。

□ 作業学習

作業活動を学習活動の中心とし、体験的、実践的な活動を通して、働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習します。

□ ステップアップ

日常生活に活用できる力の育成を目指し、個々のねらいに応じて国語（「聞く・話す」「読む」「書く」）に関する内容や数学（お金、時間と時刻、計算など）に関する内容を学びます。

□ 自立活動の指導

個別の指導計画に基づき、学習や生活における学びの困難さから生徒の中心的な課題等を導き出すことで、自ら環境と関わり合う、また自己選択・自己決定を促す指導内容等の目標を設定し、各教科等の指導と関連付けながら学習を行います。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

福祉的就労～21名

【就労移行支援1名、自立訓練1名、就労継続支援B型11名、生活介護7名、就労継続支援B型と生活介護の併用利用1名】

学校Webページ



石狩管内

北海道札幌伏見支援学校もなみ学園分校

寄宿舎：無

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒005-0850 札幌市南区石山東3丁目4番1号
- 問 合 せ 先 TEL 011-591-8811
FAX 011-591-6181
E-mail monami-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ [http:// www.monami.hokkaido-c.ed.jp/](http://www.monami.hokkaido-c.ed.jp/)



■本校の概要

□ 学校教育目標

「一人一人の可能性や夢に向かって、個性を伸ばし、心豊かに、生き生きと自分の力を発揮できる児童生徒を育てる」

□ 校 訓

「夢」「協働」「感謝」「笑顔」

□ 概 要

本校は昭和39年に札幌養護学校の分教室として開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校で、高等部は平成12年度に設置されました。平成28年度からは札幌伏見支援学校の分校となっています。障がい上の特性、実態を踏まえ、個別に配慮しながら児童生徒の自発的な行動を促す学習を通して、「人間関係をつくる力」「コミュニケーション力」「社会環境への適応力」「はたらく力」「選択・決定する力」を育成しています。



■特色ある教育活動

高等部の教育目標

- 自立し社会生活に必要な知識・技能を身に付ける。【知識及び技能】
- 情報を活用し、正しく相手に伝える力を身に付ける。【思考力、判断力、表現力等】
- 地域とつながり、人間関係をつくる力を身に付ける。【学びに向かう力、人間性等】

【 作業学習 】

クラフトサービス班、リサイクル班、手芸班の3つの活動班があり、高等部祭に向けて製品づくりを行っています。作業学習を通して課題を遂行する力を伸ばしたり、物を創り出すことの成就感を味わったりしながら、働くことの大切さを感じ、責任感、働く意欲、生活する力などを育成しています。

【 校内実習 】

総合的な探究の時間の中で、校内実習を年2回実施しています。「もなみワークス」の名称で、校内や地域資源を活用し、清掃活動や、冬季に使用する滑り止め用の砂である「コロバース」の製造などを行っています。活動を通して、働く喜びを感じ、自己を見つめ、自らの生き方を展望し社会生活に必要な態度を育みます。

【 現場実習 】

社会で働くことや卒業後の生活について見通しをもつため、また、作業学習等で身に付けた力を実際の職場や福祉事業所で発揮する機会として、現場実習を行っています。現場実習を通して、卒業後の進路選択の幅を広げたり、自己の適性等を理解したりします。



クラフトサービス班：畑越し



リサイクル班：カレンダー作り



手芸班：くるみボタン作り



もなみワークス：コロバズ作り



もなみワークス：タイヤ洗い



もなみワークス：キャンドル作り

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級／重複障がい学級】

	月	火	水	木	金
	日生	SHR			
1	LHR	国語 ／ 自立活動	数学 ／ 自立活動	国語 ／ 自立活動	数学 ／ 自立活動
2	体力づくり				
3	国語・数学	生活 単元 学習	音楽	生活 単元 学習	美術
4					
5	作業 学習	保健 体育		作業 学習	
6					

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

※ 登校時間 8：45～9：00（月～金）

※ 下校時刻 15：00（月・火・木）
13：20（水・金）

■教育課程の特徴

□ 作業学習

クラフトサービス班、リサイクル班、手芸班に分かれて学校祭に向けた製品づくりを行っています。作業学習を通して成就感を味わい、責任感、働く意欲、生活する力を育成するとともに、社会生活に必要な基礎的な知識や技能、態度を育てています。

□ 自立活動の指導

普通学級では学校の教育活動全体を通じて行います。重複障がい学級では火曜日から金曜日の午前に帯の時間帯で設定しています。

どちらもコミュニケーション手段の獲得、選択する力、いろいろな人と関わる力を身に付けるため、個別や集団など内容に応じて様々な教材を工夫し、ICTも活用しながら取り組んでいます。

□ 国語・数学

国語では、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する力を育成します。生活で必要な人と関わる力や伝える力が高まるよう取り組みます。

数学では、数学的活動を通して、数学的に考える力を育成します。数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質を理解するとともに、数学で学んだことを生活に活用できるよう、取り組みます。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 福祉的就労～17名【就労継続支援A型 1名
就労継続支援B型 5名
生活介護 11名】

学校Webページ



石狩管内

北海道札幌高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒006-0829 札幌市手稲区手稲前田485番地3
- 問 合 せ 先 TEL 011-685-7744
FAX 011-685-7745
E-mail sakkouyou@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.sapporokoutouyogo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「自ら学び考え 豊かな生活を切り拓き
たくましく生きる生徒を育成する」
- 校 訓
「自 立」「協 同」「創 造」



- 概 要
本校は平成10年に開校した高等養護学校です。札幌市を中心に、石狩管内や後志管内など道内各地の生徒が在籍しています。知的障がいのある生徒の特性や課題に応じ、作業学習や各教科等の学習を通して、日常生活に生かせる知識や知恵を身に付け、目標をもって学び、考え、課題を解決する力の育成を目指します。寄宿舎では集団生活を通して、基本的生活習慣の定着や社会性の育成を図っています。

■特色ある教育活動

【 作業学習 】

所属する学科（農業科、窯業科、木工科、家庭総合科、クリーニング科）の作業を3年間、継続的に取り組みます。自学科作業では、生産から製品管理、販売までの一連の活動を実践的に学びます。また生徒同士が教え合い、協力しながら作業を進めることで、主体性や協調性を育成しています。

生徒個々の課題を解決し働く力を高めるために、必要に応じて自学科以外の作業（他の作業種や受注作業等）を取り入れています。

【 進路学習 】

進路学習（職業）は、現場実習や進路見学、卒業生講話等と関連させながら、自身の将来や生き方について考え、社会人として必要な身だしなみや職場でのマナーなどを学習します。これらの学習を通して、生徒が得た知識や技能を将来の職業生活において実践的に活用できる力の育成を目指します。

【 地域との連携 】

生活に必要な実践的な力を養うため、地域との連携を重視した教育活動を行っています。札幌市教育委員会、就労支援コーディネーター、障がい者雇用推進アドバイザーを講師に迎えた職業ガイダンスなどを実施し、生徒が「働くこと」や「生活すること」について具体的に考える機会を提供しています。また、交流及び共同学習や製品販売会を通して人と関わる経験を積み重ね、卒業後に生活する地域社会とのつながりを意識し、社会性の育成を図っています。



農業科



窯業科



木工科



家庭総合科



クリーニング科



外部講師によるマナー講座

■第1学年生徒の週時程表

【農業科・窯業科A組・窯業科B組・木工科A組】

	月	火	水	木	金
1	LHR	体力づくり			
2	国語	作業学習	作業学習	作業学習	国語
3	情報				職業
4	音楽				家庭
5	保健体育	美術	道徳	数学	
6			家庭	理科	

【木工科B組・家庭総合科・クリーニング科】

	月	火	水	木	金
1	LHR	体力づくり			
2	国語	作業学習	作業学習	作業学習	国語
3	音楽				家庭
4	数学				職業
5	美術	保健体育	家庭	理科	
6			道徳	情報	

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

* 登校時刻 8時50分(月～金)

* 下校時刻 15時25分(月・火・木) / 15時05分(水) / 13時45分(金)

■教育課程の特徴

働く力、生活する力、それらを支える体力を身に付ける教育課程です。さらに、社会生活の基盤となる「人と関わる力」を大切に、挨拶や相手を意識する態度、気持ちの安定にも取り組んでいます。人としての土台を育て、未来をたくましく生き抜く力を養います。

また、作業学習を教育課程の中核に据え、国語や数学など、各教科の学習と合わせて教育課程を編成しています。

□ 体力づくり

将来の働く生活に必要な基礎体力の向上と、健康の保持増進を図ることを目指します。

継続的に体を動かす中で、自身の体力の変化を実感し、自己理解を深めていきます。

□ 教科グループ別の学習集団

国語、数学、理科(1年次のみ)、社会(2年次のみ)、音楽、情報の各学習において、生徒の実態に応じた学習グループを編成しています。学習内容や指導方法はグループごとに最適化され、生徒が学びやすい環境を整えています。

□ 自立活動の指導

教育活動全体を通して指導しています。前期・後期の面談週間で個別に課題や目標を確認し、自己実現につなげます。

■卒業後の主な進路先について(令和6年度実績)

- 一般就労(就労継続支援A型含む) ～25名
【小売業、飲食業、清掃業、物流・運輸業、介護・福祉業など】
- 福祉的就労(就労移行支援/就労継続支援B型) ～13名
【就労移行支援事業所、就労継続支援B型事業所】
- 進学【専門学校、職業訓練校】 ～3名

学校Webページ



石狩管内

北海道札幌稲穂高等支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒006-0034 札幌市手稲区稲穂4条7丁目12番1号
- 問 合 せ 先 TEL 011-695-6922
- FAX 011-695-6951
- E-mail inahokoushi-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.inahokoushi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「夢に向かって 心豊かに カー杯躍動する 生徒を育てる」
- 校 訓
「夢（稲穂ドリームの実現） 心（稲穂スピリットの育成）
力（稲穂パワーの発揮）」



□ 概 要

本校は平成23年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、作業や教科などの学習により、生徒一人一人が社会の中で自分らしく生きていくための実践的な能力や可能性を伸ばします。それぞれの夢に向かって、生活年齢に応じた豊かな心を育みながらカー杯躍動できる学校生活づくりを目指しています。

■特色ある教育活動（設置学科：生産技術科 木工科 環境・流通サポート科 家庭総合科）

本校が目指す生徒像

- ・社会生活に必要な知識・技能、マナー・ルールを身に付けた生徒を育てる。
- ・自分の願いや思いをしっかりと表出（言語化）できる生徒を育てる。
- ・将来をイメージしながら、社会の一員として自立し、働くことができる生徒を育てる。

【 生徒一人一人のキャリア発達を支援する教育活動 】

- ・作業学習を教育活動の中心に据え、段階的・発展的に現場実習などに取り組みます。
- ・社会の状況や学校、地域、生徒の実態を踏まえた各教科の学習に取り組みます。
- ・一人一人の教育的なニーズを考慮し、主体的・協働的に取り組むことができる学習グループを編成しています。
- ・生徒が「学ぶこと」の意義や面白さを実感でき、自分への気付きを深める教育活動（各行事の事前事後学習、生徒面談などを通した「言語化」）に取り組みます。

【 作業学習 】

- ・生産技術科は、様々な素材を主材料とする製品の製造や、地域資源を活用した学習に取り組みます。
- ・木工科は、木材を主材料とする製品の製造や、生産の基本的な流れについての学習に取り組みます。
- ・環境・流通サポート科は、清掃等の環境づくりや、商品管理、事務などの学習に取り組みます。
- ・家庭総合科は、布製品の製作、手芸、調理、住居の管理などの体験的な学習に取り組みます。

【 選択教科（音楽科／美術科）第2、3学年 】

生徒の個性を生かし、主体的に学習に取り組めるよう、自由に選択履修できる機会を設けています。
音楽科は、歌唱や楽器演奏、読譜法など、音楽に関わる基礎的な知識及び技能の習得を図りながら、表現及び鑑賞の能力を伸ばし、音楽活動への興味・関心を高めることを目標にしています。

美術科は、身近な材料・題材を扱う造形活動を通して、表現及び鑑賞能力を高め、自他の表し方や感じ方の良さに気付き、美術に対して自信をもって主体的に取り組むことを目標にしています。



生産技術科：紙工作業



木工科：組み立て作業



環境・流通サポート科：清掃作業



家庭総合科：布製品の製作



部活動：合唱部



生徒面談週間：生徒面談

■第1学年生徒の週時程表

【 学年共通 (教科グループ：A) 】

	月	火	水	木	金
	自立活動				
1	情報	作業 学習	保健 体育	作業 学習	職業
2	国語/ 数学		数学		家庭
3	理科				国語
4	保健体育		社会		保健体育
5	作業 学習	教科調 整時間	美術	外国語	LHR/ 道徳
6		総合	音楽	(隔週) 生徒会	

【 学年共通 (教科グループ：C) 】

	月	火	水	木	金
	自立活動				
1	国語/ 数学	作業 学習	保健 体育	作業 学習	国語
2	職業		美術		社会
3	外国語				数学
4	保健体育		音楽		保健体育
5	作業 学習	教科調 整時間	情報	理科	LHR/ 道徳
6		総合	外国語	(隔週) 生徒会	

* 登校時間 8：40 (月～金)

* 下校時間 15：35 (月～水) / 14：40 (木・金) ※木は隔週 (15：35)

■教育課程の特徴

作業学習を中心に、生活に即した内容を学ぶ各教科の学習、特別活動及び総合的な探究の時間によって教育課程を編成しています。生徒一人一人の良さを課題を踏まえ、教育活動全体を通して、自立活動、道徳の指導を行います。

□ 作業学習

生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な知識及び技能、態度の基礎を身に付けることをねらいとしています。地域の方々と交流を深め、地域資源を活用した学習に取り組んでいます。生徒一人一人のキャリア発達を促すため、作業の意味や価値について丁寧に指導し、勤労観・職業観の育成を図ります。

□ 現場実習

第1学年で引率実習(1回)、第2学年で単独実習(2回)、第3学年で前提実習(1～2回)を実施し、生徒が学ぶ意義や働く意義を見いだして主体的に進路選択ができるよう、段階的な指導を行います。

□ 自立活動

朝に設定している「短時間で取り組む自立活動」では、健康への意識を高めたり、心理的な安定に特化した時間として活用しています。

「合わせた指導の自立活動」では、生徒一人一人の実態に応じた目標や指導方法を設定し、教育活動全体を通して取り組んでいます。

■卒業後の主な進路先について(令和6年度実績)

- 就職(一般就労、就労継続A型)～8名
【公務員、運輸業、飲食・サービス業、医療・福祉業 など】
- 福祉的就労 ～18名【就労移行支援、就労継続支援B型 など】
- 進学、その他～ 2名

学校Webページ



石狩管内

北海道札幌あいの里高等支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒002-8074 札幌市北区あいの里4条7丁目1番1号
- 問 合 せ 先 TEL 011-770-5511 (代表兼FAX)
FAX 011-770-5512 (職員室直通)
E-mail ainosatokoshi-z1@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.ainosatokoshi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「Go for your dream.」
『夢のために、ベストを尽くす』
～今の自分を越え、より高みをめざそう～

- 校 訓
「未来・チャレンジ・感謝」

□ 概 要



本校は、平成28年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校で、今年開校10年目です。本校は、「職業学科」と「普通科」を設置しており、それぞれの学科において、生徒の教育的ニーズや学習上の特性等を考慮して教育活動を展開しています。

福祉と文教の地域であるあいの里の特色を生かし、地域と学校が協働したあいcircleの取り組みの他、周辺施設を活用した実習やインターンシップなど、生徒の自立と社会参加を目指した教育活動を行っています。

■特色ある教育活動

- 授業が分かり、学習活動に参加している実感・達成感を持ちながら、充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に付ける授業づくりをする。
- 地域の人たちが生徒をコミュニティの一員として認め、生徒一人一人が地域のメンバーであることを実感・自覚できる教育活動を行う。

【 生産技術科 】

作業学習では、木材や粘土を用いた製品を製作します。小鉢、コーヒーカップ、茶碗、キッチンペーパー、ウッズピーカー、ベンチなどを製作し、地域向け販売会で製品を販売しています。

【 環境・流通サポート科 】

作業学習では、ビルクリーニングや印刷・製本、受注作業などの学習を行っています。学習した清掃技術の実践の場として、近隣施設の窓クリーニングをしたり、アビリンピック（障害者技能競技）大会に挑戦したりしています。

【 被服デザイン科 】

作業学習では、ミシンを使った布製品や、卓上織機を使った手織り製品を製作します。藍の化学染料で布を染め、製品を製作することも行っています。地域向け販売会で製品を販売しています。

【 食品デザイン科 】

作業学習では、焼菓子やパンの製造・販売の学習と、縫工に関する学習を行っています。製品は、地域向け販売会などで販売しています。

【 福祉サービス科 】

作業学習では、接客・サービスと介護・福祉の学習を行っています。また、地域向け販売会におけるカフェ、高齢者施設への訪問、ハンドマッサージなど、実践的な学習にも取り組んでいます。

【 普通科 】

総合的な探究の時間において、自ら課題に気付き、必要な情報を収集し、整理・分析しながら、課題解決する力を身に付けます。インターンシップやワークシステム、個人やグループによる調査・研究・発表、大学等様々な学校や地域との交流学习等の単元に取り組む中で、自立と社会参加に向けて必要な資質・能力が身に付くように学習に取り組んでいます。



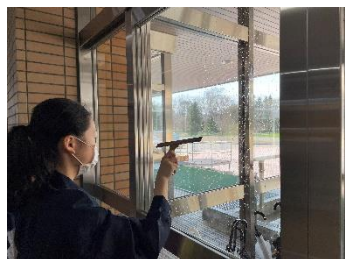
生産技術科：木工作業



被服デザイン科：布製品の製作



福祉サービス科：接客学習



環境・流通サポート科：校内清掃



食品デザイン科：製パン作業



普通科：総合的な探究の時間

■第1学年生徒の週時程表

【 職業学科 】

	月	火	水	木	金
1	社会生活	社会	体力 づくり	国語	作業学習
2	体力 づくり	数学	作業学習	音楽	
3	音楽	国語		保健体育	
4	数学	情報			
5	職業	理科	美術	作業学習	家庭
6	LHR/ 委員会	外国語			LHR

【 普通科 】

	月	火	水	木	金
1	社会生活	国語	体力 づくり	社会	理科
2	体力 づくり	社会	総合的 な探究 の時間	国語	音楽
3	数学	情報		美術	保健体育
4	理科	音楽			
5	職業	外国語	数学	総合的 な探究 の時間	国語
6	LHR/ 委員会	数学	家庭		LHR

* 登校時間 8:50 (月～金)

* 下校時間 15:15 (月～金) * 部活動は火曜・木曜を基本に16:45まで実施。

■教育課程の特徴

□ 職業学科と普通科

職業学科は、製品の製造や販売、サービスに関する内容等、体験的な学習を中心に働く意欲を養い、働くために必要な力を総合的に学びます。

普通科は、各教科等の学習と総合的な探究の時間を中心に学習に取り組み、課題に気づき、解決する方法を考え、実践する力を身に付けます。

□ 教科別の指導

知的障がい特別支援学校の各教科の学習に取り組めます。各教科等の特性に応じて、課題別に学習グループを編成して学習に取り組めます。

□ 自立活動の指導

学習上、生活上の困難さを自ら改善・克服するために必要な力が身に付けられるよう、各教科等の指導において、生徒の自立活動の目標に関連する場面で指導や評価を行い、教育活動全般における自立活動の指導に力を入れます。

□ 地域と共に歩む教育活動

地域と学校が連携・協働して「あいcircle」を実施しています。参加者それぞれが主役になって自己実現できる場、様々な人が必要とされて関わり合える場を目指し、本校生徒も主体的に参加しています。地域の企業や商店、事業所の方、大学生、PTA等で協働して運営し、たくさんの地域住民に参加いただいています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 就職～19名（一般就労12、就労継続A型7）【小売業、介護補助、清掃業など】
- 福祉的就労～39名（就労移行支援9、就労継続B型29、自立訓練1）
- 進学～4名（職業訓練校、専門学校）

学校Webページ



石狩管内

北海道千歳高等支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒066-0045 千歳市真々地2丁目3番1号
☐ 問合せ先 TEL 0123-23-6681
 FAX 0123-23-6682
 E-mail chitosekoushi-z0@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.chitosekoushi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- ☐ 学校教育目標
 「志を持って社会を創る人間の育成」

- ☐ 校訓
 「挑戦」「創造」「協働」

- ☐ 概要

本校は、平成25年に開校した高等支援学校です。知的障がいのある生徒が、学校や家庭、地域での生活の中で、将来の社会生活に必要な働く力や生活する力などを養うことを目的とし、2つの学科で学習を行っています。

本校は通学型の学校です。通学の機会を通して、公共交通機関の利用やルール、マナー及び天候や状況に応じた対応などを学んでいます。



■特色ある教育活動（設置学科：生産技術科 環境・流通サポート科）

【 地域を生かした活動の充実 】

作業学習を通して、地域を活用した取り組みの充実を図りながら、学科の特色を生かした実習を行っています。生産技術科は千歳市役所からのネームホルダーの受注を行っています。環境・流通サポート科は地域の公共施設などの清掃活動や製本の受注を行っています。

また、実践を通して流通の過程が学べるよう、計画的に即売会を実施しています。自分たちが作った製品をお客様に手に取ってもらい、購入していただくことを通して、日々の取り組みと関連付けた貴重な機会として位置付けています。

デュアル実習（千歳高支版デュアルシステム）では、近隣の企業等で一定期間繰り返し実習を行うとともに、実習で明らかになった具体的な課題や今後の目標を日々の学習に反映させています。

【 現場実習の充実 】

地域の企業や福祉サービス事業所などと連携を深め、3年間で4回の現場実習を設定し、職種に関わる適性を生徒自身が感じられる職業教育に取り組みます。

【 言語活動の充実 】

言語に対する関心や理解を深め、言語能力を育成するため、言語環境の整備や言語活動の充実を図ります。定期的に行っている生徒個別面談や進路面談では、生徒自身が内面の変化や成長を実感できる関わりを大切にすることで、自己有用感や自己肯定感を高め、進路選択や進路決定につなげています。



生産技術科：革製品づくり



生産技術科：木工製品づくり



特設実習：駐車場のライン引き



環境・流通科：地域施設の清掃



環境・流通科：メモ帳の製本



即売会：地域での販売会

■第1学年生徒の週時程表

【 生産技術科 】

	月	火	水	木	金
1	体力づくり ・自立活動		自学科 実習	体力づくり ・自立活動	
2	社会／ 理科	国語		情報	数学
3	数学	保健 体育		美術	自学科 実習
4	音楽			家庭	
5	自学科 実習	他学科 実習	職業／ 総合的 な探究 の時間	国語	LHR
6				外国語／ 委員会 ・生徒会	

【 環境・流通サポート科 】

	月	火	水	木	金
1	体力づくり ・自立活動		自学科 実習	体力づくり ・自立活動	
2	社会／ 理科	国語		家庭／ 美術	数学
3	数学	保健 体育		情報／ 家庭	自学科 実習
4	音楽			美術／ 情報	
5	自学科 実習	他学科 実習	職業／ 総合的 な探究 の時間	国語	LHR
6				国際文化 ／委員会 ・生徒会	

* 登校時間 8：45（月～金）

* 下校時間 15：25（月～木）／14：25（金）

■教育課程の特徴

国語や数学などの各教科の学習を中心に、作業学習などで教育課程を編成しています。各教科では基礎的な学力の育成とともに、将来の実生活で活用できる力を養うことができるように学習を行います。

現場実習や地域での実習など、地域資源を活用した教育活動に、全学年で積極的に取り組んでいます。作業学習の時間に企業等で行うデュアル実習を実施しています。

□ 作業学習

第1学年では自分が所属する学科の自学科実習や所属以外の学科の他学科実習での作業学習を行い、働くための基礎となる力を培います。第2、3学年では職業生活に必要な知識や技能、実践的な態度を育てます。また、地域で積極的に作業を展開することを通して、実践的な力を育成しています。

また、第2学年では生徒の実態や課題に応じて学習集団や作業内容を設定した特設実習を行います。

□ 自立活動の指導

生徒が自分自身を見つめ、自己理解や他者理解を深め、進路選択や決定ができるよう、個々の自立活動の目標を考慮して、定期的に生徒面談を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 一般就労（就労継続支援A型含む）～13名【小売業、製造業、運輸業など】
- 福祉的就労（就労移行支援／就労継続支援B型）～2名
- その他～1名

学校Webページ



石狩管内

北海道白樺高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■ 学校の基本情報

- ☐ 住所 〒061-1264 北広島市輪厚621番地1
☐ 問合せ先 TEL 011-376-2353
 FAX 011-376-2024
 E-mail shirakabakoutouyougo-zO@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.shirakabakoutouyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■ 本校の概要

- ☐ 学校教育目標
 「自己の能力を伸ばし 心豊かに たくましく生きる人を育てる」
☐ 校訓
 「自主」「自立」「自省」
☐ 概要



本校は昭和40年に、全国で初めて職業学科を設置する高等部の特別支援学校として開校し、今年度で開校60年目を迎えました。知的障がいのある生徒に、学校や社会の中で「生活する力」「働き続ける力」を養うことを目的とし、六つの学科を設置しています。また、寄宿舎を設置しており、集団生活の中で基本的な生活習慣を身に付けたり対人関係等を学んだりして、社会自立する力を養っています。入舎期間は1年単位で、入舎・通学を選ぶことができます。

■ 特色ある教育活動

（設置学科：生産技術科 窯業科 木工科 工業科 家庭総合科 クリーニング科）

自主、自立、自省の姿を身に付け、青年期の人格形成を図る知識や技能を習得する。

【 作業学習 （働く力を身に付ける）】

3年間で複数の作業種を学習します。様々な作業種を経験することにより、経験の拡充を図り、適応力を身に付けるとともに、進路選択に対する関心を高めます。第1学年は、全学科で基礎作業に取り組み、挨拶や返事、報告などの基礎・基本を学びます。第2学年からは、学科に応じた作業種に取り組みます。

【 体力づくり （健康・安全、自己の課題に向き合う）】

週4回、1校時に、屋外で2.5km走、グラウンドの周回走、グラウンドの外周走に学年に分かれて、取り組みます。また、冬期間や悪天候時には、屋内で筋力トレーニングやエアロビクス運動を行い、課題や目的をもって取り組む態度や健康、安全に対する意識を高めます。

【 進路に関する取組 （生活する力、働き続ける力を身に付ける）】

- 希望する就労の実現に向けて
企業説明会、職場・事業所見学、先輩と語ろう、外部講師の模擬面接、進路面談、企業講話
- 現場実習
 - ・第1学年は、1週間の体験的な実習を通して、今後の進路選択に生かします。
 - ・第2学年は前期1週間、後期2週間、企業等で体験実習を行います。生徒の実態に応じて、教員が引率する実習、グループでの実習、個人での実習の3形態で行います。
 - ・第3学年は4週間、卒業後の進路決定を前提とした実習を行います。



全学科：基礎作業



木工科作業



体力づくり：マラソン



美術



職場実習：介護施設



現場実習：クリーニング会社

■第1学年生徒の週時程表

	月	火	水	木	金
1	作業学習	体力づくり			
2		国語	情報	社会	理科
3		情報	国語	家庭	社会
4		職業	理科	家庭	
5	数学	音楽	保健体育	美術	保健体育
6	音楽	数学	美術	美術	保健体育

■教育課程の特徴

- 作業学習
3年間で複数の作業種を学習することで、経験を広げ、自己理解を深めます。
- 体力づくり
毎日、1校時に体力の向上を目指して行います。5月頃から10月頃までは、屋外でマラソンなどの運動を行い、冬期間や悪天候時は、屋内で筋力トレーニングやエアロビクスなどの運動を行います。
- 進路
進路の学習は、職業や進路、将来に向けた自己の生き方などについて考えることを通して、社会の中で生きる力を育むことをねらいとしています。作業学習や職場・福祉サービス事業所見学、現場実習などと関連付けて行います。
- 自立活動の指導
心身の調和的発達の基礎を培うことを目標に教育活動全体を通して行います。

* 登校時間 8:50 (月～金)
* 下校時間 13:50 (金) 15:20 (月～木)

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- 一般就労～26名【運輸業、小売業など】
- 福祉的就労（就労移行支援／就労継続A型／就労継続B型／自立訓練）～15名
- 進学 ～2名【はまなす食品株式会社能力開発センター】

学校Webページ



石狩管内

北海道新篠津高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒068-1115 石狩郡新篠津村第45線北13番地
☐ 問合せ先 TEL 0126-58-3280
 FAX 0126-58-3281
 E-mail shinko-z0@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.shinko.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「豊かな心と つよい体をもって たくましく自立する 生徒（人）の育成」

□ 校 訓

「すすんでやりぬく人」

□ 概 要

本校は、平成5年に開校した知的障がいのある生徒を対象とする高等養護学校で、全校で122名の生徒が在籍しています。本校では、生徒の学習上の特性等を踏まえ、専門教科や実的な学習などの授業を展開することにより、卒業後の自立と社会参加を目指し、「主体的に学びを深め、豊かな心とつよい体をもった生徒」を育成しています。寄宿舎では、多くの仲間との生活を通して、規則正しい生活習慣の確立と感謝する心や思いやる心の涵養、他と協調できる力の育成を目指して共同生活をしています。



■特色ある教育活動

【 園 芸 科 】

農場や温室で野菜、豆類、花の栽培に取り組みます。屋外での作業を通して、体力を付け、卒業後の生活に適應できる能力や態度、習慣が身に付くように取り組みます。

【 生産技術科 】

コーヒー豆加工と紙工作業を中心に取り組みます。地域でのコーヒー豆の出品やカフェの運営を通して、達成感を味わい、働く経験が豊かになるように取り組みます。

【 窯 業 科 】

茶碗、さんま皿などの小物から、麵鉢、大皿などの大きな食器の製作などに取り組みます。製品は新篠津村の温泉施設などで販売を行うなど、流通に関わる学習にも取り組みます。

【 木 工 科 】

2×4材(ツーバイフォーざい)による製品製作などを行い、易しい題材から難しい題材へと発展的に学習内容を設定しています。働く力を育成することを第一に考えた学習に取り組みます。

【 家庭総合科 】

縫工製品の製作を中心に、生活に関連した内容を主とした作業学習を展開します。製品販売では接客を通して、コミュニケーション能力の向上を図り、生徒の自己肯定感を養う学習に取り組みます。

【 クリーニング科 】

おしぼり加工、アイロン掛け、機械プレス等のクリーニング作業に取り組みます。自ら働く力を育成し最後まであきらめない力を養います。



園芸科：野菜の収穫



生産技術科：ドリップ練習



窯業科：茶碗の製作



木工科：製品の加工



家庭総合科：ミシン掛け



クリーニング科：シーツ機械加工

■第1学年生徒の週時程表

【（例）園芸科及びクリーニング科】

	月	火	水	木	金
1	総合的な探究の時間	国語	体力づくり	体力づくり	実的な学習の時間
2	専門教科	専門教科（他学科）	保健体育	保健体育	専門教科
3			国語	音楽	
4			数学	職業／情報	
5	実的な学習の時間	実的な学習の時間	音楽	道徳	U-R／生徒会活動
6			自立活動	数学	
放課後	部活動			部活動	

■教育課程の特徴

専門教科を中心に、実的な学習の時間や国語、数学、音楽、保健体育などの各教科の学習に取り組んでいます。

□ 専門教科

所属する学科での実を通して、生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習します。1学年では所属する学科のほか、他の学科の実を一定期間体験し、作業能力の向上を図ります。

□ 実的な学習の時間

主に、社会的、理的、家庭的な内容を学習します。生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために一連の活動を組織的に経験することにより、自立した生活に必要な事柄を実、総合的に学習します。

□ 自立活動の指導

生徒自らが、障害に基づく困難を改善・克服するために、週に1時間（2、3学年は、週に0.5時間）の自立活動の時間や、その他の学習生活全般で、改善・克服するための知識・技能、態度などを学んでいきます。

* 登校時間 8：30～8：40（月～金）

* 下校時間 15：35（月・火・木）／15：20（水）／14：25（金）

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 一般就労（就労継続支援A型含む）～14名
【製造業2、飲食業1、サービス業1、小売業5、医療・福祉1、公的機関1、就労継続支援A型3】
- 福祉的就労～15名【就労移行支援3、就労継続支援B型12】
- 進学～3名【専門学校1、北海道障害者職業能力開発校2】
- その他～なし

学校Webページ



後志管内

北海道余市養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒046-0023 余市郡余市町梅川町377番地3
- 問 合 せ 先 TEL 0135-23-7831
FAX 0135-23-6199
E-mail yoichiyougo-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.yoichiyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
生き生きと学び 地域社会で豊かに生活する 児童生徒を育てる
- 目指す児童生徒像
 - 主体的に学び 活かそうとする 児童生徒
 - 伝え 認め合い 協働しようとする 児童生徒
 - 自分の力を発揮し 社会参加しようとする 児童生徒



□ 概 要

本校は平成3年に開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。小樽市在住の児童生徒を中心に後志管内から児童生徒が通学しています。小学部38名、中学部19名、高等部28名、訪問部教育学級22名の合計107名が在籍しています。訪問教育学級は在宅が4名と北海道済生会小樽病院みどりの里に入所している児童生徒が18名です。知的障がいのある児童生徒の学習上の特性等を踏まえ、「分かる」「できる」「いきる」指導の充実を目指した学習に取り組んでいます。卒業後の自立と社会参加を目指し、家庭や地域社会等と連携し、一人一人の将来を見据え「生きる力」「生きる喜び」を確かに育むために、「今」の教育の充実を図っています。

寄宿舎には、遠隔地に居住する児童生徒が、7名入舎しています。個々の教育的ニーズに応じた指導や支援に努めながら、基本的生活習慣の確立を目指しています。また、行事への参加や余暇活動を通して心の安定を図り、豊かな生活につながるよう努めています。

■特色ある教育活動

- ア 社会生活に必要な、知識・技能を身に付け、健康な体と態度を育てる。
- イ 積極的に人と関わり、自己を表現し、他者と協力して活動する力を育てる。
- ウ 自ら選択し、意思決定しながら、主体的に社会参加し、豊かに生活する力を育てる。

【 国語、数学 】

国語では、「読む」「書く」「話す」「聞く」、数学では、「金銭」「時間」「計算」など日常生活に必要な基礎的な内容の習得に取り組みます。こうした内容を、実際の生活や具体的な活動と関連付けて学ぶことを大切にしています。

【 職業 】

職業では、作業活動を学習の中心とし、ものづくりの喜びを体感するとともに、将来の職業生活や社会自立に必要な知識や技能、態度や働く意欲を身に付けられるよう取り組みます。

(ア) 製品づくりや製品販売学習を通した、将来の働く生活への意識の涵養やいろいろな人との関わり方に関する力の育成

(イ) 現場実習を通した日頃の学習の成果の確認や、卒業後の生活への関心の育成

(ウ) 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方に関する力の育成

【 自立活動 】

自立活動を時間割に位置付け、生徒一人一人の良さや課題に着目しながら、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善するための指導に取り組みます。



地域の高校との交流学习
(トマトの芽かき)



国語



職業：現場実習



総合的な探究の時間



高等部祭：木工製品販売



体育記録会：立ち幅跳び

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	自立活動の指導・朝のSHR				
2	国語／数学	自立活動	国語	自立活動	数学
3	総合的な探究の時間	職業	音楽	生活単元学習	職業
4	保健体育	職業	保健体育	生活単元学習	職業
5	日常生活の指導				
6	生活単元学習	自立活動・帰りのSHR	美術	自立活動・帰りのSHR	LHR
7	自立活動・帰りのSHR		自立活動・帰りのSHR		自立活動・帰りのSHR

月曜日2校時の国語／数学は隔週

* 登校時間 8:55 (月～金)

* 下校時間 14:30 (月・水・金) / 13:30 (火・木)

■教育課程の特徴

学校生活で身に付けた力を将来の社会生活や家庭生活の場で発揮できるよう、地域資源を活用し、人々との交流を重視した体験的な学習に取り組みます。また、生徒一人一人の学習状況や到達の度合に応じた学習活動を行っています。

□ 自立活動の指導

「身体の動き」「コミュニケーション」「人間関係の形成」を中心とした指導のほか、生活単元学習や日常生活の指導と関連付け、生徒の良さや課題に応じた学習に取り組んでいます。

□ 各教科の学習

国語、数学、音楽、美術は、学年ごとに指導を行っています。保健体育や職業は、生徒の目標等に応じて、学部全体を複数のグループに分け、指導を行っています。

□ 現場実習

生徒が事業所に通い、作業等を体験しています。

- ・第1学年3日間、学校周辺の事業所で引率実習
- ・第2学年5日間、居住地の事業所で単独実習
- ・第3学年10日間、卒業後の進路希望先で実習

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

□福祉的就労～16名

【移行支援・就労継続B型6名、生活介護5名、療養介護等5名】

学校Webページ



後志管内

北海道余市養護学校しりべし学園分校

寄宿舎：無

スクールバス：無

※ 原則として中学部から在籍している方を対象とした特別支援学校です。

■学校の基本情報

- 住 所 〒048-0101 寿都郡黒松内町黒松内564番地
- 問 合 せ 先 TEL 0136-72-3903
FAX 0136-72-3903
E-mail yoichiyougoshiribeshi-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.yoichiyougoshiribeshi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
生き生きと学び 地域社会で豊かに生活する 児童生徒を育てる
- 目指す児童生徒像
 - ・明るく 元気な 子ども
 - ・仲良く 助け合う 子ども
 - ・力強く 頑張る 子ども



□ 概 要

本校は、昭和54年に障がい児入所施設「しりべし学園」の児童生徒が通うために開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。知的障がいのある児童生徒の学習上の特性等を踏まえ、生活単元学習、作業学習、地域との交流などを通して、地域の中で豊かに生活し、社会生活に必要な知識や技能、主体的に取り組む力を養うための教育を行っています。

■特色ある教育活動

目標

「地域の中で豊かに生活し、たくましく社会自立・貢献する力を育てる」

- ・社会生活や職業生活の中で必要な知識や技能 〈知識及び技能〉
- ・社会生活や職業生活の中で自ら考え多様な役割を果たす力 〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・社会生活や職業生活の中で協働しながら自分らしく地域や社会に貢献する力 〈学びに向かう力、人間性等〉

【 生活単元学習 】

運動会や学習発表会等の行事の学習のほか、学級や学部全体で地域の自然豊かな資源を生かした様々な単元の学習に取り組みます。

《主な学習活動》

- ・町内の施設の活用（自然体験情報センターやふれあいの森情報館、パークゴルフ場など）
- ・町内の清掃活動（近隣施設や学校周辺の清掃）
- ・ブナ林や鳥、花の観察や記録

【 作業学習 】

園芸・農業、リサイクル、軽作業、除雪、製作に取り組みます。2週間の現場実習では、第1学年は、校内実習、第2学年は、町内引率体験実習、第3学年は、生徒一人で行う体験実習又は卒業後に働くことを前提とした実習を行います。

《主な学習活動》

- ・畑での野菜の栽培、花壇の手入れ、キャンドルのリメイク作業
- ・空き缶やペットボトル、古紙などのリサイクル作業
- ・学校の敷地内の除雪作業

【 総合的な探究の時間 】

寿都高等学校の生徒とレクリエーションや制作学習を通じた交流及び共同学習、商店や公共施設の利用、地域の自然に触れる学習などに取り組みます。



生活単元学習：野外活動



作業学習：
廃材を活用したキャンドル作り



総合的な探究の時間：
寿都高等学校との交流



保健体育：歩くスキー



作業学習：除雪（ボランティア）



総合的な探究の時間：調べ学習

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
	国語・数学				
2	体力づくり				
3	作業学習	作業学習	生活単元学習	作業学習	生活単元学習
4					
5	自立活動	保健体育	音楽	美術	保健体育
6	生活単元学習	日常生活の指導	日常生活の指導	特別活動	日常生活の指導
7	日常生活の指導				日常生活の指導

- * 「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施
* 登校時間 9:00（月～金）
* 下校時間 15:10（月・木）
／14:20（火・水・金）

■教育課程の特徴

作業学習や生活単元学習、体力づくり、日常生活の指導を中心的な学習として、音楽や美術などの教科の学習、自立活動の時間等を適切に配置し、関連付けながら教育課程を編成しています。卒業後の社会生活を見据え、一人一人のキャリア発達を促す教育活動を展開しています。

- 作業学習
働くことへの意欲を高め、協力して取り組む力や、働くために必要な知識や技能、態度及び習慣など育成することを目指した学習に取り組みます。
- 保健体育
運動経験の拡大や、健康・安全についての理解を通して生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てます。冬季は、自然豊かな環境の中で「歩くスキー」を行っています。
- 体力づくり
心身の健康の保持増進を目指して、基礎的な運動に継続して取り組んでいます。持久走やストレッチ運動、バランスボールを使った体ほぐし運動、サーキットトレーニングなどを行い、筋力や体幹の向上、基礎体力の向上を図ります。
- 自立活動
生活習慣の確立、コミュニケーション能力の向上、社会参加に必要なスキル習得などを目的とし、個に応じた学習を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 施設入所支援、生活介護～2名

学校Webページ



後志管内

北海道小樽高等支援学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- ☐ 住 所 〒047-0261 小樽市銭函1丁目10番1号
☐ 問 合 せ 先 TEL 0134-61-3400
 FAX 0134-61-3430
 E-mail otarukoushi-z0@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.otarukoushi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- ☐ 学校教育目標
 「豊かな心を持ち 力をあわせて 生き生きと活動する
 生徒を育てる」
☐ 校 訓
 「感 動」「協 働」「躍 動」


☐ 概 要

本校は平成21年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。今年度は140名の生徒が在籍しています。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、作業学習、各教科、進路の学習などにより、卒業後の自立と社会参加を目指し、将来、社会人・職業人として必要な力を養うことを目指した教育を行っています。寄宿舎では、集団生活を通し、自主的・自律的に生活する力の定着を図っています。

■特色ある教育活動

今年度の重点目標

生徒たちの「こころの実り」、「つながりの実り」、「自分らしさの実り」を育む
 ～生徒たちの可能性を引き出し、チャレンジを支える学校を目指して～

- 各学科の作業学習と『地域資源を活用した教育活動』について
- 【 生産技術科 】
 牛乳パックから手すきの和紙を作り、様々な紙製品に加工する紙工実習を中心に、グラスやクリアホルダーに文字などを加工するサンドブラスト実習を行っています。また、焼き物を作るセラミック実習、花壇を整備する園芸実習、清掃実習を行っています。
- 【 木工科 】
 木材を使って木べらやラック、トレー、ベンチなどの製作を行い、学校祭などの行事で販売しています。また、地域の小学校の児童と木工製品作りを通じた交流学習にも取り組んだり、地域の会社から依頼された製品を作ったりしています。
- 【 環境・流通サポート科 】
 校舎の清掃活動、学校要覧などの印刷、丁合、製本などの学習を行います。また、学校近くの海水浴場や地域、学校での清掃活動、老人会と連携した独居老人宅の窓清掃や除雪活動に取り組んでいます。その他に、地域において除草、ごみ拾いなどの清掃活動にも取り組んでいます。
- 【 家庭総合科 】
 縫工実習では、バッグやポーチ、巾着袋など段階に応じて大小様々な製品作りに取り組んでいます。また、製菓実習では各学年5、6種類のパンを製造し、校内のカフェで保護者や地域の方に販売をしています。
- 【 福祉サービス科 】
 高齢者への介護技術や家事援助の学習、週三日営業している校内カフェでの接客、焼菓子の製造などを行います。介護職員初任者研修を受講し、専門的な内容を深めて資格取得を目指すことができます。また、アビリンピック北海道大会に出場しており、令和元年度の全国大会では、銅賞を受賞しました。



生産技術科：紙すき



木工科：研磨



環境・流通サポート科：校舎清掃



家庭総合科：製菓



福祉サービス科：接客



寄宿舎：舎友会総会

■第1学年生徒の週時程表

【生産技術科】

	月	火	水	木	金
1	職業	作業学習	保健体育 (体トレ)	作業学習	情報
2	外国語		国語		家庭
3	国語		音楽		社会
4	数学		数学		理科
5	進路学習 / 道徳	保健体育	美術	保健体育 (体トレ)	LHR
6					

※「総合的な探究の時間」「道徳」は特定の時期で実施

※「体トレ」は体カトレーニングの略

*登校時間 8:00~8:40 (月~金)

*下校時間 15:30~ (月~水) / 14:30~ (木・金)

■教育課程の特徴

- 『働く力、生活する力を高める学習』
作業学習では、働くために必要な知識、技能、態度を身に付けます。「地域とのつながり」を大切にし、現場実習や就業体験を充実させるなど、望ましい勤労観や職業観を身に付け、将来の進路選択につなげています。

また、社会生活に必要な学力を身に付けるため、国語、数学、社会、情報、家庭、外国語などの教科学習を行います。

- 『進路学習（総合的な探究の時間）』
個性を生かした進路選択ができるよう、卒業後の仕事、生活、余暇などについて学習します。

また、「キャリアカウンセリング」では、学校生活の自分の目標を、学級担任や作業担当と相談しながら一緒に考えます。

- 『自立活動の指導』
一人一人の重点目標を踏まえ、主に「健康の保持」「人間関係の形成」「コミュニケーション」「心理的な安定」などの区分から項目を選定し、主にホームルーム活動で指導することを想定して具体的な指導目標を設定します。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 一般就労（就労継続支援A型含む）～19名
【接客・サービス、医療・福祉、流通など】
- 福祉的就労（就労移行、就労継続支援B型など）～13名
- 進学～2名

学校Webページ



胆振管内

北海道室蘭養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒050-0061 室蘭市八丁平3丁目7番27号
- 問 合 せ 先 TEL 0143-45-8270
FAX 0143-45-8195
E-mail muroranyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.muroranyougo.hokkaido-c.ed.jp/>



■本校の概要

- 学校教育目標
夢や可能性に向かい、心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成
- 「毎日笑顔で生き生きと、楽しく過ごすことができる」児童生徒
- 「自己選択、自己決定ができる」児童生徒
- 「思いやりをもって、人とかわり協力しながら取り組むことができる」児童生徒
- 「主体的に学び、生活することができる」児童生徒



□ 概 要

昭和54年に開校した「平取養護学校白鳥学園分校」を前身とし、平成3年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。現在は、知的障がいのほか、肢体不自由、聴覚障がい、視覚障がい、病弱など複数の障がいを併せ有する生徒が在籍しており、医療的ケアの必要な生徒も在籍しています。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、個別のニーズに応じた内容と多様な集団での学習を通して、将来の社会生活や地域活動に参加する上で必要となる力や望ましい生活習慣を養うための教育を行っています。児童生徒を真ん中に一人ひとりを主語にした取り組みの充実に努めています。

■特色ある教育活動

●高等部キャッチフレーズ「いきいき自立」

～卒業後を見据え、一人ひとりに合わせた自立した生活をいきいきと送っていただけるように、それぞれの良さを伸ばしつつ、社会とつながった学習を充実させていくステップ～

青年期の生徒に対し、その心身の発達段階と障がいの状況に応じた教育を行うとともに、自ら学ぶ意欲を養い、たくましく社会生活を送るための知識、技能、習慣を育成する。

- (1) 中学部、中学校で培った力の定着や拡大・応用を図り、進んで学び、心身共に健康で豊かに生活しようとする態度を育てる。【生き生き過ごす】
- (2) 青年期として必要な知識、技能、体力、習慣を育てるとともに、自ら選択し、意思決定しながら、社会参加する力を育てる。【自己選択・自己決定】
- (3) 集団生活に進んで参加し、対人関係を豊かに広げ、自分を信頼し、相手を思いやる気持ちをもって協力する習慣や態度を育てる。【思いやり・協力】
- (4) 基本的な生活習慣を身に付け、家庭生活や社会生活、職業生活を営む能力を養うとともに、自立的な生活に必要な知識、技能、態度を育てる。【主体的な学び】

【北海道大谷室蘭高等学校kとの交流及び共同学習】

互いに訪問し合い、作品交流や作業学習、レクリエーション等の活動を通して交流しています。

【高齢者施設との交流学習】

本校の学校紹介や各学年の発表をしたり、壁画を制作して作品交流等をしたりしています。

【国際交流学習】

年数回ALTや地域の外国人と交流を行い、外国語や外国の文化をレクリエーション等を通して学んでいます。



校外学習



体育大会



体力づくり（歩くスキー）



作業学習（木工班）



見学旅行



蘭学祭

■第1学年生徒の週時程表（普通学級）

曜 日		月			火			水			木			金		
時 間		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
1	9:00～ 9:35	日常生活の指導 ・自立活動			日常生活の指導 ・自立活動			日常生活の指導 ・自立活動			日常生活の指導 ・自立活動			日常生活の指導 ・自立活動		
2	9:35～10:25	国語・数学/ 自立活動/教科	国語・数学/ 自立活動/教科	国語・数学/ 自立活動/教科	作業学習			国語 /数学	音楽	美術	国語 /数学	音楽	美術	国語 /数学	音楽	美術
3	10:30～11:20	HR (特別活動)	HR (特別活動)	HR (特別活動)				作業学習/自立活動			生活単元学習			生活単元学習／ 総合的な探究の時間		
4	11:20～12:05	総合的な探究の時間 / 委員会	総合的な探究の時間 / 委員会	総合的な探究の時間 / 委員会												
5	12:05～12:55	日常生活の指導			日常生活の指導			日常生活の指導			日常生活の指導			日常生活の指導		
6	13:15～14:05	保健体育/ 体力づくり (類型B：自立活動)			国語/数学			日常生活の指導			作業学習			体力づくり/ 保健体育 (類型B：自立活動)		
7	14:05～14:50				日常生活の指導											
8	14:50～15:05	日常生活の指導									日常生活の指導			日常生活の指導		
下校時刻		15:10			14:20			13:20			15:10			15:10		

■教育課程の特徴

学校目標、学部目標を踏まえて、「各教科等を合わせた指導」（日常生活の指導、体力づくり、生活単元学習、作業学習）を中心に、「教科別の指導」（国語、数学、社会、理科、音楽、体育、美術）や「自立活動」などから教育課程を編成しています（3パターンの時間割があります）。

□ 作業学習

「木工」「クリーニング」「農耕」「手芸」「紙工」「クラフト」「清掃」などを通して、卒業後の日中活動や仕事で必要とされる基礎的な力を育成しています。

□ 現場実習（総合的な探究の時間）

卒業後の実際的な生活を見通し、地域の事業所等での実習を行います。

□ 自立活動の指導

自立活動の時間を設け、個々の教育的ニーズに応じた指導を行っています。また、各授業の中で生徒個々の自立活動の目標を踏まえた指導を行っています。

* 登校時間 9:00（月・火・水・木・金）

* 下校時間 15:10（月・木・金）／14:20（火）／13:20（水）

■卒業後の主な進路先について【14名】（令和6年度実績）

□ 就労継続B型10名、生活介護4名

学校Webページ



胆振管内

北海道伊達高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒052-0012 伊達市松ヶ枝町105番地13
- 問 合 せ 先 TEL 0142-25-5115
FAX 0142-25-5115
E-mail datekoyo-post@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.datekotoyogo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「自ら学ぶ力を高め 豊かな心とたくましい体を育み
目標に向かって働く力を身に付け 新しい時代の社会に貢献する生徒を育てる」
- 校 訓
「希望 自立 前進」



□ 概 要

本校は昭和56年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、作業学習を中核とした学習指導を通して、社会で「働く力」「生活する力」を育成しています。また、学校と寄宿舎が連携し、社会自立を目指した生活指導を行っています。



■特色ある教育活動

【 園芸科 】

花(花苗、鉢花、ドライフラワー)、ハーブ、藍染めに使用する藍を育てています。育てた花苗は地域や学校の花壇に植えています。また、ドライフラワーやハーブを使った製品作りをしています。これらの作業を通して、地域や社会で必要とされる資質・能力や社会人として必要な態度を身に付けます。

【 窯業科 】

湯のみ茶わんやコーヒーカップなどの陶器を制作し、伊達市の「道の駅（伊達市観光物産館）」や学校祭で販売しています。これらの作業を通して、自己理解を深め、勤労と社会のつながりを学ぶとともに、社会自立に必要な能力や態度を身に付けます。

【 農業科 】

無農薬野菜を育てています。収穫物を使った食品加工や販売を行っています。また、伝統作物を栽培し、ほうきづくり、藍染めなども行っています。これらの作業を通して、勤労の意義を学ぶとともに、社会自立に必要な知識や技能、態度を身に付けます。

【 木工科 】

ベンチやスツールなどの木工製品を製作しています。また、これまでに販売した伊達市内外のベンチの補修をしています。これらの作業を通して、社会自立に必要な能力を身に付けるとともに、目標に向かって前進する態度を身に付けます。

【 工業科 】

民地仕切石や歩道平板など13種類のコンクリート二次製品の製造に取り組んでいます。また、鋼板を加工した焼き鳥機やレジャーコンロ、くん製機などの製作も行っています。これらの作業を通して、勤労の意義を学ぶとともに、社会自立に必要な基礎的な能力や態度を身に付けます。

【 家庭総合科 】

清掃作業や調理実習、縫工作業に取り組んでいます。また、校外作業として近隣施設の窓清掃も行っています。これらの作業を通して、勤労の意義や社会とのつながりを学び、社会自立に必要な能力や態度を身に付けます。



園芸科：町内花壇造成



窯業科：撥水材塗り



農業科：天然灰汁発酵建て
(灰汁作り)



木工科：溝加工作業



工業科：打ち込み



家庭総合科：ロックビスケット作り

■第1学年生徒の週時程表

	月	火	水	木	金
1	家庭	体力づくり	職業	体力づくり	体力づくり
2	体力づくり	理科	総合的な探究の時間	作業学習 (自学科)	国語
3	作業学習 (自学科)	保健体育	作業学習 (自学科)		音楽/美術
4					
5	社会/外国語	作業学習 (選択)	特別活動	数学	
6				情報	

■教育課程の特徴

「働き続ける力」「生活する力」の育成を目指し、作業学習、体力づくりを中核とし、各教科間の関連をもたせた教育課程を編成しています。

また、生徒個々の教育的ニーズに応えるため、学科や教科等の特性を生かしながら、3年間を見通した系統的な指導計画の下、指導方法の工夫を図っています。

本校のスクールキャラクター
「サムアイ」くん



□ 作業学習（自学科作業・選択作業）

所属する学科の「作業学習」を中心に3年間取り組みます。勤労の意義を理解し、職業生活に必要な知識や技能、態度及び習慣を身に付けることを目指しています。

第1、2学年は、主体的な進路選択につなげることをねらいとし、所属する学科以外の作業種に取り組む「選択作業」の学習を行っています。

□ 作業学習（現場実習）

地域の企業や福祉事業所で働く経験を通して、職業人としての基本的な知識や技能、態度及び習慣を身に付けることをねらいとして現場実習を行っています。学年によって実習の目的、回数、期間、引率教員の有無等が異なり、生徒一人一人の課題や進路希望に応じた実習形態を工夫しています。

○ 第1学年：秋季2週間 ○ 第2学年：秋季2週間、冬季2週間

○ 第3学年：卒業後の希望の進路先での現場実習を2～4週間

□ 各教科別の学習（国語、数学、理科、社会など）

社会生活に必要な知識や技能、態度及び習慣を身に付けることをねらいとしています。「ホームルーム別」「複数のホームルーム合同」「課題別的小グループ」等、教科の特性や生徒の実態に応じた学習集団を工夫しています。

□ 自立活動の指導

本校では、自立活動の目標を個人の年間の重点目標として日々指導にあたっています。教育活動全体を通して、自立活動の指導を行っています。

* 登校時間 8時25分（月～金）

* 下校時間 14時20分（月・水）／15時05分（火・木）／13時15分（金）

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

□ 一般就労（就労継続支援A型含む）～11名【卸売業、製造工場など】

□ 福祉的就労～17名【就労移行支援、就労継続支援B型など】

□ 進学～0名

合計 28名



学校Webページ



日高管内

北海道平取養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒055-0107 沙流郡平取町本町112番地7
- 問 合 せ 先 TEL 01457-2-3178
FAX 01457-2-3256
E-mail birayo-zo@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.birayo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「未来に向かい よろこびをもって生きる 子どもを育てる」
- 校 訓（子ども像）
「よく考え学ぶ子ども」「豊かな心をもつ子ども」
「命と体を大切にすること」



□ 概 要

本校は昭和53年に開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。平成10年に高等部が設置されました。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、作業学習や生活単元学習など地域資源を積極的に活用した学習により、卒業後の自立と社会参加を目指し、働く力や生活する力を養っています。寄宿舎では、集団生活を通して社会性の向上や基本的な生活習慣の定着を図っています。

■特色ある教育活動

高等部の教育目標

- ア 進んで学び行動できる生徒
- イ 場や状況に応じて、自分の気持ちを人に伝える生徒
- ウ 心と体を大切にすること

【 多様化する生徒の状況に対応したコース制の導入 】

障がいの程度や種類が多様化している中、生徒一人一人の教育的ニーズや進路希望等に応じた教育課程の編成を目指し、令和2年度からコース制を導入しました。コースはワークコース、ライフコース、ライフベーシックコースの3つがあります。

コースでの学習は第2学年から始まり、生徒の興味・関心や自分の学び方に適したコースを選びます。コースの特徴として、「ワークコース」では、週9単位時間の作業学習があります。作業学習を中心に学習し、卒業後に向けて働く力を高めたい生徒が選択します。「ライフコース」では、週6単位時間の作業学習や週2単位時間の美術があります。学習内容をバランス良く学び、様々な学習を通して卒業後の生活を豊かにする力を身に付けたい生徒が選択します。「ライフベーシックコース」では、自立活動を主として学習し、対象の生徒は1学年から本コースで学びます。

【 平取町の地域資源を活用した教育活動 】

農業班は、週1回、地域のトマト農家やトマトの選果場で作業学習を行います。農家や選果場の方から、直接指導を受け、実践的な学習を行います。総合家庭班や1年生の作業は地域施設の清掃作業、ものづくり班は地域からの依頼を受け、プランター等の製作を行います。この他、地域の飲食店から受注を受けシール貼りや段ボール組立て等の作業も行っています。地域の中で働き、感謝されることを通して、働くことの意味や価値などを学びます。また、地域の保健師や歯科衛生士さんがゲストティーチャーとして来校したり、交流及び共同学習として平取高等学校の生徒と一緒に学習したりと、地域資源を活用した教育活動に取り組んでいます。



作業学習：農業班



作業学習：総合家庭班



作業学習：ものづくり班



作業学習：地域での作業
(公民館の清掃)



高等部祭：壁画アート



体育大会

■第1学年生徒の週時程表

【 普通学級／重複障がい学級 】

	月	火	水	木	金
1		日常生活の指導（朝のHR）			
	日常生活の指導	保健体育／自立活動			
2	保健体育／自立活動	数学	保健体育／自立活動	国語	数学
3	作業学習	生活単元学習	生活単元学習	作業学習	作業学習
4					
5	国語	美術	HR活動	保健体育	日常生活の指導（帰りのHR）
6	音楽		日常生活の指導		
7	日常生活の指導（帰りのHR）				日常生活の指導

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

*登校時間 9：05（月）／8：40（火～金）

*下校時間 15：05（月・火・木）／14：20（水）／13：35（金）

■教育課程の特徴

生徒一人一人の将来の生活を見据え、第1学年は共通した教育課程、第2、3学年はコースごとに教育課程を編成しています。

□ 作業学習

生徒の実態に応じて意欲的に取り組むことができる活動を設定します。製品を仕上げたり、地域で活動したりする中で、生涯働き続けるための知識や技能、意欲、態度、習慣を育てます。1学年は週6単位時間行います。

□ 総合的な探究の時間

近隣校との交流及び共同学習、ALTとの交流などを通して、主体的に取り組む態度と意欲を育てます。また、現場実習を通して、社会の中での自分の役割に対する意識を高め仕事に協働的に取り組む姿勢を養います。

□ 自立活動

各教科等の指導内容と関連付けながら全ての教育活動の中で行います。

特にライフベーシックコースでは一人一人の生徒の障がいに応じて健康の維持・改善、コミュニケーション力の向上などを目指します。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 一般就労～1名
- 福祉的就労～14名【就労継続支援B型9名、生活介護5名】
- その他～1名【進学1名】

学校Webページ



日高管内

北海道平取養護学校静内ペテカリの園分校

寄宿舎：無

スクールバス：無

※ 原則として中学部から在籍している方を対象とした特設支援学校です。

■学校の基本情報

- 住 所 〒056-0023 日高郡新ひだか町静内ときわ町1丁目1番35号
- 問 合 せ 先 TEL 0146-43-2918
FAX 0146-43-2918
E-mail biratoriyougopetekarinosono-zo@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.biratoriyougopetekarinosono.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「未来に向かい よろこびをもって生きる 子どもを育てる」
- 校 訓（子ども像）
「よく考え学ぶ子ども」
「豊かな心をもつ子ども」
「命と体を大切にする子ども」



- 概 要
本校は昭和60年に北海道平取養護学校の分校として開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特設支援学校です。高等部は平成12年に開設されました。知的障がいや重複障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、地域との交流を通して、卒業後の自立と社会参加を目指し、「生活する力」や「人と関わる力」等を養う教育を行っています。

■特色ある教育活動

高等部教育目標

- ・働くために必要な体力や生活習慣を身に付けると共に、実生活に必要な各教科等の知識及び技能を身に付ける 【知識・技能】
- ・社会的な約束やルールがわかり、場所や状況に応じた行動がとれる。 【思考力・判断力・表現力】
- ・お互いの考えや感情を尊重し、自分の役割や役目に応じて社会の中で主体的に行動する。 【学びに向かう力・人間力】

【 地域と共に進める「作業学習」 】

卒業後に目指す生活スタイルやニーズの多様化を受けて、2つの作業学習班を編制し、地域社会において自立的に働く喜びや様々な人との関わりに必要な力の育成を目指しています。

また、静内地域における主要産業の協力を得ながら、校外で作業学習を継続的に実施する地域作業を推進しており、地域社会で自立的に生活できる人材の育成に努めています。

・ワークグループ

職業生活の自立を重点目標として、木工、農園芸、清掃、縫工などの作業に取り組んでいます。

また、5月～10月までは週に1回、地域作業（ミニトマトの収穫・選別など）に取り組んでいます。

・ライフグループ

日常生活の自立を重点目標として、農園芸、清掃、リサイクルなどの作業に取り組んでいます。



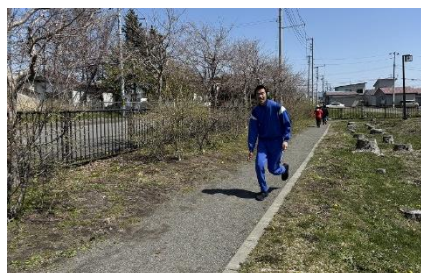
作業学習：木工作業



作業学習：リサイクル



作業学習：縫工



体づくり



作業学習：畑作業



総合的な探究の時間
：農業高校との交流

■高等部週時程表

【 普通学級 】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	国語・数学		体づくり	国語・数学	国語・数学
3	体づくり		作業学習	体づくり	
4	作業学習	生活単元学習		保健体育	自立活動
5	作業学習	作業学習	音楽美術	職業	LHR
6			日常生活の指導	生活単元学習	日常生活の指導
7	日常生活の指導	日常生活の指導		日常生活の指導	

- * 登校時間 8：40（月～金）
 * 下校時間 15：10（月・火・木）
 14：20（水・金）

■教育課程の特徴

作業学習や生活単元学習、体づくりを中心的な学習として、国語や数学などの教科の指導、総合的な探究の時間等を適切に配置し、関連付けて教育課程を編成しています。卒業後の社会生活（社会参加・社会貢献）において、実践的に役立つ力や生活習慣を育成する教育活動を展開しています。

□ 地域で学び、地域で活かす作業学習
 基本の作業学習の他に、新ひだか町静内地域の各関係機関の協力を得ながら地域作業を進め、勤労意欲を高めるとともに、仕事で必要とされる態度や習慣、場面に応じた対応などを中心に学習します。

□ アカデミックスキルの充実（国語・数学など）卒業後の生活に必要な力の育成を目指しています。ニュースや話を聞いて要旨が分かる力を育てる学習や、時計や金銭など生活に結び付いた学習を行っています。

また、その成果を確かめるため、生活単元学習で、高等部カフェ、製品販売会、買い物や公共施設の利用についての学習を行っています。

□ 総合的な探究の時間
 新ひだか町の施設を利用した乗馬学習を行っています。また、第1学年から第3学年まで地域の事業所や企業で現場実習を行っています。

□ 自立活動の指導
 重複学級では、自立活動の時間を特設し、トップダウンとボトムアップの双方の視点から個々のニーズに応じた指導を行っています。普通学級では、教科等の授業において個々の自立活動の目標を踏まえて指導を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 一般就労 3名 □ 福祉的就労 1名【就労継続支援B型等】
 □ 施設入所利用 1名 □ 生活介護 1名 □ 短期入所利用 1名 □ 家庭 1名

学校Webページ



【知的障がい】
（道南圏）

渡島管内

北海道七飯養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒041-1112 亀田郡七飯町鳴川5丁目21番地1号
- 問 合 せ 先 TEL 0138-65-7004
FAX 0138-65-7004
E-mail nanaeyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.nanaeyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「自己のもつ能力や可能性を高めるとともに一人一人の『生きる力』を培い、生きる喜びを育成する」

□ 概 要

本校は昭和54年に開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。全校児童生徒202名のうち、高等部には84名が在籍しており、近年は在籍者が増加しています。

知的障がいのある児童生徒の学習上の特性等を踏まえ、個別の指導計画に基づいた学習を通して、卒業後の自立と社会参加に必要な力を育成しています。自己のもつ能力や可能性を高めるとともに一人一人の「生きる力」を培い、生きる喜びを実感させます。

また、寄宿舎では、一人一人の生活が豊かになるよう指導の充実を図っています。



■特色ある教育活動

【高等部の教育目標】

生徒一人一人が、自己実現を図り、自己理解を深めながら豊かな生活を送るとともに、積極的に社会に参加していくために必要な生きる力を育成する。

- ・将来社会に出て生活していくための力を育てることを考え、体験的な学習を大切にしています。
- ・現場実習などの学習を通して、生徒の実態に応じた進路支援を行っています。

【作業学習】

1年生では経験の拡大を目指し、木工・陶芸・手工芸・リサイクル・園芸軽作業の5種全ての作業に取り組みます。2・3年生は、前期・後期に分け自分で選択した二つの作業種に取り組みます。木工作業では、七飯町役場と連携してスノーボールの色塗り作業を行っています。役場で用意した角材に、赤と白の塗料を塗り、学校周辺の道路に設置して除雪作業の目印として役立てていただきました。園芸軽作業では、プランターに花の寄せ植えを行い、近隣の七飯駅に飾る活動を行っています。

【生活単元学習の取組】

買い物学習や調理学習、学級園での栽培、カルチャークラブなどで、生活経験の拡充や実践的な知識や技能の習得を目指して学習しています。学期ごとのお楽しみ会や卒業生を送る会などでは、生徒が企画を考えたり、得意なことを分担したりするなど、一人一人が力を発揮し、集団全体での活動に協働して取り組む中で、身に付けた内容を現在や将来に生かそうとする実践的な態度を養います。

【進路学習】

卒業後の生活の中心となる事業所等について、主体的な選択を行うことや選択した活動場所等で生徒が意欲と能力を発揮し、社会生活・職業生活等の充実を図ることを目指して、生活介護事業所や就労継続支援B型事業所等の福祉施設で現場実習を行います。現場実習では、事業所等の雰囲気に触れ、職員や利用者等との関わりや実際の活動等の体験等を通して、社会生活・職業生活等に必要な知識や技能、態度等を学びます。

〈第1学年：必要に応じて実施、第2学年：3日～10日間程実施、第3学年：5日～20日間程実施〉



音楽



作業学習：木工



作業学習：園芸・軽作業



保健体育



生活単元学習：卒業生を送る会



美術

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導／保健体育				
2	作業 学習	課題 学習	作業 学習	生活 単元 学習	課題 学習 ／ 美術
3					
4	日常生活の指導（給食）				
5	日常生活の指導（片付け、清掃）				
6	音楽	保健 体育	帰りの 活動	保健 体育	帰りの 活動
7					
8	帰りの 活動	帰りの 活動		帰りの 活動	

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

【総合的な探究の時間】

将来の社会生活を想定した地域社会での体験を通して、生活経験の拡大を図るとともに、各教科等の学習で培われた資質・能力を関連付けた指導内容を設定し、課題を解決する力を養います。

※登校時間 9：00（月～金）

※下校時間 15：00（月・火・木）／13：20（水・金）

■主な学習内容とその押さえ

【各教科等を合わせた学習】

- 日常生活の指導
日常生活に必要な内容について、学校生活の流れに沿って学習します。
- 生活単元学習
生活上の課題解決が図られるよう、生活に必要な事柄を実践的・総合的に学習します。
- 作業学習
働く力や生活する力を高めることを目指し、職業生活及び家庭生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付けるとともに、勤労を重んじる態度を養い、進んで社会生活に参加する態度を培います。（木工、陶芸、手工芸、リサイクル、園芸・軽作業）
- 課題学習
社会参加する上で必要な自己選択や、課題解決能力が高まるよう、必要な基礎・基本的事項について他の学習との関連を図りながら学習します。

【教科別の学習】

- 保健体育
適切な運動の経験や健康安全についての理解を通して、健康の保持増進と体力の向上を図り、豊かな生活を営む態度を培います。毎日の継続的な運動を通して、健康に生活するために必要な体力を身に付けます。
- 音楽
表現及び鑑賞の活動を通して、音楽についての興味や関心を深め、楽しさや美しさを味わい、生活を楽しむ態度を培います。
- 美術
造形活動によって、表現及び鑑賞の能力を高め、豊かな情操を養います。

【自立活動】

個々の生徒が自立を目指し、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を培うことをねらいとしています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度卒業生）

- 一般就労～0名
- 道立高等技術専門学院～1名
- 福祉的就労～24名（就労継続支援B型16名/生活介護8名）
- 入所～3名

学校Webページ



渡島管内

北海道七飯養護学校おしま学園分校

寄宿舎：無

スクールバス：無

※ 原則として中学部から在籍している方を対象とした特別支援学校です。

■学校の基本情報

- 住 所 〒049-0282 北斗市当別697-55
- 問 合 せ 先 TEL 0138-75-2717
- FAX 0138-75-2717
- E-mail nanaeyougooshima-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.nanaeyougooshima.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

自己のもつ能力や可能性を高めるとともに一人ひとりの「生きる力」を
培い、生きる喜びを育成する。

□ 子 ども 像

- 1 基本的な生活習慣を身に付け、生かそうとする子ども
- 2 自分で考えたことや方法を試そうとする子ども
- 3 友達と力を合わせて行動しようとする子ども



□ 概 要

本校は、昭和54年に開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした、おしま学園に併設する特別支援学校です。開校当初は、小・中学部だけの特別支援学校でしたが、隣接する学校法人ゆうあい学園ゆうあい養護学校高等部の閉校に伴い、平成19年4月に高等部が設置されました。

在籍する生徒の約8割は自閉症を併せ有しているため、生徒の学習上の特性等を踏まえ、視覚的な手掛かりを手立てとした学習指導を大切にしながら、「働く喜びをもち、自分の役割を果たそうとする力」「自分の好きなことを広げ充実した生活を送れる力」を育成しています。

■特色ある教育活動

高等部の教育目標

地域社会との関わりの中で役割をもち、様々な活動に意義や喜びを見だし、自分の良さを生かし、たくましく生きる人を育てる。

【 作業学習と製品販売会 】

毎日2時間（水曜日のみ1時間）、作業学習を行っています。リサイクルなどの軽作業・清掃活動・受注作業・製品作りなど、生徒の実態を踏まえた取組を進めています。作った製品は、年2回の製品販売会で販売しています。

生徒が直接お客様とやり取りし、喜んでもらう経験は、日頃の作業学習に対する意欲の向上につながっています。

【 余暇活動の充実 】

余暇を有意義に過ごすことに重点を置いた「余暇体育」の授業では、地域の漁港に出かけて釣りを行うなど、地域資源を生かして将来の余暇につながる取組を行っています。

「余暇制作」の授業では、キャンドルを作って石別地区の「トラピスト通り並木道」ライトアップに参加するなど、地域と関わる取組を行っています。

【 地域との交流・清掃活動 】

5月から9月の期間を「地域活動月間」として、当別浜の清掃活動を行っています。浜辺の清掃活動を通して、地域に貢献していることを実感しながら取り組んでいます。



製品販売会



作業学習：海浜清掃



作業学習：紙すき



余暇体育：釣り



余暇制作：書道



余暇音楽：打楽器演奏

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	余暇体育／自立活動				
3	作業学習				
4	作業学習		余暇制作	作業学習	
5	日常生活の指導 (給食指導、清掃、歯磨きなど)				
6	自立活動				
7	日常生活の指導	余暇体育	日常生活の指導	余暇音楽	日常生活の指導
8		特別活動		総合的な探究の時間	
9		日常生活の指導		日常生活の指導	

* 登校時間 8:50 (月～金)

* 下校時間 13:20 (月・水・金) / 15:00 (火・木)

■教育課程の特徴

作業学習、余暇（体育・音楽・制作）、日常生活の指導を中心的な学習として、総合的な探究の時間、自立活動等を適切に配置し、関連付けた教育課程を編成することで、「卒業後の働く力」や「余暇を楽しむ力」の育成を目指した教育活動を展開しています。

□ 作業学習

将来の社会自立、社会参加を目指し、積極的に仕事に取り組む力や仲間と関わる力、自己選択、自己決定する力を育成できるよう、作業活動を行っています。

〈授業時数：週9時間〉

*学習発表会、ゆうあい祭では、作業学習で製作した製品を販売しています。

□ 余暇（体育・音楽・制作）

将来、生徒が充実した余暇生活を送ることができるよう、生徒自身が主体的に楽しみを見つけ、余暇の時間を有意義に過ごす力を育てています。

〈授業時数：週3時間〉

□ 自立活動の指導

主体的な活動参加を促すために心理的な安定やコミュニケーションを重視し、絵カードを利用したやり取りや、分かりやすく動きやすい学習環境の工夫などに取り組んでいます。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 入所 ～1名
- その他 ～2名

学校Webページ



渡島管内

北海道函館高等支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒041-0802 函館市石川町181番地8
- 問 合 せ 先 TEL/FAX 0138-34-2110
E-mail hakodatekoushi-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.hakodatekoushi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 教育理念 「自己と社会をつなぎ、共生社会を創造する教育の追求」

- 校 訓
 知育【探究】学び働き生きることを生涯にわたって探究する人間
 徳育【協働】多様性を尊重し、互いのよさを認め合い協働する人間
 体育【健全】生涯にわたって、健やかな心身と豊かな感性を磨く人間



- 概 要
 本校は、平成31年4月に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。将来、社会自立を目指し、地域や社会と連携・協働しながら、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育みます。

■特色ある教育活動

教育目標

共生社会の一員として、自ら社会に貢献する人間の育成

【 各教科の指導 】

全ての学科で、国語や数学などの各教科の学習を行います（外国語は普通科のみ）。各教科に応じた見方・考え方を働かせ、学習したことを関連付けてより深く理解したり、情報を詳しく調べたりすることや、問題を見いだして解決策を考えながら、「生きる力」へとつながる学習に取り組みます。

【 社会貢献活動・ボランティア活動 】

ボランティア活動では、互いが支え合う社会であることを考えたり、幅広い年齢層の方々と接する中で生活や文化、伝統に親しんだりしながら、社会貢献を通して社会参画への意欲を高め、豊かな道徳性を養う学習に取り組みます。「カフェ」に関わる活動を通して地域と協働したり、「函館マラソン」のボランティア活動に参加したりしながら豊かな学びの場を実現します。

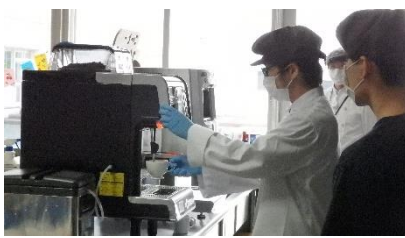
【 就業体験（普通科）・現場実習（職業学科） 】

就業体験では、地域や産業、労働を行う機関との連携を図り、職業の授業を通して就業体験活動の機会を積極的に取り入れています。自己に対する理解を深め、主体的に進路選択や将来設計について考えます。1学年で1日間が3回、2学年で3日間が2回と8日間が1回、3学年で15日間と20日間の2回実施します。

現場実習は、企業等で実習を行います。働くことに関心をもち、職業適性や将来の職業生活を考えながら、実践的な活動と知識を関連付けながら理解を深めていきます。1学年で8日間が1回、2学年で10日間と13日間の2回、3学年で15日間と20日間の2回実施します。



普通科:総合的な探究の時間



生産技術科:エスプレッソマシン



食品デザイン科:調理、製パン



福祉デザイン科:保育(交流)



Hako cafe clover



函館マラソン大会ボランティア

■第1学年生徒の週時程表

【普通科】

※TKK…体づくり運動

	月	火	水	木	金
1	LHR	TKK	数学	TKK	社会
2	国語	数学	総合的な探究の時間	国語	情報
3	保健体育	美術		総合的な探究の時間	職業
4			国語	家庭	
5	外国語	社会	職業	キャリア	情報
6	音楽	家庭		道徳/ 自立活動	TKK/ 生徒会・委員会

【職業学科】

	月	火	水	木	金
1	LHR	TKK	作業 学習	TKK	作業 学習
2	情報	理科		作業 学習	
3	保健 体育	国語			
4		数学			
5	社会	美術	家庭	キャリア	国語
6	音楽		数学	道徳/ 自立活動	TKK/ 生徒会・委員会

*登校時刻 8:30 (月～金)

*下校時刻 15:25 (月～金)

13:30 (午前授業日)

■教育課程の特徴

□ 教科横断的な学習の充実

「主権者教育」「防災・安全教育」「ICT教育」「消費者教育」「新聞教育」「ボランティア」など、地域人材・資源を最大限に活用した学習活動を展開します。主体的・対話的で深い学びの実現を通して、豊かな生きる力、働き続ける力、生活し続ける力を育みます。

□ 地域とつながる場「カフェ」Hako café clover

地域と学校が「開かれた場・つながる場」として全学科協働のカフェを運営しています。各学科での役割を通して、学校の学びが地域とつながる生徒主体の教育課程を編成しています。

□ 作業学習

職業学科では作業活動を中心に、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習します。生産技術科は、木工やコーヒー豆の焙煎など、食品デザイン科は、調理、製菓、接客など、福祉デザイン科は、介護や家庭看護、保育、調理などを学習します。

□ 自立活動

実態把握を丁寧に行い、指導すべき課題を整理し、教育活動全体で指導します。また「週1コマの時間における指導」を通して、「コミュニケーション」「人間関係の形成」「心理的な安定」を中心に、自立活動の意義や必要性、自己理解を促しながら、指導・実践を行います。

■卒業後の主な進路先について(令和6年度実績)

- 就職(就労継続A型含む) ～13名【スーパー、医療福祉、製造、農業など】
- 福祉的就労 ～12名【就労移行支援、就労継続B型、生活介護】
- 進学 ～1名【高等技術専門学院】

学校Webページ



渡島管内

北海道北斗高等支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒049-0156 北斗市中野通3丁目6番1号
☐ 問合せ先 TEL 0138-74-3431
 FAX 0138-74-3435
 E-mail hokuto-koushi-z0@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.hokuto-koushi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- ☐ 学校教育目標
 「勁(つよ)い心を持ち 豊かに生きる力 たくましく働く力を育成する」
☐ 校訓
 「明 朗」「勇 健」「誠 実」「協 和」
☐ 概 要



本校は平成29年に開校した、知的障がいのある生徒を対象とした、職業学科を設置している高等支援学校です。環境・流通サポート科及び福祉サービス科を設置し、卒業後の社会的自立、職業的生活の充実に向けた教育を展開し、生徒全員の就職を目指します。また、道南で初となる高等学校に併設される高等支援学校であり、高等学校と連携し、共に学び、共に成長する教育活動を推進します。

■特色ある教育活動（設置学科：環境・流通サポート科 福祉サービス科）

【 北斗版デュアルシステム 】

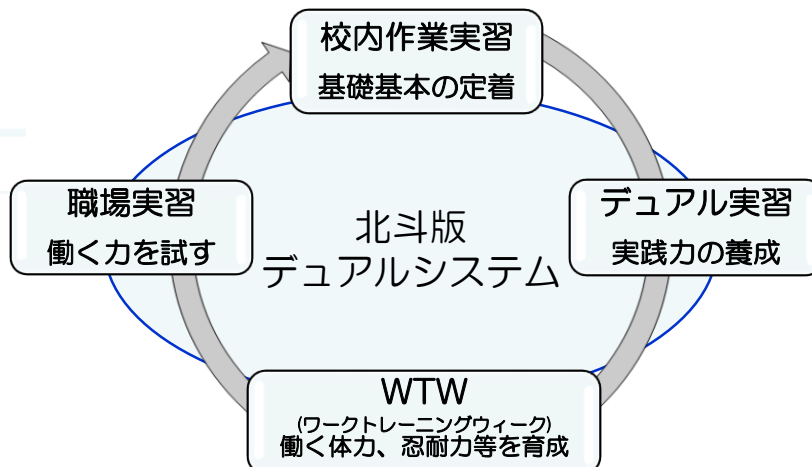
「北斗市で学び、北斗市から道南地域へ巣立ち、道南で働き、道南で暮らす人間を育てる」を基本理念とし、学校と地域、企業両方で繰り返し実習を行うデュアルシステムを構築して、「地域で働きながら学び、学びながら働く」教育を実践しています。卒業後の進路は、生徒の希望や適正に応じたジョブマッチングを行い、北斗市を含む道南地域での就職を目指します。

【 環境・流通サポート科 】

- ① ビルクリーニング作業、環境整備などの学習を通して、資機材の使用方法や作業工程等についての知識や技能を育成します。
- ② 印刷・製本等の事務補助作業を通して、事務機器や用具、コンピュータ等の取扱いや、商品の管理・梱包・発送等に関する知識や技能を育成します。

【 福祉サービス科 】

- ① 社会福祉に関する実習等の学習を通して、身体介助や家事援助、接客対応などの基礎的な知識や技能を育成します。
- ② 居宅介護従事者の業務内容等を学び、資格取得につながる専門的な知識や技能を育成します。



「地域学校協働活動」

学校と地域・企業両方で繰り返し実習を行う「北斗版デュアルシステム」は、地域の企業等に連携を依頼し、学校と地域が連携・協働して、生徒の成長を支える学習活動です。



＜環境・流通サポート科＞
北斗市文化センターでの実習



＜環境・流通サポート科＞
清川口駅での実習



＜環境・流通サポート科＞
環境整備（草刈り）



＜福祉サービス科＞
包布交換



＜福祉サービス科＞
グループホームでの実習



＜福祉サービス科＞
カフェ運営

■第1学年生徒の週時程表

【環境・流通サポート科／福祉サービス科】

	月	火	水	木	金
1	LHR	流通・サービス／福祉	国語	流通・サービス／福祉	国語
2	職業		情報		数学
3	保健体育		美術／家庭		総合的な探究の時間
4	保健体育		美術／家庭		自立活動／道徳
5	理科		音楽		保健体育
6	外国語		社会		保健体育

- * 登校時間 8：30（月～金）
- * 下校時間 15：35～（月～金）
- * 部活動 15：40～週4日活動
ティールボール・バスケットボール部
バドミントン部、文化部

■教育課程の特徴

- 各教科等の学習
週12時間行う学科での作業（流通・サービス／福祉）を通して、生活の中で実際に生きて働く知識や技能を習得します。
- 社会に開かれた教育課程
「北斗版デュアルシステム」を推進し、地域・企業で日常的に働く経験を通して、働くために必要な体力や忍耐力、実践力等を育成します。
- 自立活動の指導
生徒の実態に応じて、個別に目標を設定し、全教育活動を通じて指導しています。
- 取得を目指す資格等
 - (1) ビルクリーニング検定（国家検定）
令和6年度 3級／7名 2級／1名 合格
 - (2) 社会福祉・介護福祉検定
（全国福祉高等学校長会主催）
令和6年度 3級／1名 合格
 - (3) 認知症サポーター養成講座
（厚生労働省事業）
令和6年度 29名受講
 - (4) 日本漢字能力検定
令和6年度 5級／1名 6級／2名
7級／2名 合格

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 一般就労～11名【清掃業、小売業、製造業】
- 福祉的就労～6名（併用含む）

学校Webページ



檜山管内

北海道今金高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- ☐ 住 所 〒049-4304 瀬棚郡今金町今金454番地1
☐ 問 合 せ 先 TEL 0137-82-3121
 FAX 0137-82-3092
 E-mail imayou@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.imayou.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「豊かな心とつよい体をつくり 生涯にわたって自立し たくましく生きる生徒を育てる」

□ 校 訓

「自ら行動し 最後まで 努力する人」

□ 概 要

本校は、平成9年に開校した高等支援学校です。知的障がいのある生徒が学校生活や社会生活の中で「生活する力」「働く力」を身に付けるため、3学科（窯業科、農業科、家庭総合科）に分かれて学習しています。

学校に隣接する寄宿舎では、在籍している生徒のほとんどが入舎しており、身辺自立や自己管理能力、コミュニケーション能力を育成しています。

今金町と連携協定を結び、「特別支援学校卒業生に対する今金町就労支援事業」や商工会事業などにより町内で一般就労する生徒を支援しています。



■特色ある教育活動

【 窯 業 科 】

窯業生産品の製造や販売、環境整備、情報の学習をとおして、勤労意欲の向上を図り、働くことへの理解を深めるとともに、挨拶や場に応じたコミュニケーション能力などを育成します。

基本的な作業の積み重ねから、より高度な製品づくりへと段階的に発展させるとともに、受注生産に取り組みます。また、窯業作業に加え、公共施設の清掃、環境整備など（校内外清掃、校地内の除草など）の様々な作業に取り組みます。地域資源を活用した活動をとおして、社会とのつながりを意識したり、販売活動をとおして、流通システムに係る理解を深め、接客する力を身に付けたりしています。

【 農 業 科 】

草花や野菜、作物の栽培、収穫、加工、販売などの学習をとおして、勤労意欲の向上を図り、働くことへの理解を深めるとともに、挨拶や場に応じたコミュニケーション能力などを育成します。

学校の農場や温室、ハウスでの栽培管理や、収穫物の加工、ドライフラワーを利用した花束づくりなど、様々な製品づくりに取り組みます。また、町や商工会からの草花の受注や、除雪、町道の除草、花壇整備等の活動を通して、地域や社会とのつながりを意識したり、働くために必要な体力や、正しい言葉遣い、周囲と協調する社会性を身に付けたりしています。

【 家庭総合科 】

縫製や機織り、紙すき、石鹸づくり、革製品づくり等の体験的な学習をとおして、勤労体験を豊かにし、働くことへの理解を深めるとともに、社会参加や自立に必要な基礎的・基本的な態度や習慣を育成します。

製品づくりや販売学習をとおして、自分が果たすべき役割について理解を深めたり、状況に応じた挨拶・返事・報告や相手を尊重した発言など、社会生活に必要なコミュニケーション能力や課題解決に向けて自ら努力を続けようとする姿勢を身に付けたりしています。



窯業科：皿製作



農業科：とうきびの収穫



家庭総合科：縫工作業



Imakane Factory：役場報告

部活動：スポーツ部
(北海道・東北ブロック予選大会：秋田県)寄宿舎：
サマーフェスティバルの様子

■第1学年生徒の週時程表

	月	火	水	木	金
1	体力づくり		国語	体力づくり	
2	LHR	作業学習 (実習)	作業学習 (実習)	特別の教科 道徳	音楽
3	作業学習 (他学科)			生活単元 学習/総合的 な探究の時 間	生活単元 学習
4					
5	国語	美術	数学	作業学習 (実習)	
6	数学		保健 体育		
7					

■教育課程の特徴

作業学習、生活単元学習、体力づくりなどを中心に教育課程を編成しています。「キャリア教育全体計画」に基づき、主に生活単元学習と作業学習の授業において、職業生活や社会生活に必要な資質・能力を育成する指導を行います。

□ 作業学習

所属する学科の作業の他に、他の学科の作業や、進路動向に沿った作業（流通、福祉サービス他）をとおして、社会自立、職業自立を目指す学習を行います。

□ 自立活動の指導

各教科等を合わせた指導において、生徒一人一人の実態に応じた目標や指導方法を設定しています。本校では、教育活動全体をとおして、自立活動に取り組んでいます。

また、生徒自身が自己理解や他者理解を深め、自分で進路選択や決定ができるよう定期的に生徒の個別面談を実施しています。

□ 進路学習

進路選択や自己実現のための方法について理解を深めることができるよう、作業学習や現場実習と関連させ、地域と連携しながら将来の社会自立に向けた学習に取り組めます。

※ 登校時間 8：25（月～金）

※ 下校時間 15：15（月・火・木）／15：50（水）／13：20（金）

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 一般就労～ 0名
- 福祉的就労～ 13名【就労継続支援A型事業所、就労継続支援B型事業所】
- 進学～ 0名
- 未定～ 0名

学校Webページ



【知的障がい】
（道北圏）

上川管内

北海道鷹栖養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒071-1233 鷹栖町北野西3条2丁目1番1号
☐ 問合せ先 TEL 0166-87-2279
 FAX 0166-87-2261
 E-mail takasuyougo-zO@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.takasuyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- ☐ 学校教育目標
 「社会の中で協力し、豊かに生きる人を育てる」
 〈目指す人の像〉
 「健康でいきいきと活動する人」 「人とかわり、思いを伝えあう人」
 「自分で考え判断し、行動する人」 「目標に向かって意欲的に取り組む人」



□ 概要

本校は昭和54年4月に、知的障がいのある児童生徒を対象として開校し、平成10年4月に高等部普通科が設置されました。今年で46年目を迎える知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。生徒やその保護者が障がいの程度ではなく、将来の進路希望等に応じて、教育課程の特色や学ぶ内容によって学校を選択することができるという基本的な考え方を基に、一人一人の教育的ニーズに応じた教育活動を展開しています。

卒業生の多くは、地域の理解や協力を得ながら、鷹栖町や旭川市とその近郊の施設や福祉事業所で活躍しています。

遠隔地に居住する生徒のための寄宿舎では、寄宿舎の生活を通して相互に助け合い、認め合い、明るく健康に生活する力を育てています。

■特色ある教育活動

【高等部の教育目標】

地域の中で共に いきいきと生活する力を育てる

【高等部 目指す人の像】

- 健康な体で活動する人
- 様々な人と関わることができる人
- 自分でできること、すべきことを行う人
- 活動に意欲をもって取り組む人

【6つの具体的な力（育てたい力）】

- 体を動かす力
- 人と関わる力
- 社会経験を広める力
- 自分の身の回りのことを自分でする力
- 意欲的に取り組む力
- 働く力

卒業後の生活を見据え、生徒個々の実態やニーズに合わせて、家庭と協力しながら生徒のもてる力を伸ばしていきたいと考えています。卒業後の進路については、本人、保護者が適切な進路選択が行えるよう、定期的に保護者懇談を実施するほか、進路説明会における福祉制度の説明、事業所見学などを行っています。



サークル活動



作業学習



製品販売Ⅱ（永山イオン店）



現場実習



見学旅行（東京）



体力づくり（歩くスキー）

■第一学年生徒の週時程表

		月	火	水	木	金
1	8:50 ～ 9:25	日常生活の指導				
2	9:25 ～ 10:30	体づくり				
3	10:30 ～ 11:30	作業学習	作業学習	LHR	作業学習	生活単元 学習
4	11:30 ～ 12:20			日常生活 の指導		
	12:20	日常生活の指導				
	12:20	給 食				
5	12:50	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活 の指導 下校13:30	日常生活の指導	日常生活の指導
	13:00 ～ 13:50	作業学習	作業学習		総合的な 探究の時 間	作業学習
6	13:50 ～ 14:40	日常生活 の指導	日常生活 の指導		日常生活 の指導	日常生活 の指導
	14:45	下 校			下 校	

- * 登校時間 8：45（月～金）
- * 下校時間 14：45（月・火・木・金）
13：30（水）

■教育課程の特徴

生徒が見通しをもち、主体的に準備や活動を行えるよう、「人と関わる力」や「意欲的に取り組む力」を高める指導を行います。

- 日常生活の指導
食事、衣服、排せつ、清潔、掃除に関することなど、「自分の身の回りのことを自分でする力」を高めます。
- 作業学習
様々な作業種の中から、一人一人に合わせた作業内容を設定し、「働く力」や「体を動かす力」を高めます。年2回の製品販売会に向けた製品作りに取り組んでいます。
- 生活単元学習
将来、社会で生活する上で必要となる「集団で行動する力」や「人と関わる力」、「意欲的に取り組む態度」を身に付けられるよう、年間の学習（入学・進級、製品販売会、調理学習、卒業・進級など）に沿って単元を構成しています。
- 自立活動の指導
自立と社会参加に向けて「身体の動き」「コミュニケーション」「人間関係の形成」等について、体づくりや作業学習など教育活動全体の中で生徒個々の目標や実態に応じた指導を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 福祉的就労【就労継続支援B型8名、生活介護5名】～計13名



上川管内

北海道東川養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒071-1414 上川郡東川町新栄南1丁目2-5
☐ 問合せ先 TEL 0166-82-4586
 FAX 0166-82-4587
 E-mail higashikawayougo-zO@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.higashikawayougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- ☐ 学校教育目標
 「心豊かに たくましく 生きる力を育てる」
 自ら考えて 生活する力
 ゆたかな心で 協働する力
 たくましい体で 活動する力
☐ 校訓
 「健康な子」 「明朗な子」 「考える子」



概要

本校は昭和58年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特設支援学校です。発達や認知の特性等を踏まえ、地域での学びや体験的な学習などにより、卒業後の自立と社会参加を目指し、「丈夫な体をつくる」「いろいろな人と関わりあえる」「働く喜びを感じられる」力を養うための教育を行っています。寄宿舎では、家庭、学校、関係機関と連携し、舎生一人一人の障がい等の実態を把握し、職員間で共通理解するとともに、基本的生活習慣の確立や社会性の向上を図る指導を行っています。

■特色ある教育活動

＜学校教育目標（具体像）＞
自ら考えて 生活する力

ゆたかな心で 協働する力

たくましい体で 活動する力

＜高等部教育目標＞

・自己実現に向けて 主体的に取り組む生徒

・互いの良さを認め 助け合う生徒

・たくましい体と健やかな心で やりぬく生徒

【 体力づくり（保健体育） 】

夏季にランニングやウォーキング、冬季にサーキット運動やエアロビクスダンス、屋外での歩くスキーなどに取り組みます。

【 作業学習 】

窯業班、紙工班、農耕園芸班、縫工班に分かれて活動を行います。卒業後の生活に向けた力や態度を培うため、地域の公共施設などでの清掃活動にも取り組みます。

【 選択授業 】

卒業後の地域生活を豊かにする力を育てることをねらいに、音楽、美術、保健体育の選択教科を設定しています。また、一人一人の障がいやニーズに応じた課題学習では、国語・数学や自立活動から必要な内容を選択して学習を行っています。



歩くスキー大会



作業学習



自立活動



見学旅行



強歩マラソン大会



ALTとの交流学习

■第1学年生徒の週時程表

【普通科】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導・自立活動				
2	体力づくり				
3	作業 学習	作業 学習	国語・数学 ／ 自立活動	作業 学習	作業 学習
4			特別 活動		
	日常生活の指導・給食				
5	国語・数学 ／ 自立活動	作業 学習	日生	音楽 美術 体育	国語・数学 ／ 自立活動
6	日常生活 の指導		日常生活 の指導	日常生活 の指導	日常生活 の指導

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

* 登校時間 8:45～8:55 (月～金)

* 下校時間 15:00 (月・火・木・金) / 13:30 (水)

■教育課程の特徴

日常生活の指導や作業学習を中心として教育課程を編成しています。

また、豊かな社会生活を送る力を身に付けるため、興味・関心等に基づいて、生徒が音楽、美術、保健体育を選択して学ぶことができるようにするなど、生徒一人一人の実態や特性に応じた学習活動に取り組んでいます。

□ 現場実習

働くことを知り、働くことを通して喜びや達成感を味わうことができるよう、各学年で現場実習を実施しています。第1学年は町内にある森林公園や役場周辺の環境整備を行い、第2、3学年は一般企業や福祉事業所で実際に働く体験をしています。特に第3学年では、卒業後の進路を見据えて実習先を選び、進路決定に向けて現場実習に取り組んでいます。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

□ 福祉的就労～7名【就労移行支援、就労継続支援B型、生活介護】

学校Webページ



上川管内

北海道旭川高等支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒070-0055 旭川市5条西5丁目
- 問 合 せ 先 TEL 0166-29-5575
FAX 0166-29-5576
E-mail asahi-koushi-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.asahi-koushi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「たくましく社会を生き抜く生徒を育てる」
- 校 訓
「しなやかな心」「やりぬく力」

- 概 要
本校は平成28年に開校した、知的障がいのある生徒が在籍する高等支援学校です。変化が激しく厳しい社会においても、自立した生活ができる生徒を育てることを目標としています。将来社会に貢献する人材の育成を目指した環境・流通サポート科、福祉サービス科、生産技術科と、専門学校等への進学も視野に入れて各教科の学習を中心に取り組む普通科を設置しています。生徒は公共交通機関等を利用して通学しています。



■特色ある教育活動

- 1 社会的・職業的自立に向けたキャリア発達を支援する。【学びに向かう力・人間性等】
- 2 社会や生活で生きて働く知識及び技能を育てる。【知識・技能】
- 3 柔軟な思考力・善悪を誤らない判断力・豊かな表現力を育てる。【思考力・判断力・表現力】
- 4 家庭、医療、福祉等と連携し、望ましい生活習慣及び社会性を養う。

【 環境・流通サポート科 】

清掃分野では、テーブルや窓などの拭き清掃、床の除塵、水拭き清掃、ポリッシャーを使用した床磨き洗浄などの専門的な知識や技術を学び、校内清掃の学習を行います。
流通分野では、流通業やサービス業の役割、ビジネスマナーなどについて学びます。

【 福祉サービス科 】

介護・生活援助分野では、移動介助、手浴・ハンドトリートメント、居宅清掃、被服の補修、調理など、介護や生活支援の基礎的な知識、技術をとおして職業自立、社会自立に向けた学習をします。
接客分野では、喫茶サービスに取り組み、基本的な礼節やコミュニケーションについて学習します。

【 生産技術科 】

木工製品の製作ではコースターやメジャースプーンなどコーヒーに関わる製品の製作、コーヒーを教材とした授業では外部講師を招きオリジナルブレンドの焙煎やおいしい淹れ方の学習をしています。園芸では野菜の栽培やコーヒー廃材を利用したたい肥作りなどの学習に取り組んでいます。

【 普通科 】

進学を含めた幅広い進路選択を想定し、国語や数学などの各教科の内容を中心に学習しています。職業の授業では、インターンシップを計画的に行い、将来の職業自立のための実践的な力を身に付ける学習をします。

※3年次には、希望する進路先に応じたコース選択で学習をします。



環境・流通サポート科：高窓清掃



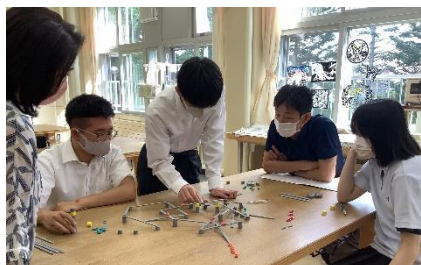
福祉サービス科：車いす介助



生産技術科：コーヒー焙煎



各教科の学習



セルフプロデュース（課題別）



現場実習・インターンシップ

■第1学年生徒の週時程表

【 職業学科 】

	月	火	水	木	金
1	セルフプロデュース		国語	セルフプロデュース	
2	作業 学習	作業 学習	情報	理科	音楽
3			数学/保 健体育	作業 学習	外国語
4			保健体育		LHR
5	家庭科 /美術	家庭科 /美術	作業 学習	国語	
6	社会	職業		数学	

【 普通科 】

	月	火	水	木	金
1	セルフプロデュース		情報	セルフプロデュース	
2	社会	数学	国語	国語	音楽
3	家庭	職業	美術/保 健体育	外国語	美術
4	数学	外国語	保体	美術	LHR
5	音楽	理科	家庭	社会	
6	職業	家庭		理科	

*「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

* 登校時間 8:25（月～金）

* 下校時間 15:30（月～木）／13:35（金、水《隔週》）

■教育課程の特徴

□ 自立活動（セルフプロデュース）【共通】

～個別学習～

担当教諭と2週間に1回実施する個別面談では、生徒自身が描いた将来像の実現に必要な力を考え、目標を設定しています。

～課題別学習～

障がいによる学習上又は生活上の困難さをweak point、strong pointの双方の視点から捉え、改善・克服するために必要な知識や技能、態度及び習慣を養う学習を行います。

□ 他学科作業【職業学科】

所属する学科以外の作業学習を週2時間行います。様々な作業種を体験することで、作業経験の拡大を図り、職種への適性を知るきっかけとします。

□ 基礎的・基本的な学力の定着【共通】

入学当初に基礎学力を把握するテストを行い、習熟度に応じて学習集団を編制します。定期考査を実施し、生徒が学びの成果を確認できるようにしています。

□ 部活動

バスケットボール、陸上、卓球、総合運動、パソコン、文化など、放課後に部活動を行っています。種目によっては、障がい者スポーツ大会や高文連、高体連の大会に参加しています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

□ 一般就労 16名	就労継続支援(A型) 0名 就労移行支援 4名	就労継続支援(B型) 2名
□ 福祉的就労 6名		
□ 生活介護 0名		
□ 進学 6名		
□ その他 3名		

学校Webページ



上川管内

北海道美深高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒098-2252 中川郡美深町字西町25番地
☐ 問合せ先 TEL 01656-2-2155
 FAX 01656-2-2156
 E-mail bifukakoutouyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.bifukakoutouyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- ☐ 学校教育目標
 「社会的に自立できる、心身ともに健全な生徒を育成する。」
☐ 校訓
 「強く 正しく 和やかに」


☐ 概要

本校は昭和59年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。知的障がいのある生徒の学習上の特性を踏まえ、各教科等の学習や作業学習等をとおして、卒業後に自立し社会参加する力や、自分らしくより良く生きる力を養うことを目指した教育を行っています。寄宿舎では、集団生活をとおして、社会生活に必要な力の定着を図っています。

■特色ある教育活動（設置学科：木工科、工業科、被服デザイン科、農業科、窯業科、食品デザイン科）

自分らしくより良く生きる力の育成
 美高養版：自立につながる三技能 ～働く力 生活する力 心を豊かにする力～

【 特設実習 】

所属する学科の実習だけでは得られない体験をしたり、同じ課題や目標をもった生徒が、互いに切磋琢磨したりすることで、「働く力」を効果的に身に付けられるよう、学年や発達段階に応じた学習集団を編制した実習に取り組んでいます。

○ 他学科実習（第1学年）

所属する学科以外の実習に取り組むことで、様々な作業種を経験し、関心を高めます。また、自分の能力を知り、仕事の適性を探るきっかけとすることを目的としています。

○ 課題別実習（第2学年）

同じ課題や目標をもった集団の中で実習に取り組むことで、新たな自己の課題を認識し、改善を図り、目標の達成に向けて主体的に取り組むことを目的としています。

○ 進路先別実習（第3学年）

進路先及び職種に応じた実習に取り組むことで、卒業後の生活のイメージをもつことや、現場実習及び社会自立に向けた意欲の向上を図ることを目的としています。

【 体力づくり 】

自分自身の身体を理解することや、社会自立に必要な体力（身体的・精神的）を身に付けることを目標とし、グループ別に持久走やリズム運動、筋力トレーニングなどを行っています。

【 集中作業（除雪作業） 】

1学年及び2学年の生徒が、1月と2月に3日間ずつ美深町内の高齢者住宅の除雪作業を行います。奉仕活動をとおして、勤労観や職業観を身に付けることを目的としています。

【 集中作業（名寄販売会） 】

3学年の生徒が、2月に名寄市の量販店で各学科の製品販売を行います。販売活動をとおして、働くことに必要な勤労観や職業観を身に付けたり、働くことに喜びを感じたりすることで、適切な社会自立への移行を図ります。



木工科



工業科



被服デザイン科



農業科



窯業科



食品デザイン科

■第1学年生徒の週時程表

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
学 科	木工	被服	木工	被服	木工	被服	木工	被服	木工	被服
	工業	窯業	工業	窯業	工業	窯業	工業	窯業	工業	窯業
	農業	食品	農業	食品	農業	食品	農業	食品	農業	食品
1	社 会		体力 づくり	体力 づくり	数 学		体力 づくり	体力 づくり	他学科 実習	他学科 実習
2			家庭	音楽						
3	自学科 実習	自学科 実習	美術	体育	自学科 実習	自学科 実習	自学科 実習	自学科 実習	LHR	LHR
4			保健 ／ 職業							
5	理 科		情 報		体育	美術	国 語			
6	道 徳		音楽	家庭		保健 ／ 職業	英 語			

■教育課程の特徴

各教科の学習や実習、体力づくりを効果的に配置した教育課程を編成しています。各教科の学習では、習熟度別のグループを編制し、生徒個々の実態や特性に応じた指導を行います。働くために必要な知識や技術の習得とともに、体力の向上にも力を入れています。

□ 自立活動の指導

全ての教育活動を通じて指導しています。学校生活をととして、コミュニケーション力や人間関係を形成する力などを育みます。

□ 働く力の育成

実習（所属する学科の実習や特設実習、現場実習など）を中心に、判断力や責任感、自己有用感など、働くために必要な力を高める学習を行います。

□ 生活する力の育成

各教科の学習を中心に、読み書きや計算、公共施設の利用など、生活するために必要な力を高める学習を行います。「情報科」の学習では、I C T機器の操作や情報モラルの学習も行います。

□ 心を豊かにする力の育成

道徳の授業を中心に、各教科等（音楽、美術、体育など）や体力づくりなど、生活を豊かにする学習を行います。

※総合的な探究の時間は、特定の時期に実施。

※部活動は、月曜日と木曜日の放課後に実施。

◆登校時間

- ・ 8時15分（月曜日～金曜日）

◆下校時間

- ・ 15時20分（月曜日～木曜日）
- ・ 12時45分（金曜日）

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 一 般 就 労 ～4名【小売業、物流業、漁業など】
- 福祉的就労（就労移行支援／就労継続B型／生活介護）～19名
- そ の 他～ 3名

学校Webページ



上川管内

北海道美深高等養護学校あいべつ校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■ 学校の基本情報

- 住 所 〒078-1403 上川郡愛別町字南町27番地
- 問 合 せ 先 TEL 01658-6-5811
FAX 01658-6-5812
E-mail aibetsukou-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.aibetsukou.hokkaido-c.ed.jp>



■ 本校の概要

- 学校教育目標
「自分らしく、よりよく生きる人を育てる」
- 校 訓
「思考・実践」
- 概 要



本校は平成26年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした高等支援学校です。

各種製品の製造、清掃等の環境づくり、食堂サービスでの調理や接客などを組み合わせた学習をとおして、勤労体験を豊かにし、その意義について理解を深めるとともに、職業自立など社会自立に必要な基礎的・基本的な能力を高め、実践的な態度を育てます。

■ 特色ある教育活動

自分らしく、よりよく生きる人を育てる

【 産業総合科 】

キャリア発達の視点に立ち、生徒一人一人の職業的自立に向け、課題を明らかにしながらその解決を図ることができる指導に努めています。

作物の栽培や加工（食品乾燥）、食堂サービス（調理・接客・経営）、木工製品の製造、清掃、印刷等の学習を行っています。系統的・継続的な学習や、体験を重視した学習を展開することで、生徒の自立と社会参加を促します。

【 作業学習 】

食品、流通・サービス分野と栽培、加工、製作分野の2つに分け、第2学年までに両方の分野を学習します。第3学年では、卒業後の進路等を見据え、どちらかの分野を選択し、学習します。選択に際しては、生徒との面談をとおして決定します。

【 あいべつ校デュアルシステム 】

愛別町をはじめ、近郊市町の企業等と連携し、校内での作業学習と並行して、企業での作業学習を行います。第1学年は10月から2月までの5か月間、第2学年は6月から7月までの2か月間の毎週火曜日に実施しています。取組の評価や課題等については、翌日に振り返る時間を設定するなど、次週の企業での作業学習や校内での作業学習に生かします。

【 地域と連携した学習 】

町内のイベントに協力員として参加したり、町内施設の清掃や町営団地の除雪を行ったりするなど、地域に根ざした教育活動に取り組んでいます。



作業学習：清掃作業



作業学習：食堂サービスでの接客



作業学習：木工作業



作業学習：食品乾燥作業



企業での作業学習



作業学習：除雪作業

■第1学年生徒の週時程表

【 産業総合科 】

	月	火	水	木	金
	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR
1	音楽	体力 づくり	LHR	体力 づくり	体力 づくり
2	情報	作業 学習	職業/ 家庭	社会	外国語
3	保健 体育		理科	作業 学習	作業 学習
4			数学		
5	作業 学習	作業 学習	国語 特別活動	書写	道徳 (国語)
6			SHR		SHR
	SHR	SHR	部活動	SHR	部活動

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施
○ 水曜日の5校時は、月に1回、生徒会活動や
全校集会などの特別活動を行います。

○ 木曜日の午後は、第1学年が書写、第2学
年が美術を行います。

○ 第1学年は、10月から1月の4か月間、毎
週火曜日に、作業学習：企業内作業学習として、
町内の各企業等で作業学習を行います。

※ 登校時間 8：25（月～金）

※ 下校時間 15：20

■教育課程の特徴

□ あいべつ校デュアルシステム

「あいべつ校協力会」を設立し、愛別町の関
係機関と連携して、キャリア教育の推進に向け
て、学校と企業が両輪となって学習活動に取り
組めます。

□ 各教科の学習

新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ、キャリ
ア発達の視点から、育成を目指す資質・能力を
明確にし、卒業後の生活に必要な力を身に付け
ることができるよう、「主体的・対話的で深い
学び」となる授業を行います。

□ 総合的な探究の時間

北海道鷹栖養護学校や北海道旭川農業高等学
校との交流及び共同学習をとおして、自己や他
者への理解を促し、相手を思いやる気持ちや豊
かな人間性を育みます。

また、あいべつ「きのこの里」フェスティバ
ルでは、協力員として参加し、業務を担当したり、
地域住民や来場者と交流を図ったりして、
共生社会の実現に向けた取組を推進します。

□ 自立活動の指導

作業学習や体力づくりのほか、生徒それぞれの
生活環境や障がいの程度、特性等を見極め、
給食を含めた全教育活動において自立や社会参
加に向けた指導を行います。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 一般就労～ 7名【小売り業、製造業、建設業、飲食サービス業】
- 福祉就労～ 6名【B型事業所】

学校Webページ



留萌管内

北海道小平高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒078-3442 留萌郡小平町字鬼鹿田代577番地2
 □ 問 合 せ 先 TEL 0164-57-1203
 FAX 0164-57-1204
 E-mail onne@hokkaido-c.ed.jp
 □ 学校Webページ <http://www.obirakoutouyougo.hokkaido-c.ed.jp/>



■本校の概要

- 校 訓
『笑顔・助け合い・学び合い』
- 学校教育目標
～夢に向かって挑戦し未来を切り拓く人を育てる～



夢の実現に向けて目標をもち、何事にも挑戦し、一人一人の違いを理解し自分の考えを伝え、意見や理解の相違を解決し、他者と協働し社会に参加し、貢献する生徒の育成。

□ 概 要

小平町鬼鹿地区に所在する本校は、自立と社会参加を目指し、地域に貢献する人材の育成を目指し、特色ある教育活動を推進しています。主体的に考え挑戦する生徒、他者を尊重する生徒、他者と協働し社会に参加する生徒を育成するため、3年間で育成する資質・能力を次のように定めて教育活動に取り組んでいます。

情報を収集する力・コミュニケーション力・協働する力
 他の人を理解する力・自己を理解する力・地域で生活する力

- アドミッション・ポリシー（入学する生徒像に関する方針）
 特別支援学校高等部における学習内容を理解し、学ぶ意欲がある生徒

■特色ある教育活動

- 1 自立と社会参加を目指し地域に貢献するために必要な力を育成することを目指し、生徒の実態に応じた指導を徹底します。
- 2 ICTを活用した多様な学び（授業・寄宿舎・居住地）の実現を推進します。
- 3 寄宿舎の教育活動が未来の生活につながるよう、地域を活用した「魅力ある寄宿舎」を構築します。

【 現場実習 】

卒業後の自立と社会参加に必要な力を育成するため、生徒の適性を探り、将来生き生きと働く生活を送ることができるよう、指導を行っています。第1学年は、9月末に4日間（鬼鹿地区中心）第2学年第Ⅰ期は、5月末に4日間（留萌市中心）、第2学年第Ⅱ期は、9月中旬に2週間（居住地や進路希望地）、第3学年（前提実習）は、9月に約1か月間の現場実習を行っています。実習前には、実習に臨む意識を高めるため、決意発表会を行ったり、実習後には、自己の成長への気付きを促し今後の課題を明らかにするため、報告会を行ったりしています。

【 作業学習 】

卒業後の社会生活を見据え、仕事に対する意欲や態度、コミュニケーション力など、働く上で必要な力の育成をねらい、総合的な探究の時間と同様に教育課程の中心に位置付けています。

第1学年は週9時間、第2、3学年は週10時間、在籍する学科での作業を行い、異学年との合同作業をとおして「コミュニケーション力」や、「協働する力」を育成しています。

他学科での作業1・2学年）では、普段の学習で培った働く力を「試す場・力を評価する場」であることを意識し、終日作業では、一日をとおして働く経験を積み、より実社会での労働に近づけた形態で取り組んでいます。



木工科:木工製品の製作



窯業科:陶芸製品の製作



総合学習:鬼鹿厳島神社祭への参加



保健体育:
地域講師によるキンボール指導



体力づくり:2.5km 校外ランニング



現場実習

■第1学年生徒の週時程表

第1学年

	月	火	水	木	金
1	ライフスキル（自立活動）				
2	LHR	保健体育（体力づくり）			
3	美術	作業	作業	理科	作業
4	ライフ キャリア ／ 家庭			総合 ／ 情報	
5					
6	音楽	数学	国語 ／ 数学	保健 体育	
7	社会	国語	委員会		

*登校時間 8：35（月～金）
 *下校時間 14：30（第2・4・5水）
 15：35（月・火・木）
 （第1・3水）
 13：40（金）*毎週帰省

木工科

木べら、バターナイフ、スツールなどの多種多様の木工製品の製作を行い、販売会での販売活動を行っています。

■教育課程の特徴

自立と社会参加を目指し作業学習や総合的な探究の時間を充実させ、教育課程の中心に位置付けています。また、本校教育の基盤として保健体育（体力づくりも含む）の充実、ライフスキル（自立活動）の時間における指導を新設して、障がいによる学習生活上の困難を主体的に改善克服することを目指しています。

今年度より、各教科等を合わせた指導の一部を教科別の学習へと教育課程を再編し、より具体的な指導内容を設定・展開することによって、主体的・協働的に取り組むことができるよう指導しています。

また、生徒間の対話を通して考えること、生徒が自分の思いを表現することや新たな気づきや発見のある授業をとおして、多様な場面に対応できる知識・技能を身に付けるよう指導しています。

すべての教育活動をとおして、生徒が学ぶことと自己の未来のつながりを意識し、一人一人の自立・社会参加につながるよう教育活動を展開しています。

□ 総合的な探究の学習

『小平町との関わり』を柱に、「地域を知ろう」「地域を発信しよう」「地域に貢献しよう」のテーマを学年ごとに設定し、地域資源を活用した体験活動、情報発信、交流活動や地域貢献活動を行っています。また、鬼鹿厳島神社例大祭準備や鯉番屋見学などの活動をとおして、地域の歴史や文化に触れ、関心を高め、「地域で生活する力」を育成しています。

窯業科

カップや小鉢、丸皿など多種多様の陶芸製品の製作を行い、販売会での販売活動を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 一般就労 ～ 5名
- 福祉的就労 ～ 1名（就労継続支援B型）
- その他 ～ 1名（就労移行支援）

学校Webページ



宗谷管内

北海道稚内養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒098-6642 稚内市声間5丁目23番7号
- ☐ 問合せ先 TEL 0162-26-2292
- FAX 0162-26-2293
- E-mail wakkanaiyogo-z1@hokkaido-c.ed.jp
- ☐ 学校Webページ <http://www.wakkanaiyogo.hokkaido-c.ed.jp/>



■本校の概要

- ☐ 学校教育目標
「人々とかわりながら、社会で役割を担う元気な人を育てる」
- ☐ 重点目標
児童生徒の笑顔が増える「学び」と「地域」と「対話」
～社会で生きる力を身に付けるために～



- ☐ 概要
本校は昭和52年に小学部、中学部を設置した特別支援学校として開校し、平成10年に高等部が設置されました。知的障がいや有する生徒のほか、他の障がいを併せ有する生徒も在籍しています。障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、地域の教育資源を活用した学習を行うなど、卒業後の自立と社会参加を目指した教育を行っています。寄宿舎では将来の生活を見据え、生活年齢や障がいの状況を考慮した指導を行い、基本的生活習慣や社会性の定着を図っています。

■特色ある教育活動

高等部の教育目標

- (1) 社会生活に必要な知識、技能、態度を身に付け、自分の可能性を伸ばせる生徒
- (2) 地域の中で自分の力を発揮し、主体的に判断し行動できる生徒
- (3) 自分らしさを発揮しながら仕事や余暇活動に、積極的に取り組める生徒

【 作業学習 】

縦割りのグループを編制して、上級生が下級生に取り組み方を教えるなど、生徒同士が互いに協力し、学び合う場面を大切にしています。特設作業として、地元企業からの委託作業（ペットボトル砂詰め）や、地域の方々や地元の特産である勇知いも栽培などに取り組んでいます。

【 稚内養護学校☆高等部フェスタ 】

保護者や地域の方に日常の学習の成果を発表する場として、「稚内養護学校☆高等部フェスタ」を行っています。作業学習で取り組んだ木工製品や巾着袋などの縫工製品の販売を行います。

【 総合的な探究の時間 】

進路や交流及び共同学習に関わる体験的な活動の機会を設けています。進路に関わる学習では、年2回職場実習を実施しています。実際の職場で、働くことへの意識を高め、必要な作業能力やコミュニケーション能力を身に付けます。

交流及び共同学習に関わる学習では、外国語指導助手との交流をはじめ、高齢者施設や管内にある高等学校との交流を行います。また、日本最南端にある特別支援学校（沖縄県立八重山特別支援学校）とICT機器を活用した交流などに取り組んでいます。



作業学習（木工）



作業学習（縫工）



高等部フェスタ（製品販売）



委託作業（ペットボトル砂詰め）



勇知いも栽培



生徒会選挙

■第1学年生徒の週時程表

【 普通学級 】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導・SHR・自立活動				
2	数学	国語	数学	国語	数学
3	作業	作業	作業	美術	作業
4	作業	作業	HR	美術	作業
5	日常生活の指導（給食）				
6	保健 体育	音楽	日常 生活	保健 体育	音楽
7	日常生活の指導・SHR			日常生活の指導・SHR	

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

- ・作業学習では、木工と縫工の縦割りによる2グループ編制で学習しています。
- ・国語、数学、美術は学年を基本とした小グループ編制で学習しています。
- ・音楽、保健体育は基本的に学部全員で学習しています。

* 登校時間 8:35～ 8:45（月～金）
 * 下校時間 14:50～15:00（月・火・木・金）
 14:00～14:10（水）

■教育課程の特徴

国語、数学などの各教科の学習や自立活動を中心に教育課程を編成し、知識や技能の習得、余暇の拡大を図る指導を行っています。また、作業学習や生活単元学習、総合的な探究の時間などで、これまで身に付けた知識や態度を実践する機会を設け、働く意味や喜びを知り、卒業後の社会生活をより充実したものにすることを目指しています。

□ 教科の学習（国語、数学）

教科の学習を通して、社会生活に必要な「聞く・話す」「読む」「書く」力を身に付けたり、数量や単位の理解、金銭の扱いや時間の理解を深めたりします。指導に当たっては、少人数のグループを編制しています。

□ 日常生活の指導

卒業後に自分の力を発揮し、自立した生活を送ることができるよう、日常生活に必要な動作や習慣を身に付け、高めることをねらいとしています。

□ 自立活動の指導

教育課程全体を通じた指導の他、毎日1校時は、自分の苦手なことや困難を解決して、自分のできることを増やすために、一人一人の課題に応じた学習を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

□ 福祉的就労～6名【就労継続B型3名、生活介護3名】

学校Webページ



【知的障がい】
(オホーツク圏)

オホーツク管内

北海道北見支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：有

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒090-0807 北見市川東229番1
☐ 問合せ先 TEL 0157-61-0047・61-0071
 FAX 0157-61-0047
 E-mail kitamishien-zO@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.kitamishien.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「一人一人の児童生徒が自立し、社会参加するための教育を目指す」
 ☆生活する力 ☆協力する力 ☆はたらく力 ☆とりくむ力

□ 概要

本校は平成21年に前身の「北海道紋別養護学校きたみ学園分校」から、北海道北見支援学校となりました。知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校で、小学部から高等部まで110名の児童生徒が在籍し、そのうち高等部には現在37名の生徒が在籍しています。知的障がいのある児童生徒の学習上の特性等を踏まえ、日常生活の指導や生活単元学習、作業学習を中心に、体力づくりや進路について、地域学習などに取り組み、卒業後の自立と社会参加を目指し、「生活する力、協力する力、はたらく力、とりくむ力」を養う教育を行っています。



■特色ある教育活動

高等部の重点教育目標

- 「青年期における心と身体の調和を保つ生徒を育てる。」
 「地域の中で共に生きていける生徒を育てる。」
 「自ら学び、働く意欲のある生徒を育てる。」
 「生活を通して生きがいや楽しみを感じる生徒を育てる。」

【総合的な探究の時間】

自己理解や他者理解、卒業後の生活や職業について学ぶ進路学習、地域や学校の特色について学ぶ地域学習を中心に取り組んでいます。

進路学習の主な学習内容は、自分について、進路先について、ようこそ先輩、現場実習、現場実習報告会等です。3年間、段階的に取り組むことで、生徒が自分の卒業後のライフプランをイメージできるように取り組んでいます。

地域学習では、1年生では地域の基幹産業について、2年生では食文化、3年生では町作りについて探究し、自分の暮らす地域とつながる機会となるように工夫しています。

【生活単元学習】

学級菜園で育てた野菜を使って調理実習をしたり、冬に雪像を制作したりするなど季節に応じた取り組みをとおして、コミュニケーション力の向上や興味関心が広がるように工夫をしています。また、行事への準備や段ボールベットの組み立てを経験する防災教育、学校に設置した模擬投票所で投票する主権者教育等、様々な体験活動をとおして卒業後の実生活につながるような学習に取り組んでいます。

【美術・音楽】

豊かな感受性や情操を養い、社会自立へ向けて音楽や美術活動を余暇に生かし、生活をより明るく楽しいものにする態度や習慣を養います。近隣の高等学校の協力により、器楽合奏で交流する器楽交流、美術作品を一緒に制作しながら交流する美術交流を実施しています。

【道徳】

「高等部集会」で道徳目標を確認した後、グループに分かれより具体的に場面や状況に合った行動などを学んでいます。生徒が自分自身の意見を伝えたり、友達の意見を聞いたりして、お互いを尊重してより良い人間関係を構築する力の育成を図っています。



作業：木工班



LHR：ボランティア活動



高等部集会：道徳表彰



生活単元学習：調理実習



美術：絵画（果物を描こう）



作業学習：縫工班

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級・重複学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	体育		道徳・ 高等部 集会	体育	生活単元 学習 / 総合的な 探究の時 間
	国語/数学 / 自立活動			国語 数学 自立活動	
3	体育 / 総合的 な探究 の時間	生活単 元学習	作業学習 / 総合的な 探究の時 間	作業学習	
4					
5	LHR	作業学習	美術	自立活動	日常生活 の指導
6	日常生 活の指 導			日常生 活の指 導	
7		日常生活の指導			

- * 登校時間 8：45（月～金）
 * 下校時間 14：20（月・木）／
 15：10（火・水）／13：30（金）

■教育課程の特徴

生徒の実態に合わせ、日常生活の指導、生活単元学習、作業学習を中心に、体育、音楽、美術などの教科の学習や道徳、特別活動、自立活動、総合的な探究の時間を適切に配置し、関連付けながら、教育課程を編成しています。卒業後、自分らしく社会とつながりながら生活するために必要とされる力が育まれるよう教育活動を展開しています。

□作業学習

働くこと・作ること・育てることを喜び、主体的に取り組む態度を育てることを目標とし、「木工」「縫工」「グローバルワーク」「クラフト」「手工芸」の作業に取り組みます。

□国語、数学、自立活動

国語と数学では、生徒それぞれの実態に応じた個別又は少人数グループでの学習を行っています。

自立活動では、自立と社会参加を目指し、生徒一人一人の障がいの状態や発達の段階、特性等を踏まえた学習課題を設定しています。

□ LHR（特別活動）

学級レクなどの学級単位で行われる学習活動をとおり、協力したり、友情を深めたりしながら過ごしやすい居場所づくりにつながる取り組みを行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 一般就労～1名
- 福祉的就労～5名（就労継続支援B型5名）
- 生活介護 ～2名
- 施設入所 ～1名
- 未定 ～1名

学校Webページ



オホーツク管内

北海道紋別養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒094-0021 紋別市大山町3丁目14番地
- 問 合 せ 先 TEL 0158-23-9275
FAX 0158-23-9275
E-mail monyo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.monyo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

社会参加に向け、一人一人の児童生徒が豊かに生活する力を育てる

【 育成を目指す資質・能力 】

- ・生活の質を高め、健康な体をつくる上で必要な基礎的な知識を身に付ける
(知識及び技能)
- ・人との関わりを通して、興味・関心の幅を広げ、自分の思いや気持ちを伝える
(思考力・判断力・表現力)
- ・自分や相手の良さに気づき、仲間とともに自ら進んで活動に取り組む
(学びに向かう力、人間性)



□ 校 訓

「明朗」「協調」「強健」「勤労」

□ 概 要

本校は昭和60年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、地域の教育資源を積極的に活用した体験活動を通して、卒業後の自立と社会参加を目指し、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性」に関わる資質・能力を養うための教育を行っています。寄宿舎では、「身辺処理」「人とのかわり」「集団生活での役割」を柱に、基本的生活習慣の定着や社会性の育成を図っています。

■特色ある教育活動

＜高等部の学部目標＞

『地域社会の中で他者と協働し、自ら考え、充実した生活を送ることができる力を養う』

【 少人数のよさを生かしたきめ細やかな教育 】

個別の指導計画に基づき、生徒の実態や学習内容を踏まえ、目標達成に向けて適切な学習集団を編制し、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導を行います。

【 地域の教育資源を活用した学習 】

地域や地元企業と連携し、委託された製品を作成する作業活動等を通して、将来の社会参加につながる基礎的・基本的な知識や技能、態度を身に付けます。

【 文化芸術活動の充実 】

音楽や演劇等の鑑賞活動、美術作品や陶芸作品の制作・体験活動などを通して、生徒の興味・関心や経験の幅を広げ、将来の有意義な余暇活動の充実につなげます。

【 寄宿舎と連携した学習 】

学校生活と寄宿舎生活を通して、基本的生活習慣や社会性、健康で安全に生活する力の育成を目指しています。生徒の実態に応じて、学校と寄宿舎が課題を共有した日常生活の指導や自立活動に取り組んでいます。



生活単元学習：地域の企業見学



作業学習：収穫作業



外国語指導助手との交流



保健体育：水泳



美術：鑑賞「アート美術館」



現場実習：企業からの受託作業

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導 保健体育（体力づくり）				
2	国語・数学				
3	作業 学習	生活単元 学習	作業 学習	生活単元 学習 ／美術	作業 学習
4					
5	日常生活の指導				
6	作業 学習	音楽	作業 学習	保健 体育	LHR
7	SHR				

- ※ 登校時間 8：40（月～金）
 ※ 下校時間 14：10（月～金）
 ※ 「総合的な探究の時間」は特定の期間に行う。
 「道徳」は教育活動全体を通じて行う。

■教育課程の特徴

日常生活の指導や生活単元学習、作業学習を中心的な学習に位置付け、生活に結び付く内容を学ぶ国語、数学などの教科の学習、総合的な探究の時間、特別活動によって教育課程を編成しています。また、生徒のよさや課題を踏まえた自立活動の指導を行います。道徳教育では、自立心や自律性、思いやりの心が育まれるよう、教育活動全体を通して指導します。

- 生活単元学習
生活年齢にふさわしい家庭生活や社会生活、人間関係の形成、集団参加に必要な知識や技能、社会性が身に付くよう指導しています。
- 作業学習
紙工や染物、環境整備などの作業活動を通して、社会参加につながる基礎的・基本的な知識や技能、態度が身に付くよう指導しています。
- 自立活動の指導
気持ちの安定を図るため、生活や活動の見通しを視覚的に確認したり、自分で落ち着ける方法を活用したりする力を身に付けるとともに、それらを生かし、教科の学習の目標に向かって自ら取り組むことができるよう指導しています。
- 現場実習
生徒の実態に応じて、卒業後の生活や就労につながる体験的な学習を行い、自己決定に基づく進路の選択肢を広げています。
 - ・第1学年：校内実習・紋別市内の事業所
 - ・第2学年：紋別市内の事業所
 - ・第3学年：卒業後利用予定の事業所や福祉サービス等

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 福祉的就労～2名【地域活動支援センター】

学校Webページ



オホーツク管内

北海道紋別養護学校ひまわり学園分校

寄宿舎：無

スクールバス：無

※ 原則として中学部から在籍している方を対象とした特別支援学校です。

■学校の基本情報

- 住 所 〒099-0622 紋別郡遠軽町生田原安国302番地2
- 問 合 せ 先 TEL 0158-46-2171
FAX 0158-46-2171
E-mail monbetsuyougohimawari-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.monbetsuyougohimawari.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「社会参加に向け、一人一人の児童生徒が豊かに生活する力を育てる」
- 校 訓
「明朗 協調 強健 勤労」



- 概 要
本校は障がい児入所施設「ひまわり学園」に入所している学齢児の就学を保障する目的で昭和54年に開校した、知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。
高等部は平成12年に設置されました。生徒の様々な障がいの特性に応じて教育課程を編成し、高等部における学習の充実（現在）と卒業後の生活の充実（将来）を目指し、教育を行っています。

■特色ある教育活動

高等部の教育目標

- 生活の質を高め、健康な体をつくる上で必要な基礎的な知識を主体的に高められる生徒
【知識及び技能】
- 人との関わりを通して、興味・関心の幅を広げ、自分の思いや気持ちを伝えられる生徒
【思考力、判断力、表現力】
- 自分や仲間の良さに気づき、仲間とともに主体的に活動に取り組む生徒
【学びに向かう力、人間性】

【 生徒一人一人の課題に応じた学習 】

国語では漢字や平仮名などの読み書きや物語の読解など、数学では数や形の学習や簡単な計算、金銭を使った学習など、生徒の課題に応じた学習を毎日行っています。また、生徒が自分の力で課題に取り組むことをねらいとした自立課題に取り組んでいます。

【 進路学習・現場実習 】

社会で働くことや卒業後の生活に見通しをもつため、また、作業学習等で身に付けた力を実際の職場や福祉事業所で発揮する機会として、現場実習を行っています。現場実習を通して、職場や施設の雰囲気に触れ、卒業後の進路選択の幅を広げたり、社会で働くために必要な知識や技能、態度を学びます。

【 交流及び共同学習等、地域資源を生かした体験的な学習の充実 】

卒業後の生活を見据え、地域社会や人との関わりを広げるために、地域の成人施設利用者との交流や町内の高校に通う同年代の学生との交流及び共同学習を行っています。また、地域の公共施設の利用や福祉事業所の体験利用、環境美化活動として、地域の施設や駅の清掃活動など地域資源を有効に活用した教育活動を行っています。さらに、被災地の福島を元気づけるため、ひまわりを栽培して種を送り届ける「ひまわりプロジェクト」の活動に参加しています。



高等部体育大会



宿泊研修（ムックリ体験）



現場実習



作業学習（農耕）



環境美化活動
（清掃活動、啓発活動）



保健体育（水泳学習）

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級（重複学級）】

	月	火	水	木	金
	日常生活の指導				
1	自立活動				
2	国語／数学（自立活動）				
3	作業学習	生活単元 学習	保健体育	作業学習	生活単元 学習
4	作業学習 （自立活動）			作業学習 （自立活動）	
	日常生活の指導				
5	音楽	作業学習		音楽	HR活動
6		作業学習 （自立活動）		自立活動	
	日常生活の指導				

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施しています。
※1ヶ月の最初の週の月曜1時間目は「全校朝会」、最後の週の月曜1時間目は「児童生徒会活動」を行います。

■教育課程の特徴

作業学習、生活単元学習、日常生活の指導を中心に学習に据え、生徒一人一人の教育的ニーズに基づいた自立活動の指導を適切に関連付け、教育課程を編成しています。また、社会生活を送る上で必要な内容を学ぶ国語や数学などの教科学習や総合的な探究の時間、特別活動の学習を行っています。道徳については、他の学習と関連付けながら教育活動全体を通して学習しています。

※ 登校時間 8：30（月～金）

※ 下校時間 14：05（月）／15：00（火・木・金）／13：15（水）

□ 作業学習

生徒一人一人の実態や進路希望等を考慮して、個々の力が発揮できる学習に取り組んでいます。
・普通学級：継続して働く力の育成を目指しています。

主な学習内容…校内の清掃、紙工、農耕など
・重複学級：道具の扱い方や手順を覚え、一人で取り組む力を培っています。
主な学習内容…校内の清掃、紙工など

□ 生活単元学習

現在の生活や将来の生活を題材に、生活に必要な知識や技能を習得することを目指しています。主に校外学習や宿泊研修、見学旅行等の事前・事後学習のほか、職業と家庭的な内容（情報、調理）や社会的な内容（選挙制度等）、理科学的な内容（各種実験等）などについて学習しています。

□ 自立活動の指導

体力の向上や社会性の育成を目指し、月曜日から金曜日の1時間目に自立活動の指導を位置付け、健康の保持をテーマにストレッチやランニング、アスレチックサーキットなどの活動に取り組んでいます。その他の時間における自立活動の授業では、個別の目標や生徒の課題に応じて、他者とのコミュニケーション能力を高める学習の一環として、ソーシャルスキルトレーニングやロールプレイングなどの活動に取り組んでいます。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

□福祉的就労～3名【就労継続支援B型2名、生活介護1名】

学校Webページ



オホーツク管内

北海道紋別高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒099-5172 紋別市渚滑町元新1丁目152番地1号
☐ 問合せ先 TEL 0158-24-1120
 FAX 0158-24-1121
 E-mail monbetsukoutouyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.monbetsukoutouyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- ☐ 学校教育目標 「明日の社会に貢献し 心豊かにたくましく
そして しなやかに生きる」
☐ 校訓 「明朗・誠実・全力」
☐ 概要



本校は平成9年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。知的障がいのある生徒が学校生活や社会生活を送る中で職業自立・社会自立を目指した教育を行っています。管内の農林水産系の企業や高齢者福祉施設等、地域資源を活用しながら、積極的に現場実習や交流学习などの学習活動を取り入れています。寄宿舎では、基本的生活習慣や集団生活におけるルールやマナーの定着を図っています。

■ 特色ある教育活動

学校教育目標

「明日の社会に貢献し 心豊かにたくましく そして しなやかに生きる」

【 職業学科と普通科について 】

職業学科では、各学科の作業学習を中心に学び、将来の職業自立に必要な基礎的・基本的な能力を高め、実践的な態度を育てます。

普通科では、知的障害特別支援学校における各教科の学習内容を発展的に学び、将来の家庭生活や社会生活、また、職業生活に必要な基礎的・基本的な能力を高めます。

【 園芸科 】

野菜及び草花の栽培などの学習を通して、勤労の体験を豊かにし、その意義を理解させるとともに、職業自立など社会自立に必要な基礎的・基本的な能力及びしなやかに生きる力を高め、実践的な態度を育てる実習をします。

【 窯業科 】※3学年のみ

セラミック製品の製造などを通して勤労の体験を豊かにし、その意義の理解を深めるとともに、職業自立に必要な基礎的・基本的な能力を高め、実践的な態度を育てる学習をします。

【 木工科 】

木材等を主原料とする製品の製造等を通して勤労の体験を豊かにし、その意義の理解を深めるとともに、職業自立や社会自立に必要な基礎的・基本的な能力を高め、実践的な態度を育てる学習をします。

【 家庭総合科 】

縫工・羊毛・喫茶サービスなどを通して、生活に関連する職業の意義と役割の理解を深めるとともに、職業に必要な能力と実践的な態度を育成する実習をします。

【 普通科 】

教科別、領域等の時間と職業の時間との横断的な学習を通して、将来の職業自立など社会自立に必要な基礎的・基本的な知識や技能を高めます。



園芸科の作業



窯業科の作業



木工科の作業



家庭総合科の作業



普通科の職業



現場実習

■第1学年生徒の週時程表

曜日	月	火	水	木	金												
時間（校時）	園	木	家	普	園	木	家	普	園	木	家	普	園	木	家	普	
8:35	生徒登校																
8:40	S H R																
8:50	1	総合的な探究の時間 ／委員会				外国語	外国語	理科	社会	保健体育		作業学習		理科	家庭	家庭	美術
9:40																	
9:50	2	国語		作業学習		職業	作業学習		国語	作業学習		職業	理科	理科	音楽	美術	
10:40																	
10:50	3	数学		作業学習		職業	作業学習		外国語	作業学習		職業	保健体育				
11:40																	
11:50	4	保健体育		作業学習		職業	作業学習		音楽	作業学習		職業	保健体育				
12:40																	
12:40	給食・休憩																
13:30	5	情報	情報	美術	社会	美術	美術	外国語	数学	数学		保健体育		L H R			
14:20																	
14:25	6	音楽	音楽	美術	家庭	美術	美術	家庭	情報	自立生活		国語		S H R			
15:15																	
15:15	掃除																
15:30	S H R																
15:35	部活動																
15:35	部活動																
16:35	部活動																

- * 登校時間 8:35 (月・火・水・木・金)
* 下校時間 15:35 (月・火・水・木)
／14:25 (金)

□ 自立活動の指導

自己の課題に気付き、その課題克服に向け、自己理解・他者理解を深め、将来にわたって生きる力を身に付けられるよう、各教科との連携を図り、全教育活動を通じて指導します。

■教育課程の特徴

【職業学科】

作業学習を教育課程の中核に据えて、より職業生活に必要な能力を高める教育課程を編成しています。作業学習を通じて、仕事をする上で必要な知識・技能・態度や習慣を培うことをねらいとし、所属する学科の実習を主に3年間履修します。教科別の指導も各学科で行っています。

【普通科】

教科別の指導を教育課程の中核に据えて、幅広く学習し、社会生活に必要な能力を高める教育課程を編成しています。また、職業を通じて、仕事をする上で求められる基礎的な知識・技能・態度を学びます。

□ 現場実習(各科共通)

全教育課程を通じて身に付けた力を確認する場として実施しています。自己の在り方や生き方を考え、主体的に進路選択や卒業後の生活に利用できる内容を指導します。

現場実習期間：1学年1週間(年2回)
2学年2週間(年2回)
3学年1週間(今年度年2回)
5週間

□ 教科別の学習

各教科の学習を通して、卒業後の生活に必要な力を習得するため、実生活に即した内容を中心に学習します。

■卒業後の主な進路先について(令和6年度実績)

- 就職(就労継続支援A型含む)17名
【○飲食業(調理補助含)5名、○製造業5名、○小売業5名、
○清掃業1名、○警備業1名】
□ 福祉的就労(就労継続支援B型)5名

合計22名

学校Webページ



【知的障がい】
（十勝圏）

十勝
管内

北海道帯広養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒080-2475 帯広市西25条南2丁目7-3
- ☐ 問合せ先 TEL 0155-37-6773
- FAX 0155-37-3649
- E-mail obihroyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- ☐ 学校Webページ <http://www.obihroyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- ☐ 学校教育目標
「明るく、豊かに、たくましく、自ら考え、社会に生きる人を育てる」
- ☐ 目指す児童生徒の姿
 - 学んだことを生活に活かせる児童生徒
 - 自分のことばで理解、表出できる児童生徒
 - 自分で考え、やりたいと思える児童生徒



概要

本校は昭和53年に小学部、中学部が開校し、平成10年には高等部が開設された知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。近年、児童生徒の増加に加え、医療的ケアが必要な児童生徒や盲・聾学校からの入学等、障がいの多様化、重度・重複化が進んでおり、児童生徒の実態は多種多様になってきています。本校高等部では卒業後の自立と社会参加を目指し、知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえた指導を行っています。

また、生徒一人一人が自分のもっている力や個性を発揮することで、日々の充実感や自分が社会にとって役立っていることを感じ取り、社会生活に積極的に関わろうとする力を養います。寄宿舎では、家庭が遠隔地の生徒と一緒に生活しており、一人一人の生活課題に応じた生活力の育成を目指して定着を図っています。

■ 特色ある教育活動

□ 高等部の教育目標

～ 地域社会の一員として充実した生活を送るために必要な力の育成を図る ～

「卒業後豊かな生活を送ることができるために、施設や地域社会で求められる力の育成」を教育方針としています。「今のこの指導は、生徒の将来にどう役立つのか」、「今のこの指導は、生徒の現在の生活をどう豊かにするのか」を考え、指導しています。

卒業後の豊かな生活は、現在の小さな「できた」の延長線上にあります。小学部(小学校)・中学部(中学校)での積み重ねをさらに深化させ、青年期における「今の充実」と「将来の充実」に努めています。

【 現場実習・前提実習 】

現場実習は、社会資源を活用した体験活動であり、社会生活につながる効果的な学習です。1・2年は、9月に8日間の実習を行います。2年生は、10月から2月にかけて1～3日程度の体験実習も計画しています。3年生は、6月から9月をめどに卒業後の生活を見据えた実習先で10日間程度実習を行います。

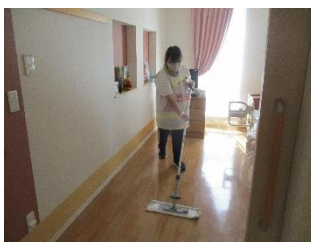
入学時から卒業後の生活・進路への具体的な見通しをもてるよう、進路学習と結び付けて段階的に現場実習を実施しています。

【 自立活動 】

自立活動では、生徒それぞれの学習上や生活上の課題について、得意なことや好きなことを活かしながら解決を図っていく学習です。本校では、生徒の実態に応じて自立活動の時間を柔軟に設定することができ、卒業後の自立した社会生活を見据えながら、生徒それぞれにとって必要な力を見定めながら、学習を進めることができます。



製品販売会の様子



現場実習の様子(校外)



ALT交流の様子



生徒会活動の様子



現場実習の様子(外注班)



作業学習の様子

■第1学年の週時程表

■教育課程の特徴

作業学習や生活単元学習、日常生活の指導を中心に据え、国語や数学などの教科の学習、総合的な探究の時間、自立活動等を適切に配置し、教育課程を編成しています。卒業後の家庭生活、社会生活、職業生活に結び付く知識・技能や自ら考え表現する力、新しいことにも意欲的に取り組む力を付けるべく教育活動を展開しています。

また、国語・数学、自立活動を選択できるようにすることにより、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた授業を行っています。

各学習の指導体制については、学年を中心に検討し、生徒の実態、単元、題材等を考慮しながら必要に応じて学年の枠を越えたグループ編制を行うなど柔軟に設定しています。

□ 作業学習

作業活動を中心に据えて、働く意欲を培い、将来の社会生活や職業生活、自立に必要な知識や技能、態度及び習慣などを身に付ける学習を行います。第2、3学年は、終日作業学習を行う曜日を設定しています。

※ 授業時数：第1学年 週4時間

第2、3学年 週4又は6時間

□ 自立活動

毎日同じ時間に設定することで、生徒が見通しをもち、主体的に活動に取り組むことができるようにしています。

※ 授業時数：第1学年 週5又は7時間

第2、3学年 週3・5・7時間

□ 生徒会活動

より良い学校生活を主体的に築こうとする自治的能力を育成し、責任感をもてるようにすることを目指しています。地域の大人や社会との関わりを深める社会貢献活動を年間で10回程度設定しています。

*登校時間 8:45 (月・火・水・木・金)

*下校時間 14:45 (月・火・木) 13:15 (水) 13:55 (金)

■卒業後の主な進路先について(令和6年度実績)

□ 福祉的就労(移行支援/就労継続B型/生活介護/自立訓練) ~14名

学校Webページ



十勝管内

北海道新得高等支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒081-0032 上川郡新得町西2条南7丁目2
☐ 問合せ先 TEL 0156-64-2020
 FAX 0156-64-2021
 E-mail shintoku2016-z0@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.shintoku2016.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- ☐ 学校教育目標
 「自ら立ち、共に認め支え合い、
 自信と勇気を持って、未来に踏み出す」
- ☐ 校訓
 「自主」「協働」「自省」
- ☐ 概要
 本校は平成28年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。木工科、家庭総合科の2学科を設置しています。生徒の学習上の特性等を踏まえ、新得町の豊かな地域資源を活用した作業学習などの学習を通して、「生徒一人一人の『生きる力』」を養う教育を行っています。



■特色ある教育活動

- 【 木工科 】**
 木工科では、スツールやベンチ、レーザー加工機によるネームプレートなど、木工製品の製作を中心とした学習活動を行っています。
- 【 家庭総合科 】**
 家庭総合科では、縫工作業、製菓、コーヒー豆の焙煎などを中心とした学習活動を行っています。
- 【 校外作業学習 】**
 第1学年は9月に1週間、第2学年は6月に1週間、新得町内の企業等にご協力いただき、地域社会の中で実際に体験しながら「働く」ことを学びます。リゾート施設や福祉施設、新得町内の企業などで学習を行います。
- 【 さくらプロジェクト 】**
 本校の生徒が、町内の新入学児童に向けて木製いすや給食セット（エプロン・三角巾）等の製品を製作し、入学記念品として贈呈します。この取組は新得町と共同で行う社会貢献事業です。働く意義を理解し地域に貢献する態度を養うとともに、自己有用感、自己肯定感を育てることを目的としています。
- 【 ICT機器の活用 】**
 パソコンやタブレット端末などのICT機器を積極的に活用した授業を実践し、効果的な学習活動を展開しています。



木工科：木材加工



家庭総合科：縫製作業



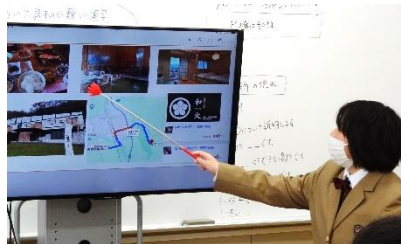
家庭総合科：製菓作業



校外作業学習



さくらプロジェクト記念品の贈呈



I C T機器を活用した学習

■第1学年生徒の週時程表

【第1学年木工科】

	月	火	水	木	金
1	保/自	保/自	保/自	作業学習	保/自
2	外国語	作業学習	作業学習		国語
3	社会				保健体育
4	情報				音楽
5	数学	作業学習	美術	職業	LHR
6	選択			理科	総合

【第1学年家庭総合科】

	月	火	水	木	金
1	保/自	保/自	保/自	作業学習	保/自
2	外国語	作業学習	作業学習		国語
3	社会				保健体育
4	情報				音楽
5	数学	作業学習	家庭	職業	LHR
6	選択			理科	総合

※保＝保健体育 自＝自立活動の指導

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

* 登校時間 8:30 (月～金)

* 下校時間 15:05 (月～金)

■教育課程の特徴

国語や数学などの各教科の学習を中心に教育課程を編成しています。また、作業学習では、働く力を身に付けることを目的に、所属する学科で行う作業学習や、校外作業学習を実施しています。

□ 自立活動の指導

教育活動全体を通して自立活動の指導を行うとともに、自立活動を時間割に位置付けて指導を行っています。

□ 選択授業

国語、数学、理科、社会、外国語、情報、家庭、保健体育、音楽、美術の教科から興味のある授業を選択し、主体的に学習に取り組む機会を設定しています。

□ 保健体育

金曜日3校時の授業の他に、1校時に体力向上を目的として、継続的に運動する時間を設定しています。

※保健体育は各学年で行う1単位の授業の他に、月～水と金に行う全学年合同の授業があります。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 一般就労（就労継続A型含む）～8名【小売、介護、清掃、農業等】
- 福祉的就労～2名【就労継続B型】
- その他～1名(アルバイト)

学校Webページ



十勝管内

北海道中札内高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒089-1345 河西郡中札内村東5条南1丁目8番地
☐ 問合せ先 TEL 0155-68-3266
 FAX 0155-67-2077
 E-mail nakakoyo@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.nakasatsunaikoutouyugo.hokkaido-c.ed.jp>
☐ 学校X(旧Twitter) https://twitter.com/nakakouyou_1



■本校の概要

- ☐ 学校教育目標
 「心豊かに生きる力を育てる」
☐ 校訓
 「 仲よく 」 「 明るく 」 「 たくましく 」

☐ 概要

本校は昭和58年に開校した、知的障がいのある生徒を対象とする高等養護学校です。職業学科5学科と普通科を設置しています。学校教育目標の達成に向けて、5つの育てたい力（心身の健康を維持・増進する力、人と関わる力、自分を整える力、主体的に生活する力、意欲的に働く力）を育成することを目指し、体験的に学ぶことや地域とのつながりを大切にした教育を行っています。寄宿舎を併設しており、集団生活のルールを学びながら規則正しい生活を送ることで、生活力の向上を目指しています。



学校ゆるキャラ
「さないくん」



■特色ある教育活動

【 農業科 】

野菜、花、きくらげの栽培や管理、校内外での販売活動に取り組みます。冬期には、乾燥野菜の製造及びドライフラワー製品の製作に取り組みます。各作業を通して体力の向上を図り、共同作業や分担作業を通して協調性などを身に付けます。

【 木工科 】

材料取りから切削（機械操作）、研磨、組立て、塗装を行い、木べら、木のおもちゃ、椅子などの製品づくりに取り組みます。また、木材の種類や特徴などについて学習します。共同作業や分担作業を通して協調性などを身に付け、機械操作を通して安全への配慮などについて学びます。

【 窯業科 】

粘土を使用し、機械ろくろやよりづくり、板づくりなど、様々な方法で、皿や茶碗、コーヒーカップなどの製品づくりに取り組みます。また、校内外での販売活動や受注製作にも積極的に取り組みます。各作業を通して集中力の向上を図り、共同作業や分担作業を通して協調性などを身に付けます。

【 工業科 】

コンクリートの打ち込み、型枠掃除、製品管理、歩道平板の敷設などを行い、歩道平板や民地仕切り石などの製造に取り組みます。また、降雪期には、真鍮や銅などを使った表札やキーホルダーなどの金属工芸に取り組みます。各作業を通して体力の向上を図り、共同作業や安全作業などを通して協調性などを身に付けます。

【 家庭総合科 】

縫製作業とビルクリーニング（住居の清掃）作業に取り組みます。縫製作業ではミシンを使用した製作を中心に、校内外の販売活動や受注製作に取り組みます。ビルクリーニング作業では、窓ガラス清掃等に取り組みます。各作業を通して集中力の向上を図り、共同作業や安全作業などを通して協調性などを身に付けます。

【 普通科 】

国語や数学などの各教科等の学習を中心に、幅広い知識や技能の習得を目指します。また、職業の授業では、自己選択をしながら幅広い職業体験等を行い、自らの進路を考え、決定する力を育てます。



農業科：野菜の収穫



木工科：機械での加工



工業科：コンクリート作業



窯業科：茶碗制作



家庭総合科：ビルクリーニング



普通科：ランドリー清掃（職業）

■第1学年生徒の週時程表

	月		火		水		木		金	
	職業 学科	普通 科	職業 学科	普通 科	職業 学科	普通 科	職業 学科	普通 科	職業 学科	普通 科
1	体力づくり				音楽/ 美術/ 保健体育		体力づくり			
2	国語/数学		作業 学習	職業			国語/数学		作業 学習	職業
3	作業 学習	職業			生活 単元 学習	社会 理科	生活 単元 学習	家庭 / 外国 語・ 情報		
4										
5	作業 学習	職業			音楽/ 美術/ 保健体育		全校集会/ 生徒会			
6										

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

■教育課程の特徴

- 作業学習（職業学科）
職業自立に必要な基礎的な知識や技能、態度及び習慣を身に付けることをねらいとし、所属する学科の作業内容を3年間学習します。
- 生活単元学習（職業学科）
暮らしに関すること、命と健康に関すること、日本と世界に関すること、学校行事に向けた取り組みなどをひとまとまりの単元として学び、社会生活に必要な知識・技能や、望ましい生活習慣・態度が身に付けられるように、生活に即した体験的な活動を通して学習します。
- 総合的な探究の時間（全学科）
現場実習に関わる進路学習や他校との交流学习、地域連携学習に取り組みます。
地域の方々との体験活動である地域連携学習を通して、生徒が自己の在り方や生き方、卒業後の生活を考え、主体的に進路選択できる力を身に付けます。
- 職業（普通科）
将来の職業自立を目指し、自ら学ぶ内容を選択しながら、校内での実習や企業等での実習などの幅広い職業体験を通して、働くことについて学習します。

□ 自立活動の指導

本校では、生徒の障がいの状態や発達の程度に応じて、個別の指導テーマを設定し、教育活動全体を通じて適切に指導しています。

* 登校時間 8:30（月～金）

* 下校時間 15:20（月・火・木）／14:00（水・金）

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 就職～14名
（一般就労11名【製造業、小売業、サービス業等】、就労継続支援A型3名）
- 福祉的就労～16名【就労移行支援、就労継続支援B型、自立訓練】
- その他～4名

学校Webページ



十勝管内

北海道中札内高等養護学校幕別分校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒089-0615 中川郡幕別町南町81番地1
- 問 合 せ 先 TEL 0155-55-2121
FAX 0155-55-2122
E-mail naka-makubun-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.naka-makubun.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「たくましく明るく生きる力を育てる」
- 校 訓
自 立 「十勝で働き、十勝で暮らす人間」
共 生 「共に生きる、共に育つ人間」
克 己 「自らを律し、豊かな思いやりのある人間」
実 現 「自らの夢や希望を実現する人間」



□ 概 要

本校は、平成25年4月に開校した、通学型の高等支援学校です。知的障がいのある生徒を対象に、専門的に職業教育を行う学校として、学校内のみならず、地域、企業と連携した学習活動を行っています。卒業後の進路は、主に一般就労を目指します。令和2年度に併設していた幕別高校が閉校となり、令和3年度より幕別分校単独で校舎を利用しており、広い校舎を有効活用し学習活動を行っています。

■特色ある教育活動

社会自立～自己を理解し、自分に自信をもち、必要なサービスを活用して、自らの人生を主体的に生き、社会参加していくために、「働く力」「暮らす力」「関わる力」「人間性」を身に付ける。

【 個別最適な学びと協働的な学び 】

各教科の授業は、少人数集団できめ細やかな指導・支援が行えるよう、クラスごとの授業を基本としています。作業学習、音楽、美術については学年ごとに行っています。

また、作業学習の一部では縦割り、トレーニングは希望制の縦割り、保健体育は学習によって全学年など多様な学習集団で学ぶことができるようにしています。

【 産業総合科の作業内容 】

産業総合科では、働く力を育てるために様々な作業内容を学習します。また、地域から依頼される作業（環境整備や美化作業）を行い、「働く力」「暮らす力」「関わる力」「人間性」などの社会参加するための力を総合的に身に付けます。

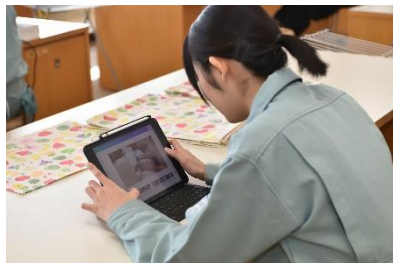
【 現場実習・働く力の育成 】

現場実習は第1学年で1回、第2学年で2回、第3学年で1回行っています。

また、毎週木曜日に自分の力で事業所に出勤し、働き、帰宅するという学習を行っています。その他、一日作業学習を行う労働週間を設定し、「働く意識」を高めます。

【 ICT機器を活用した学習活用 】

一人一台端末を整備し、情報の時間だけではなく、各授業で活用しています。



ICT機器を活用した授業



学校祭：ステージ発表



見学旅行：浅草にて



図書館での本の修繕作業



現場実習の様子



駐車場ライン引き作業

■第1学年生徒の週時程表

	月	火	水	木	金
1	トレーニング	作業 学習	トレーニング	作業 学習	トレーニング
2	音楽		社会		LHR
3	外国語		数学		国語
4	情報		理科		数学
5	保健 体育	家庭	美術	総合的 な探究 の時間	作業 学習
6			国語	職業	

＊登校時間 8：25（月～金）
 ＊下校時間 15：05（月～金）
 ＊月1回程度、午前授業の日もあります。

■教育課程の特徴

第1学年は、週3回、1校時にトレーニング（主に体力づくり）、作業学習は週10時間、清掃作業を中心に、町内の環境整備や美化作業、カレンダーの袋詰め、紙折り作業など様々な学習活動を行っています。

第2学年では、自分の力で事業所に出勤し、働き、帰宅するという学習を行います。

□ 各教科等の学習内容

各教科においては、卒業後や現在の生活に活用できるような内容を学習しています。総合的な探究の時間では、自己の課題や疑問、テーマを設定し、それらについて調べ解決を目指す学習を中心に行います。職業では、現場実習の事前、事後の学習の他、働く上で大切なことやビジネスマナーを学んでいきます。また、施設職場見学や卒業生を招いて職業講話なども行っています。

□ 自立活動の指導

自立活動の指導は教育活動全体を通じて行っていますが、生徒の実態に応じた自立活動の内容をトレーニングの時間に個別で行うなど、一人一人に応じた指導を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 一般就労～ 3名【小売業1名、製造業2名】
- 福祉的就労～ 1名【自立訓練1名】

学校Webページ



【知的障がい】
（釧根圏）

釧路管内

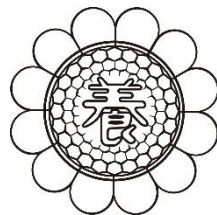
北海道釧路養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒085-0054 釧路市暁町11番1号
- 問 合 せ 先 TEL 0154-24-7827
FAX 0154-25-3439
E-mail kushiroyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.kushiroyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「今を 明日を 自分らしく 心豊かに 生きる人を育てる」
- 校 訓
「よさや持ち味を発揮する児童生徒」「豊かにかかわり合う児童生徒」
「自分から進んで取り組む児童生徒」



□ 概 要

本校は、昭和54年に開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。高等部は平成10年に設置され、在籍生徒は第1学年26名、第2学年26名、第3学年31名です。身辺処理能力の向上や基本的な生活習慣の確立に重点を置き、進んで物事に取り組む力や自分の気持ちを伝える力、一人一人が自分らしさを伸ばしながら生活を楽しむ力を育てることを目指して指導しています。寄宿舎では、聴覚障がい（北海道釧路鶴野支援学校）の舎生と共に生活指導の充実を図っています。

■特色ある教育活動

保護者や地域の人々の支援をもとに可能な限り社会に参加し、健康で心豊かな生活を送るための能力や態度及び習慣を育成するため、次のような生徒を育てます。

- 「見たことや感じたこと、自分の思っていることを伝える生徒」
- 「自ら積極的に働きかけ、生きる喜びを見いだす生徒」
- 「進んで体を動かし、元気に活動する生徒」

【 ひまわりフェスタ 】

保護者や地域の人に日常の学習の成果を発表する場であり、音楽や劇の発表、バザー販売、ゲームや喫茶店の運営などに取り組みます。

【 スポーツフェスティバル 】

体育的な学習の成果を発表する目的で2月に実施しています。体育としての取り組みだけではなく、特別活動や生活単元学習の時間の活動として、実行委員会や係活動にも取り組みます。

【 現場実習 】

卒業後の進路先を決めるために、生活介護事業所や就労支援事業所で1日～2週間、実習生として活動します。卒業後の生活がイメージできる現場実習を通して、卒業後の生活に向けた課題を明確にしています。



生活単元学習



校外体験学習



作業学習



現場実習



ひまわりフェスタ



見学旅行（高3）

■第1学年生徒の週時程表

【各教科等を合わせた指導に重点を置いた教育課程】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導（学習準備・朝の会等）				
	体力づくり／自立活動				
2	国語、数学／自立活動				
3	作業 学習	生活 単元 学習	作業 学習	生活 単元 学習	作業 学習
4					
	日常生活の指導（給食）				
5	保健 体育	音楽	保健 体育	HR/ 生活 単元 学習	日常 生活 の指 導
6	日常生活の指導（清掃・帰りの会）				

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施します。

*登校時間 8：50（月～金）

*下校時間 14：45（月～木）
13：15（金）

■教育課程の特徴

本校では、グランドデザインを作成すると共に、小学部・中学部・高等部それぞれの学びがつながるように教育課程を編成しています。

高等部では、「各教科等を合わせた指導に重点を置いた教育課程」と「自立活動に重点を置いた教育課程」を編成しています。

どの課程においても、生徒の将来の生活を見据え、生活に生かせる力となる知識や技能、態度及び習慣を育成することを大切にした指導を行っています。

□ 作業学習

リサイクル、紙工、清掃、手芸の4つの作業班に分かれて活動しています。1年ごとに本人や保護者と相談しながら作業班の選択をしています。

□ 生活単元学習

一連の活動を総合的、实际的に学習することによって、生活に必要な知識や技能を身に付けられるよう指導しています。本校の立地を生かして、周辺の店舗や施設へ出かける学習も計画的に実施しています。

□ 自立活動の指導

「自立活動」の時間及び学校生活全般で行っています。個別の課題を設定し、各教科等と関連付けて指導します。また、自立活動教諭が配置され、生徒の学習へのアドバイスをしています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 福祉的就労～17名【就労継続支援B型、生活介護 など】
- その他～1名

学校Webページ



釧路管内

北海道釧路鶴野支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- ☐ 住 所 〒084-0924 釧路市鶴野58番92
☐ 問 合 せ 先 TEL 0154-57-9011
 FAX 0154-57-3390
 E-mail tsurunoshien-z0@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.tsurunoshien.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- ☐ 学校教育目標
 「自立をめざして 明るく 元気に 努力し続ける人を育てる」
☐ 校 訓
 「全 力」「前 進」「笑 顔」



- ☐ 概 要
 本校は、聴覚障がい教育（幼稚部、小学部、中学部）と知的障がい教育（高等部）を行う学校として平成26年に開校しました。2つの職業学科からスタートし、平成31年4月から現在と同様の5つの職業学科と普通科を設置しています。設置する6学科がそれぞれ特色ある学習活動を展開し、歴史と伝統のある釧路で、自立と社会参加に向けた人材の育成を目指しています。

■特色ある教育活動

高等部の目標

- ・働き続け、地域社会で自立した生活を送るための知識や技能を育てる。
- ・様々な経験を通して自己有用感を高め、自己理解、自己選択、自己決定できる力を培う。
- ・健康的な生活習慣を身に付け、働き、地域生活を楽しむための体力を培う。
- ・釧路鶴野支援学校の一員としての自覚を促し、他者の立場を尊重し思いやる気持ちを育てる。

【 職業学科（環境・流通サポート科） 】

作業学習では、主にビルクリーニングなどの清掃や製本などに取り組みます。

【 職業学科（福祉サービス科） 】

作業学習では、主に介護基礎技術に関する学習や喫茶サービスなどに取り組みます。

【 職業学科（生産技術科） 】

作業学習では、主に紙製品や窯業製品の製作、販売に取り組みます。

【 職業学科（情報ものづくり科） 】

作業学習では、主に情報通信技術を活用し、工芸品等の製作・販売に取り組みます。

【 職業学科（食品デザイン科） 】

作業学習では、主に地元の食材を活用した食品の開発、製造、加工、販売に取り組みます。

【 普通科 】

各教科等の学習、特に職業や総合的な探究の時間、コミュニケーションの授業を中心に、「校内環境整備活動」や「ちょこっとボランティア」など様々な体験活動に取り組みます。



環境・流通サポート科
：ビルクリーニング



福祉サービス科
：接客の様子



生産技術科：窯業
ドリッパーの製作



情報ものづくり科：金属加工
PCラック製作



食品デザイン科
：煎餅焼成の様子



普通科：認定こども園と交流学习
（総合的な探究の時間）

■第1学年生徒の週時程表

【 職業学科（環境・流通サポート科） 】

	月	火	水	木	金
1	セルフ マネジメント	セルフ マネジメント	数学	セルフ マネジメント	数学
2	情報	作業学習	セルフ マネジメント	総合的な探究 の時間	作業学習
3	音楽		家庭	国語	
4	美術		職業	外国語	
5	作業学習	保健体育	国語	理科	HR
6			道徳	社会	

【 普通科 】

	月	火	水	木	金
1	セルフ マネジメント	セルフ マネジメント	数学	セルフ マネジメント	職業
2	外国語	職業	セルフ マネジメント	総合的な 探究の時間	
3	音楽	総合的な 探究の時間	職業	数学	総合的な 探究の時間
4	美術		家庭	情報	
5	国語	保健体育	国語	社会	HR
6	コミュニケーション		道徳	理科	

■教育課程の特徴

「地域で自立し、明るく元気に 働き続ける
人を育てる」ことを目指しています。

□ 自立活動の指導

セルフマネジメント（自立活動＋特別の教科
道徳＋保健体育：各教科等を合わせた指導）の
時間は、自己を理解し、目標達成に向けて主体
的に取り組む態度を育成することを目指した全
学科共通授業です。自分の課題や日頃の取組に
ついて教師と一緒に振り返る学習「じりつ」
と、自分の身体の変化に気付くための運動を行
う学習「チャレンジ」があります。

□ 作業学習（職業学科）

働く力を身に付けるための学習です。様々な
作業（仕事）に取り組み、働くための基礎・基
本的な力を身に付けます。地域と連携した学習
を通して、地域で働く意識を高めます。

□ 総合的な探究の時間（普通科）

地域資源を活用した様々な体験学習に取り組
み、主体的に課題と向き合うなど、自ら学ぶ姿
勢を育てます。職業など各教科等の学習と関連
付け、習得した知識を実際の場面で活用する力
を育てます。

* 登校時刻 8：45（月～金）

* 下校時刻 15：25（月～木）／14：30（金）

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 就 職 ～20名【一般就労13名（卸売小売・製造業など）、就労継続支援A型7名】
- 福祉的就労 ～18名【就労移行支援3名、就労継続支援B型15名】
- そ の 他 ～3名（その他1名、未定2名）

学校Webページ



根室管内

北海道中標津支援学校

寄宿舍：有

スクールバス：なし

■学校の基本情報

- 住 所 〒086-1053 標津郡中標津町東13条北7丁目15番地2
- 問 合 せ 先 TEL 0153-72-6700
FAX 0153-72-6701
E-mail n-koyo-zo@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.n-koyo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

学校の目標

「社会参加・自立を目指し、生き生きと活動する児童生徒を育てる」～身に付けたい力の具現化～

児童生徒の目標

「カッコいい大人になる」～身につけたい力の具現化～

□ 校 訓

「健 康」「思いやり」「意 欲」「協 力」

□ 概 要

本校は平成8年に職業学科を設置する特別支援学校として開校しました。地域資源を活用した体験的な学習を通して、卒業後の社会参加と自立に向けて一人一人の目標を達成できるように計画的に進めています。寄宿舍においては、基本的な生活習慣の確立と集団生活の中で互いに協力することや責任を果たすことを目指しています。なお、令和元年度より小、中学部を開設、令和4年度より高等部に普通科が開設されました。根室管内唯一の特別支援学校として、様々な教育的ニーズのある児童生徒が一つの校舎で学んでいるところが特徴になります。



■特色ある教育活動（設置学科：園芸科 窯業科 木工科 家庭総合科 普通科）

高等部教育目標

【職業学科】

生徒一人一人の卒業後の目指す姿に応じて、適切に社会参加と自立を目指す生徒を育てる

【普通科】

生徒一人一人の発達段階に応じて、自分らしく社会参加と自立を目指す生徒を育てる

【 生徒主体の個別の指導計画 】

職業学科は個別の指導計画を学校・寄宿舍それぞれ生徒主体で作成しています。学級担任や舎室担当との面談をとおして、どのような大人になりたいか、そのためにはどんな力が必要かを考え、主体的に目標を立てることで、卒業後の目指す姿や進路希望に応じた学びを深めます。

普通科においては、生徒の実態や教育的ニーズに応じて指導目標や学習内容、手だてなどを教師が考え、保護者と確認する様式の個別の指導計画を活用しながら指導や支援を実践しています。

【 地域ニーズに応える作業学習 】

本校高等部は「地域連携」をテーマにして、地域のニーズに応えながら各学科で製品製作などを行っています。生徒が主体となって様々なアイデアを出し合いながら「NSGフェスティバル」という名称で即売会を行ったり、中標津町のふるさと納税返礼品を製作するなど中標津町役場や商工会議所などと連携したりしながら各学科の特徴を生かした作業学習を行っています。

※高等部普通科の出願資格については、原則として本校の中学部卒業（含見込）の生徒となります。



進路：現場実習



見学旅行：東京ディズニーランド



進路：事業所学習



総合：地域即売会



スポーツ祭：学年対抗玉入れ



進路：事業所説明会

■第1学年生徒の週時程表

【職業学科(職) 普通科(普) 普通科(重)】

	月			火			水			木			金		
	職	普	重	職	普	重	職	普	重	職	普	重	職	普	重
1	LHR			体力 づくり	自立 活動		体力 づくり	自立 活動		体力 づくり	自立 活動		体力 づくり	自立 活動	
2	作業学習			音楽			国語			作業学習			数学		
3				美術 ／ 進路学習	美術 ／ 生活 単元 学習		保健体育						生活単元 学習		
4															
5	生活 単元 学習	生活 単元 学習		作業 学習	生活 単元 学習		作業 学習	生活 単元 学習		国語 ／ 数学	自立 活動				
6	生活 単元 学習	自立 活動		作業 学習	自立 活動		作業 学習	自立 活動		セルフ プロ デュース					

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

登校時間 8時30分(月～金)

下校時間 15時10分(月～木) 13時20分(金)

■教育課程の特徴

□ 自立活動の指導

本校独自の「自立活動アセスメントシート」を活用した客観的な実態把握を基にして生徒と面談を行います。生徒自身の得意なことの理解など自己認知を高める学習を行います。職業学科においては教育活動全体を通して、普通科においては、授業時数を設定して学習を行っています。

□ 進路に向けた学習

卒業後の生活を見据えて進路の学習に取り組んでいます。自己分析やビジネスマナーなどを学びながら、近隣の福祉サービス事業所やグループホームを見学したり、卒業後の就労や生活について卒業生や事業所の職員から話を聞いたりする学習を行っています。

現場実習は第1学年は1週間、第2学年は3週間、前提実習として第3学年は最大5週間行っています。

□ セルフプロデュース

木曜の6校時に隔週でセルフプロデュースを行っています。この時間は生徒の将来の夢を実現するために、実現するための人生設計に応じた職業調べや到達度のチェックなどの学習を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 一般就労（就労継続A型含む）～6名【小売、建設、漁業】
- 福祉的就労（移行支援／就労継続B型／生活介護／自立訓練）～17名
- その他～2名

学校Webページ



【肢体不自由】

空知管内

北海道岩見沢高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 〒068-0014 岩見沢市東町2条8丁目960-3
 TEL 0126-23-5055
 FAX 0126-23-5130
 E-mail iwamizawakoutouyogo-z0@hokkaido-c.ed.jp
<http://www.iwamizawakoutouyogo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

- 1 心身共に健康で、自ら鍛える生徒【基本】
- 2 知性を磨き、主体的に考え判断する生徒【知】
- 3 情操豊かで、相互に敬愛し合う生徒【情】
- 4 強固な意志を培い、目標達成に努める生徒【意】
- 5 自己実現を志向し、自立できる生徒【自立】

□ 校 訓

「自立」「信愛」「創造」

□ 概 要

本校は昭和56年に開校した肢体不自由のある高等部段階の生徒を対象とした特別支援学校です。本校は普通科と専門学科（工業科、商業科、生活科学科）を設置する学校です。肢体不自由のある生徒の特性等を踏まえ、高等学校に準ずる教育を行いながら、卒業後の自立と社会参加を目指し、生徒の社会的・職業的自立に向けた教育を行っています。また、寄宿舎では、社会生活に必要な力や社会性を育てるための生活指導や余暇活動等の充実に力を入れています。



■特色ある教育活動

肢体不自由のある生徒に対し、一人一人のニーズに対応した教育を行い、生徒が主体的に社会参加するため、生徒の社会的・職業的自立に向けて、確かな学力や生活する力を育てる。

【 普通科 】

高等学校に準ずる教科学習を通して、高校生としての学力を身に付けられるよう、一人一人の実態に応じた、習熟度別の学習グループを編制しています。

【 工業科 】

工業に関する基礎的・基本的な知識や、集中力やコミュニケーション能力の育成を目指し、ものづくり学習やコンピュータ学習、各種検定、資格取得に向けた学習に取り組んでいます。（計算技術検定、危険物取扱者資格 など）

【 商業科 】

商業に関する基礎的・基本的な知識や技術、働く上での実践的な力の育成を目指し、「課題研究」やビジネスマナー、各種検定の取得に向けた学習に取り組んでいます。（簿記能力検定、情報技術検定、文書デザイン検定、ホームページ作成検定 など）

【 生活科学科 】

家庭生活の各分野に関する基礎的な知識や技術の習得を目指し、被服実習、調理実習など様々な学習を行っています。実習では、障がいの状況に応じて用具や手法を工夫しています。基礎技術の定着、向上に向け、各種検定にも取り組んでいます。（全国高等学校家庭科技術検定、文書デザイン検定など）



普通科：数学（習熟度別授業）



学校祭：全学年生徒記念撮影



職場実習（2学年）



工業科：製図



商業科：実習販売



生活科学科：調理実習

■第1学年生徒の週時程表

【 普通科 】

	月	火	水	木	金
1	情報Ⅰ	芸術（書道・音楽・美術）	数学Ⅰ	化学基礎	公共
2	情報Ⅰ	芸術（書道・音楽・美術）	現代の国語	数学Ⅰ	化学基礎
3	保健	公共	自立活動	家庭総合	数学Ⅰ
4	自立活動	言語文化	英語コミュニケーションⅠ	家庭総合	英語コミュニケーションⅠ
5	英語コミュニケーションⅠ	体育	体育	現代の国語	週ごとに指定
6	数学Ⅰ	化学基礎	言語文化	英語コミュニケーションⅠ	LHR 総合・探究

【 工業科・商業科・生活科学科 】

	月	火	水	木	金
1	言語文化	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅠ	服飾手芸 製図 情報処理
2	公共	数学Ⅰ	化学基礎	自立活動	服飾手芸 製図 情報処理
3	現代の国語	家庭基礎	フードデザイン 工業情報数理 簿記	生活産業情報 工業技術基礎 簿記	現代の国語
4	英語コミュニケーションⅠ	家庭基礎	フードデザイン 工業情報数理 簿記	生活産業情報 工業技術基礎 簿記	数学Ⅰ
5	ファッション造形 工業情報数理 ビジネス基礎	体育	体育	化学基礎	週ごとに指定
6	ファッション造形 工業情報数理 ビジネス基礎	言語文化	数学Ⅰ	公共	LHR 総合・探究

* 登校時間 8：15（月～金） * 下校時間 15：45（月～金）

■教育課程の特徴

高等学校に準ずる教育課程を編成しています。授業では基礎的・基本的な内容を身に付けることを目指します。また、作品制作や実習などを通して達成感を味わい、将来の自立や進路選択に必要な力を育てることを重視しています。

自立活動では健康管理や身体のケアを自分自身でできることを目指しています。毎朝行う「ストレッチタイム」は身体をケアする習慣付けを目的として実施しています。また、寄宿舎生活においても同様に取り組んでいます。

□ 資格取得に向けた取組

資格取得は、将来の進学・就職後に役立つだけでなく、大きな自信となり、日々の主体的な学びや次の目標に対する励みにもなります。資格取得に向け、授業や放課後活動などで積極的に取り組んでいます。

□ 進路指導と職業教育

系統的な学習となるよう、第1学年は校内実習、第2学年は職場体験、第3学年は卒業後の就労を前提とした実習を行っています。

また、第1学年から外部講師を招いた授業や職業相談などを行い、進路に対する意識を高める取組を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 一般就職（就労支援A型含む）7名【北洋銀行、よつ葉乳業、サンネット株式会社など】
- 福祉施設利用6名（就労継続支援B型6名）
【コラボワーク、ソーシャル、ワーククラフト、支援センターゆみな、でじるみ など】
- 進学2名【北海道情報大学、北海道立札幌高等技術学院】

学校Webページ



石狩管内

北海道真駒内養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住所 〒005-0011 札幌市南区真駒内東町2丁目2番1号
- 問合せ先 TEL 011-581-0064
FAX 011-581-1892
E-mail makomanai@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.makomanaiyougo.hokkaido-c.ed.jp/>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「人とのつながりを大切に、
自分の考えを持ち、自分の考えを伝え、
自分の考えをもとに行動できる人を育てる」

□ 概要

本校は昭和36年に開校した肢体不自由のある児童生徒を対象とした特別支援学校です。小学部、中学部、高等部を設置し、肢体に障がいのある児童生徒の学習上の特性等を踏まえながら、学習しています。高等部では、卒業後の自立と社会参加を目指し、「社会生活に役立つ力」を養うことを目指した教育を行っています。寄宿舎では、生活経験の拡大を目指し、たくましく生きていく力を養うことを目指しています。



■特色ある教育活動

高等部教育目標

一人一人の生徒の自立と社会参加に向けて、卒業後の社会生活に役立つ力を身に付けるとともに、主体的に判断し、活動できる生徒を育てます。

【 学校行事の充実 】

体育大会、高等部祭を通して、今を大切に、そして卒業後に生きる力を獲得できるよう学習に取り組めます。

【 実践的、体験的な学習活動 】

「校外学習・生活体験実習」など体験的な学習活動を通して、地域での経験を広げ、様々な人との関わりの中で自分のできることを増やす学習に取り組めます。

作業学習では、体験的な学習を通して卒業後の自立的な生活に必要な知識や技能、態度を身に付けることができる学習に取り組めます。学習内容を整理し、学年を越えて編制したグループで学習に取り組めます。

【 地域と連携した授業づくり 】

行事や日々の学習において、外部専門家や地域の方をゲストティーチャーとして活用するなどし、魅力ある豊かな学習に取り組めます。



生活体験実習



生活単元学習：
フラワースマイル作戦



体育大会：フロアカーリング



作業学習：製品作り（ミシン）



校外学習



高等部祭：喫茶（接客）

■第1学年生徒の週時程表

【知的代替の教育課程】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導（朝の身支度・係活動・朝の会）				
2	自立活動				
3	音楽/ 作業/ 保体	生単 ／ 総合	作業/ 保体/ 音楽	理科 ／ 社会	保体/ 音楽/ 作業
4					
5	LHR	美術 ／ 作業学習	数学 ／ 生単	国語	LHR
6					

【自立活動を中心とした教育課程の例】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導（朝の身支度・係活動・朝の会）				
2	自立活動				
3	音楽/ 作業/ 保体	生単 ／ 総合	作業/ 保体/ 音楽	理科 ／ 社会	保体/ 音楽/ 作業
4					
5	LHR	美術 ／ 作業学習	自立活動	自立活動	LHR
6					

※生単は「生活単元学習」、総合は「総合的な探究の時間」
保体は「保健体育」

*登校時間 8:55～9:05（月～金）

*下校時間 14:05（月・金）／15:05（火～木）

■教育課程の特徴

知的代替の教育課程、自立活動を中心とした教育課程を編成しています。

教科別の学習では、国語、数学、理科、社会などの学習を行います。

生活単元学習や作業学習では、教科の内容を関連付けた実践的、体験的な学習を行います。

総合的な探究の時間や自立活動等では、生徒が卒業後の社会生活に役立つ力を身に付けるための学習を行っています。

□ 自立活動

自立活動を時間割に位置付け、自立活動教諭と連携を図りながら指導しています。

□ 生活単元学習

学年全体で行う学習では、生活に関連した題材を通して、自分自身の生活を広げることができるように学習しています。

□ 交流

近隣の地域団体や学校と一緒に、学校や地域の花の定植に取り組みながら、交流活動を行います。また、地域の高校生とパラスポーツを通じて交流するなど、積極的に多くの人と関わる機会を設けています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 福祉的就労～11名【生活介護 10名 施設入所 1名】
- その他 ～ 1名【療養入院】

学校Webページ



石狩管内

北海道手稲養護学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

※ 北海道立子ども総合医療・療育センターに原則入院・入所の方を対象とした特別支援学校です。

■学校の基本情報

- 住 所 〒006-0033 札幌市手稲区稲穂 3条7丁目6番1号
- 問 合 せ 先 TEL 011-682-1722
- FAX 011-682-1926
- E-mail teineyogo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.teineyogo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「幼児児童生徒の学習や身体状況に応じた教育を行い、一人一人の能力を伸ばすとともに、社会の一員として参加することを支援し、心豊かに自立した生活をする人間を育てる」

□ 具体目標

「たくましく生き抜く子ども」「明るく協力する子ども」
「自ら考え進んで学習する子ども」

□ 概 要

本校は昭和28年に北海道整肢学院に開設された琴似町立琴似小・中学校分教室からスタートした肢体不自由と病弱の生徒を対象とした特別支援学校です。在籍する生徒は、隣接する北海道子ども総合医療・療育センターに入院、入所しながら通学し、学習しています。

生徒の生活、学習上の実態等を踏まえ、一人一人の心身の状況に応じた教育課程を編成し、卒業後の自立と社会参加を目指し、「心豊かに自立した生活をする人間を育てる」ことを目指した教育を行っています。



■特色ある教育活動

生徒の学習や身体状況及び一人一人の発達の段階に応じた教育を行い、自ら自分の将来を考え社会の一員として参加することを支援する。また、基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、思考力・判断力・表現力等やその他の能力の育成に努め、生徒が主体的に学習に取り組む態度を養い、心豊かに自立した生活をする人間を育てる。

□ めざす生徒像

「たくましく生きぬく生徒」「個性豊かに思いやりのある生徒」「自ら学び仲間と高めあう生徒」

北海道立子ども総合医療・療育センターと連携し、人間としての在り方、生き方に関する教育を、各教科・科目、総合的な探究の時間、特別活動及び自立活動において行っています。生涯を通じて健康・安全で活力のある生活を送るための基礎を培う学習活動に取り組んでいます。

【 多様なニーズに応える各教科・科目の履修 】

北海道立子ども総合医療・療育センターへの入退院、入退所により、転入・転学となる生徒が多く、継続した学習を保障するために、指導内容を適切に選択し、履修できるようにしています。

【 地域との交流 】

総合的な探究の時間では、札幌稲穂高等支援学校や三角山分校との交流を行っています。そこでは、コミュニケーション能力を高めたり、主体的に行動する力や意欲を育てる活動を行っています。



国際交流



札幌稲穂高等支援学校との交流



三角山分校との交流



文化祭



宿泊研修



校外学習

■第1学年生徒の週時程表

【 肢体不自由（重複） 】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	体育	数学	国語	自立活動	職業
3	英語	職業	音楽	職業	職業
4	自立活動	職業	数学	職業	音楽
5	生活単元学習	生活単元学習	総合的な探究の時間	国語	生活単元学習
6				体育	LHR

【 病弱（普通） 】

	月	火	水	木	金
1	産業社会	数学Ⅰ	化学基礎	英語コミュニケーションⅠ	言語文化Ⅰ
2	体育	現代の国語	美術Ⅰ	保健	現代の国語
3	数学Ⅰ	公共	自立活動	化学基礎	数学A
4	家庭基礎	化学基礎	論理表現	数学Ⅰ	音楽Ⅰ
5	公共	英語コミュニケーションⅠ	総合的な探究の時間	論理表現	化学基礎
6	言語文化	数学Ⅰ	総合的な探究の時間	体育	LHR

■教育課程の特徴

肢体不自由のある生徒と病弱の生徒に対して、一人一人の実態に応じて4つのコースを編成しています。主に①高等学校に準ずる各教科等の指導中心、②下学年・下学部の各教科等の指導中心、③各教科等の内容を合わせた指導である生活単元学習などの指導中心、④自立活動の指導中心となります。

□ 生活単元学習

社会参加に向けた「生きる力」を育成することを目指し、生活を送る上で必要とされる様々な事柄を体験的・实际的に学習しています。

□ 職業

進路学習と関連付けて、働くことを体験的・実践的に学習しています。縫製や紙すきなどの作業、製品の販売活動を行っています。

□ 総合的な探究の時間

自ら課題について学び考え、主体的に判断し、よりよく課題解決する資質や能力を育てることを目標にしています。交流学习や校外学習、学部レクリエーションなどをテーマに学習しています。

□ 自立活動の指導

生徒の実態に応じて、週1～4時間自立活動の時間における指導をしています。一人一人が学校生活全体を円滑に送れるように自立活動教諭と連携し、指導しています。

* 登校時間 8:45（月～金）

* 下校時間 14:50（月～金）

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

□ 生活介護事業所～2名

学校Webページ



石狩管内

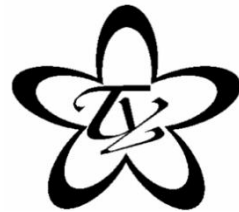
北海道拓北養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒002-8091 札幌市北区南あいの里3丁目1番10号
- 問 合 せ 先 TEL 011-775-2453
FAX 011-775-2455
E-mail takuhokuyougo@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.takuhokuyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「豊かに、たくましく、自分らしく」未来を拓く子の育成
～しなやかに育つ拓北の子～

- 校 訓
「共有・共感・共育」

□ 概 要

本校は平成12年4月に開校した肢体不自由を対象とした特別支援学校です。全校児童生徒117名（令和7年4月現在）のうち、高等部には20名が在籍しています。生徒一人一人の人格と主体性を尊重し、教育的ニーズや障がいの状態に応じた指導の充実に努めています。また、事業所での現場実習や体験的な活動など、一人一人の生徒が自分らしく卒業後の生活を送ることができるよう、日々の学習や進路支援に取り組んでいます。

寄宿舎では、現在、高等部生徒の利用はありませんが（令和4年度利用実績：3名）、札幌市外の生徒1名が在籍し、生活の質の向上を目指して個々のニーズに合わせた指導・支援に努めています。興味関心を広げ自分を表現する力や人とかわる力、生活を楽しむ力を育むために、様々な体験活動に取り組んでいます。



校舎全景



児童生徒玄関

■特色ある教育活動

高等部教育目標

- 1 自ら学び、心豊かに生活できる生徒
- 2 考えを伝え、受け止め、深め合える生徒
- 3 健やかな心と体で、自分も相手も大切にできる生徒

【指導の形態と学習形態】

各教科・科目は、「知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科等」に替えて指導しています。また、生徒の学習状況等を把握し、学習グループを構成しています。

Aグループ

自立活動の時間が多く設定され、各教科は主に知的代替小学部段階の内容を学びます。また、下記以外の教科を自立活動に替えて教科学習の基礎となる認知や身体の動き、コミュニケーションを中心に学習します。

（国語、音楽、美術、保健体育、職業、自立活動、総合的な探究の時間、特別活動）

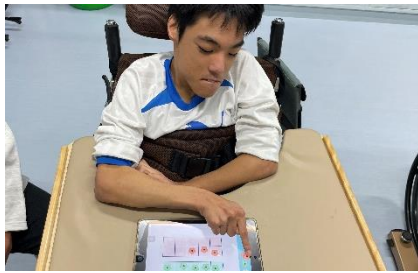
B・Cグループ

Aグループより各教科の時間が多く、主に知的代替小学部～中学部段階の内容（Bグループ）、中学部～高等部段階の内容や、関連する小・中学校の一部の内容（Cグループ）を学びます。新しい知識に加え、学んだ知識を生活に生かす学習を行います。

（国語、社会、数学、理科、外国語、音楽、美術、保健体育、職業、自立活動、総合的な探究の時間、特別活動）

【進路学習、交流及び共同学習について】

総合的な探究の時間において、卒業後の進路を考える機会として福祉事業所などでの活動を体験したり（現場実習）、近隣の高等学校との交流および共同学習も行ったりしています。



数学：アプリを使用した数の学習



保健体育：球技（野球）



職業：販売会



美術：絵画制作



特別活動：拓養祭（高等部祭）



自立活動：体側のストレッチ

■第1学年生徒の週時程表

【 Aグループの時間割 】

	月	火	水	木	金
1	自立活動				
2	美術	音楽	総合的な探究の時間	保健体育	自立活動
3	美術	自立活動	国語	保健体育	国語
4	自立活動				
	自立活動（給食を含む）				
5	自立活動	職業		自立活動	特別活動
6		職業			

【 B・Cグループの時間割 】

	月	火	水	木	金
1	自立活動				
2	国語	音楽	総合的な探究の時間	理科	職業
3	自立活動	自立活動	自立活動	数学	職業
4	社会	外国語（英語）	美術	保健体育	国語
	自立活動（給食を含む）				
5	数学	国語		保健体育	特別活動
6		数学			

■教育課程の特徴

各教科、自立活動、総合的な探究の時間及び特別活動で教育課程を編成しています。

Aグループは自立活動が、B・Cグループは各教科が多く設定された時間割になっています。学習状況や実態にも考慮し、一人一人の学びがより充実するようにグループ編成を工夫しています。例えば、保健体育、職業、美術は3学年合同で、国語や数学は学習状況に応じてなど、教科によっては学級、学年の枠を超えてグループを編成しています。

特別活動はホームルーム活動、生徒会・委員会活動、学校行事などがあります。生徒会・委員会活動は学年の枠を超え、普段の学習とは異なるグループの生徒同士が一緒に活動できるようにしています。拓養祭（高等部祭）では、ゲームや音楽発表などの企画に、各学年の生徒が協力し合いながら取り組んでいます。

□自立活動の指導

毎日1時間目に自立活動の時間を設定し、一人一人の身体の状態に合わせ「健康の保持」、「身体の動き」などについて取り組んでいます。

Aグループは、自立活動の時間が多く設定されていますが、例えば数学に関連する内容を自立活動の「環境の把握」を通して学習するなど、各教科とも関連させながら取り組んでいます。B・Cグループも自立活動の指導で学んだことを、各教科の学習に活かしながら取り組んでいます。

生活の様々な場面のなかで、上記項目以外にも「コミュニケーション」など、自立活動の各項目を意識しながら活動しています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

□ 就労継続支援B型 / 生活介護事業所 ～ 9名

【札幌市内、各市町の生活介護事業所など】

学校Webページ



渡島管内

北海道函館養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒042-0916 函館市旭岡町2番地
- 問 合 せ 先 TEL 0138-50-3311
FAX 0138-50-3312
E-mail hakodateyogo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.hakodateyogo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「子ども 一人一人のもっているよさや個性を 発揮できるようにし
心豊かに たくましく 社会で共に生きる力を育てる」

□ 概 要

本校は、昭和54年に開校した肢体不自由のある児童及び生徒を教育する特別支援学校です。平成3年に高等部が開設され、平成10年からは高等部でも訪問教育を行っています。

現在第1～第3学年で計13名の生徒が在籍し、一人一人の障がいの状況や特性、教育的ニーズに応じた指導について、適切に取り組まれるよう単元計画を作成し、授業の実施と評価、改善に努めています。また、生徒のよさや個性を生かす教育を目指しており、自ら感じ、考え表現できる力の育成を図っています。

函館市外に在住する児童生徒のために寄宿舎が設置されており、生活経験の伸長とともに、将来の自立に向けた生活動作や集団における力の育成を目指しています。



■特色ある教育活動

高等部教育目標

「一人一人のよさや個性を生かし、自ら感じ、考え、表現できる力を育てる」

【 合理的配慮に基づいた指導 】

個別の教育支援計画で示されている本人や保護者の願い、また、将来の職業生活を見据えた長期的な支援目標を基に、生徒と保護者と教師が互いの人権や尊厳に配慮した共感的な視点で日々の指導、実践に取り組んでいます。

各教科の指導では、教科のねらいや観点を明確にし、生徒一人一人の学びの履歴や連続性、学習状況をおさえた指導に努めています。また、各教科を合わせた指導では、生徒の生活に基づいたまとまりの中で、自然に学びの楽しさを感じ、学習意欲の高まりや分かる授業、合理的配慮に基づいた指導の充実に努めています。

【 地域資源を活用した体験的な学習 】

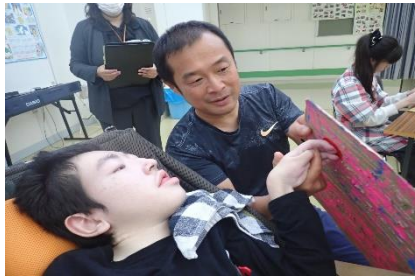
人とかかわる力を実践的に身に付けることができるよう、地域資源（人材、施設、情報等）を活用した体験的な学習の推進に取り組んでいます。公共交通機関の活用や買い物などの校外学習、地域の高等学校の生徒との交流及び共同学習、各種福祉事業所の見学や産業現場等における実習のほか、地域ボランティアの活用やALTを招いた学習を行っています。

【 医療的ケアを必要とする生徒の状況 】

現在、5名の生徒について、医師、保護者、看護師と連携を図りながら医療的ケアを行っています。



作業学習：陶芸



生活単元学習：絵画教室



保健体育：水泳



音楽：器楽演奏



自立活動



買い物学習

■第1学年生徒の週時程表

【Ⅰ型】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	作業 学習	生活単 元学習	自立 活動	生活単 元学習	音楽
3					
4	自立活動/日常生活の指導				
5	生活単 元学習	自立 活動 クラブ	生活単 元学習	保健 体育	HR
6					

【Ⅱ型】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導/国語・数学				
2	作業 学習	生活単 元学習	作業 学習	生活単 元学習	音楽
3					
4	自立活動/日常生活の指導				
5	生活単 元学習	自立 活動 クラブ	生活単 元学習	保健 体育	HR
6					

※「総合的な探究の時間」は、任意の期間で実施する。

＊ 登校時間 9：10（月～金）

＊ 下校時間 15：10（月・火・木）／14：25（水・金）

■教育課程の特徴

国語、数学、音楽、保健体育の教科別指導と日常生活の指導、生活単元学習、作業学習といった各教科を合わせた指導、自立活動等により時間割を編成しています。また、「なぜ、その学習に取り組むのか」「その学習から何を学ぶのか」「その学びを、将来どのように生かせるのか」を考え、単元計画を立案し、授業の実施と評価、改善に努め、学びの履歴を積み上げる取組に努めています。

□ 自立活動の指導

自立活動の時間における指導を設定し、自立活動教諭や医療機関、訓練機関と連携を図りながら生徒の障がいの状態に応じた学習活動を行っています。

□ 総合的な探究の時間

産業現場等における実習として、第2～第3学年で体験実習を行っています。実習先に応じて違いはありますが、2～10日間程度の実習を実施しています。近隣地域の高等学校と、交流及び共同学習を行っています。障がいの有無に関わらず、同年代の仲間とかわることができる貴重な体験の機会となっています。

□ 特別活動

全校的な行事として、授業で学んだ運動競技や演舞（ダンス）等を発表する体育大会やあさひ祭（高等部祭）を行っています。あさひ祭では、各学習グループで企画した催事やステージ発表をします。また、作業学習で製作した商品の販売も行っています。

週1回のHR（ホームルーム活動）と月1回程度、全校集会を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

□福祉事業所の利用

地域活動支援センター：1名 生活介護：3名

学校Webページ



上川管内

北海道旭川養護学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

※原則として、北海道立旭川子ども総合療育センターに入所している方が対象です。

■学校の基本情報

- 住 所 〒071-8142 旭川市春光台2条1丁目1-8
- 問 合 せ 先 TEL 0166-51-6507（事務室）
FAX 0166-51-6507
E-mail sns-ky@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.asahikawayougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 校 訓 「健康」「明智」「努力」
- 学校教育目標 「安心・安全な教育環境のもと、生活にいきる力を育む」
- 概 要

本校は北海道立旭川肢体不自由児総合療育センターに併設する学校として昭和39年に開校しました。

本校高等部は平成9年に設置され、北海道立旭川子ども総合療育センターに入院している生徒や、家庭で生活しながら総合療育センターに通院している生徒、障がいの状態等により通学が困難なため訪問教育を受けている生徒（北海道療育園及び自宅）が在籍している学校です。



本校高等部には、普通科（重複学級）7学級19名、訪問教育学級11学級32名の生徒が在籍しています。重複障害学級に在籍する生徒の6割程度が特別通院・通学生であり、訪問教育学級在籍生徒には、中学部第3学年時に学齢超過者として編入した生徒も含まれます。北海道立旭川子ども総合療育センターに入院、北海道療育園に入所する生徒の出身地は、道内広範囲にわたっています。

■特色ある教育活動

【高等部教育目標】

- ①自ら考え、判断し、行動する力を育む。
- ②コミュニケーションの力とともに社会とつながる力を育む。
- ③生活の質を高めるため、健康の維持や増進、経験の拡充を図る。

【 交流及び共同学習 】

旭川市内の高等学校の生徒と年2回を目標に交流して学習を行っています。同年代の触れ合いの中から生徒の経験を広め積極的に他者と関わる態度を養い、社会性や豊かな人間性を育みます。

【 生活体験実習 】

卒業後の生活に向けて福祉事業所等と連携し、事業所の活動や生活を体験します。生徒一人一人が目標を設定し、第1学年から段階的・計画的に実習を行います。

【 訪問教育学級登校学習 】

学校行事（運動会など）のほかに、年2回訪問教育学級の生徒が学校に登校して集団で学習します。体育館で大型遊具等を活用して学習を行います。また実態に応じて個別にスクーリングも行います。

【 ICT機器を活用した学習 】

タブレット端末などを活用して、訪問教育学級の生徒の自宅と、学校の教室を同時双方向中継で結び、在校の生徒と訪問教育学級の生徒と一緒に学習します。また、校外の施設とつないで学習や実習を行うこともあります。



職業家庭（家庭科）



旭山動物園飼育員の出張授業



クリスマスコンサート
（訪問教育学級）



大型スーパーのバックヤード見学
（遠足）



旭養マルシェ（学校祭）



見学旅行（訪問教育学級）

■第1学年生徒の週時程表

【 重複学級 第1学年 A さん 】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
2	LHR	国語数学	音楽	職業・家庭	美術
3	体育	自立活動	自立活動		
4		音楽	自立活動	自立活動	自立活動
5	理科社会	自立活動	国語数学	総合的な探究の時間	自立活動
6		リハビリ		自立活動	道徳

*登校時間 8:40

*下校時間 14:45（月・火・木・金）／13:50（水）

【訪問教育学級 2組 1学年B さん（北海道療育園）】

	月	火	水	木	金
1			登校学習		
2	集団学習	集団学習		集団学習	集団学習
3					
4	個別学習			個別学習	

<北海道療育園>（週あたり6回）

1校時 9:40～10:40

2校時 10:55～11:55

3校時 13:15～14:15

4校時 14:30～15:30

<在宅>（午前または午後のいずれかで、週あたり3回）

午前 9:30～11:30

午後 13:20～15:20

■教育課程の特徴

「個に応じられる教育課程」を編成しています。編成に当たっては、個別の指導計画を作成し、一人一人の各教科等の実態から、「なにを」「どこで」「どのように」学習するかを明らかにしています。

北海道立旭川子ども総合療育センターや北海道療育園等の関係機関と日常的な情報交換を行いながら、生徒一人一人が安心、安全に学習活動ができるよう、障がいの状態や発達の段階を踏まえ、個に応じた教育を行います。

各教科、道徳、特別活動のほか、卒業後の生活につながる学習活動を行います。また、学校内外の専門スタッフと相談しながら、障がいの状態に応じた教材教具を用いるとともに、ICT 機器などを活用し、学習の効果を高めます。

□ 自立活動の指導

年間指導計画を作成し、療育センターリハビリテーション課や自立活動教諭の助言を受けながら、日常生活に必要な身体の動きを改善したり、コミュニケーション能力を高めたりする学習活動を行います。

□ 教科の学習

学習指導要領に示されている目標と内容を踏まえ、生徒の実態に応じて指導します。卒業後の生活に生かすことができるよう、体験的な学習活動を多く取り入れています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

□ 福祉的就労～1名【生活介護1名】

□ そ の 他～14名【施設入所、自宅療養 など】

学校Webページ



オホーツク管内

北海道網走養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒099-2421 網走市字呼人149番地2
- 問 合 せ 先 TEL 0152-48-2235
FAX 0152-48-2137
E-mail abashiriyougo-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.abashiriyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「地域で自分らしく生きる人を育てる」

- 校 訓
「明るく」「元気に」「呼人で学ぶ」

- 概 要

本校は昭和49年4月に開校した肢体不自由特別支援学校であり、今年度で開校52年を迎えます。

重複の障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、地域社会において家族や仲間、支援者と共に生活していけるよう、自ら学ぶ意欲を養い、自ら生活を豊かにしようとする態度や知識、生活習慣を育成することを目指した教育を行っています。

本校には、教員が家庭、児童福祉施設、医療機関等を訪問して行う訪問教育学級にも生徒が在籍しています。

寄宿舎では、集団の中で互いに協調・協力し合う精神の育成に努めるとともに、基本的生活習慣の定着を図っています。



■特色ある教育活動

- ア 自己選択、自己決定、自己調整することができる生徒を育成する【知】
- イ 自分の気持ちを表現し、適切な方法で相手に伝えることができる生徒を育成する【徳】
- ウ 社会的な自立をするために、基本的な生活習慣の定着と体力の向上に取り組むことができる生徒を育成する【体】
- エ 自己理解を深め、社会人としての適切な態度や主体性を身に付けることができる生徒を育成する【知、徳】
- オ 地域社会資源を結び、自分ができることを自分ができる方法で取り組むことができる生徒を育成する【自活】

【 職業 】

時期に応じた作業種目において総合的に学習することで、働く意欲を高め、将来の職業、生活などの社会的自立を目指すとともに生活する力を身に付けます。

【 社会 】

社会生活の中で起こる諸課題について、地域や社会とのつながりや決まりがあることを知ったり、日常の事象が日常生活や社会生活に関わることを知り、それらを合わせて体験的に学んだり、交流したりして実際の、総合的に学習をします。

【 総合的な探究の時間 】

学校近郊施設への校外学習、公共交通機関の利用、ALT交流、現場実習、進路学習などの様々な場を通して、生徒が主体的に探究を行います。また、様々な考え方を知り、自ら考え、選択し、自己決定する力を養います。



職業：販売活動の様子



職業：紙すき



自立活動：デジリハ



総合：フラワーガーデンプロジェクト



理科：春をみつけよう



校外学習：買い物学習(網走市内)

■第1学年生徒の週時程表

【パターン①】					
	月	火	水	木	金
1	家庭科/ホームルーム (SHR)				
2	自立活動	自立活動/保健体育	自立活動	自立活動/保健体育	自立活動
3	職業	理科	職業	社会	職業
4	国語・数学	自立活動	国語・数学	自立活動	国語・数学
5	道徳	美術	保健体育	国語・数学	特別活動 (LHR)
6		音楽		総合	

【パターン②】					
	月	火	水	木	金
1	家庭科/ホームルーム (SHR)				
2	自立活動	自立活動/保健体育	自立活動	自立活動/保健体育	自立活動
3	国語/数学	社会/理科	家庭科	理科/社会	数学/国語
4	自立活動	数学/国語	職業	国語/数学	自立活動
5	道徳	美術	保健体育	音楽	特別活動 (LHR)
6	外国語	情報		総合	外国語

*「総合」は、総合的な探究の時間

■教育課程の特徴

個別の教育支援計画、個別の指導計画に示された生徒一人一人の教育的ニーズに応じて時間割を作成します。今年度の第1学年から第3学年は国語・数学や理科、社会、職業を中心とした指導編成（パターン①）、パターン①に加えて第2学年では外国語、情報、家庭科を取り入れた指導編成（パターン②）、計2つの個別に応じて教育課程を編成しています。

学級や学年での学習を中心に組み込んでいますが、音楽、美術、保健体育、職業は、生徒の実態や学習到達度に応じて学部全体で学習集団を編成しています。それぞれの学習集団を大切にしながらも個別の教育的ニーズに可能な限り対応するように取り組んでいます。

□自立活動の指導

自立活動の指導では、担任や自立活動教諭を中心に一人一人の障がいの状況等に応じた目標を複数人で検討し、心身の調和的発達の基盤を培うための具体的な指導内容を設定しています。

* 登校時間 9:00 (月～金)
* 下校時間 14:10 (月・水・金)
/ 15:05 (火・木※月、金)

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

□ 福祉的就労（就労継続支援B型/GH/生活介護） ～3名

学校Webページ



【病 弱】

石狩管内

北海道手稲養護学校三角山分校

寄宿舎：無

スクールバス：無

※ 原則として国立病院機構北海道医療センター（西館）への入院者を対象とした特別支援学校です。

■学校の基本情報

- 住 所 〒063-0005 札幌市西区山の手5条8丁目1番38号
- 問 合 せ 先 TEL 011-633-3020
- FAX 011-633-3023
- E-mail sankakuyama-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.sankakuyama.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「自らの可能性を生かし、
心豊かに生きる人を育てる」

□ 概 要

本分校は二海郡八雲町で長い歴史を育んできた北海道八雲養護学校を前身とする学校です。独立行政法人国立病院機構八雲病院の札幌移転に伴い、令和2年8月から札幌市西区に校舎を移転し、「北海道手稲養護学校三角山分校」として新たにスタートすることとなりました。

高等部では、隣接する『独立行政法人国立病院機構北海道医療センター』に入院している神経筋疾患や重症心身障がいなどの生徒を対象に、高等学校と同様の学習から障がいの重い生徒に適した学習まで、一人一人の発達や障がいの状況にきめ細かく対応した教育を行っています。



■特色ある教育活動

高等部教育目標

「自分のもつ力や個性を発揮し、現在及び将来において、生き生きと充実した社会生活ができる生徒を育てる」

【 支援技術（AT）の積極的な導入 】

一人一人の障がいの状況に応じて、パソコンやタブレット等のICT機器やスイッチや補助具などの支援技術（AT：アシスティブテクノロジー）を積極的に導入し、学習環境の整備に努めています。

【 車いす生徒の体育・スポーツ等の推進 】

体育的活動に参加することによるチームプレーでの社会性の学びや、主体的な行動力の向上等の観点から、積極的に車いすでのスポーツを推進しています。

【 地域・他校との交流及び共同学習の推進 】

地域の事業所や同年代の他校の生徒との活動を通して、社会性や豊かな人間性を育てています。また、地域のカフェとは共同メニュー開発などに取り組んでいます。

【 ICTを活用した遠隔授業の推進 】

web会議システムや分身ロボットなどを活用して、外部との遠隔授業を行っています。ロボットプログラミング選手権などの参加や就労体験学習など、社会参加に繋がる学習を積極的に行っています。

【 個に応じた進路指導 】

地域の関係機関や就労支援事業所と連携を図り、生徒一人一人の進路希望に応じた学習を進め、生徒の進路実現へ向けた環境づくりを行っています。



ICT機器等を活用した授業



ロボットプログラム選手権
(R6 全国大会ベスト8)



分身ロボットオリヒメを活用した
就労体験学習



メタバース空間を活用した
遠隔授業（さっぽろ雪まつり）



車椅子を使っの体育授業
(スティックスポーツ)



音楽アプリを活用した音楽発表
(三角山太鼓)

■第1学年生徒の週時程表

【 重複学級 】

	月	火	水	木	金
1	自立活動	自立活動	社会	数学	美術
2	外国語	理科	情報	道徳	理科
3	数学	数学	職業 家庭	国語	音楽
4	国語	美術	国語	音楽	職業 家庭
5	情報	総合的な 探究の 時間	外国語	保健体育	総合的な 探究の 時間
6	社会		HR	保健体育	

* 登校時間 8:30 (月～金)

* 下校時間 15:40 (月・水・木) / 14:40 (火・金)

■教育課程の特徴

卒業後の社会参加を目指し、自らの可能性を信じ学ぶ意欲を高める関わりや、必要な知識や技能を習得するための教育活動を展開しています。

普通学級では、高等学校と同様の教科学習を行い、基礎的な学力の定着が図られるよう教育課程を編成しています。

重複障がい学級では、生徒の実態に応じ、下学年や知的障がい特別支援学校の各教科等の指導を一部、「生活単元学習」や「日常生活の指導」などで合わせて行っています。

□ 各教科

各教科の目標や内容に基づき、「知識及び技能」、「思考力・表現力・判断力等」、「学びに向かう力、人間性」等の資質・能力が育まれるよう指導を行っています。日常生活や他教科等との関連付けを行い、生徒が興味や意欲をもって学習できるよう工夫しています。

また、普通学級では、学習状況の確認のため定期考査も実施しています。

□ 自立活動

生徒一人一人の実態に応じて、ICT機器などを含む補助具等の使用やコミュニケーション、自己理解など、学習又は生活上の困難を改善・克服し、社会参加に必要な知識・技能、態度や習慣を養う学習を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 国立病院機構北海道医療センターでの継続療養：7名（令和6年度）
- 株式会社スタッフサービス・クラウドワーク（一般就労：在宅）：1名（令和6年度）
- NPO法人札幌チャンジド（就労支援A型：在宅）1名（令和4年度）

学校Webページ



【札幌市】

札幌市

市立札幌山の手支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒063-0005 札幌市西区山の手5条8丁目1番38号
- 問 合 せ 先 TEL 011-611-7934
FAX 011-644-5535
E-mail yamanote-ejh@sapporo-c.ed.jp
- 学校Webページ <https://www23.sapporo-c.ed.jp/yamanote/>



■本校の概要

- 学校教育目標
心身の健康回復や改善を図り、一人一人の可能性を伸ばし、心豊かにたくましく生きぬく児童生徒を育てる。
- 概 要
本校は、様々な病気やその他の障がいを併せもつ児童生徒が、独立行政法人国立病院機構北海道医療センターに入院又は医療センター等の医療機関に通院し、治療や療育を受けながら学ぶことができる学校で、小学部・中学部・高等部があります。高等部は、昭和44年に開設されました。



■ 特色ある教育活動（高等部）

運営方針

ウェルビーイング（Well-being:健やかさ）の向上をめざした学校づくりの推進
～心理的安全性を基盤とした教育活動の展開～

- 各教科・科目等の指導の他、病気に対する理解や、自己管理能力、自己選択力、自己決定力の向上を図る指導支援を行っています。
- 医療機関との連携を図り、慢性疾患のため継続した治療や生活管理を必要とする生徒たちに指導支援をしています。
- 小学部・中学部に併設しており、異年齢との交流や共同活動を通して、自立や社会参加への意識が育つことを目指しています。
- 普通学級の定員は1学級8名で、重複障がい学級の定員は1学級3名です。少人数であることを生かして、きめ細やかな指導支援を行っています。

○校舎はバリアフリーとなっており、安心して学習できる環境です。エレベーターの設置や、身障者用トイレの設置、障がいの状態や特性に応じた机や椅子の配置や設置、補助具の設置をしています。特にICT機器の積極的な活用に努めています。

○冷暖房が完備されており、病状に合わせた室温調整が可能な学習環境です。



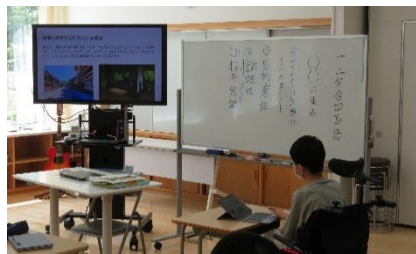
数学



家庭：調理



生物基礎



国語



外国語



生徒会議

■第1学年生徒の週時程表(例)

【普通科普通学級】 1学年 例

	月	火	水	木	金
1	歴総	自立	BS	総合	家庭
2	英Ⅰ	言文	英Ⅰ	数Ⅰ	数Ⅰ
3	現国	英Ⅰ	情報	科学	体育
4	BS	家庭	芸術	現国	言文
5	保健	数Ⅰ	芸術	歴総	LHR
6	科学	体育	—	選択	選択

【普通科重複障がい学級】

	月	火	水	木	金
1	LHR	自立	LHR	総合	外国語
2	数学	職業	家庭	理科	音楽
3	理科	職業	家庭	国語	保体
4	保体	外国語	国語	職業	数学
5	音楽	美術	社会	職業	LHR
6	社会	美術	—	情報	道徳

■教育課程の特徴

□ 自立活動

生徒一人ひとりの実態に応じて、自己理解や自己管理能力の育成、コミュニケーション等について学習します。

□ 各教科・科目

個別の指導計画を作成し、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して課題を解決できる力を育てています。

□ 学校設定科目等

中学校の学び直しができる「BS（ベータ・スキル）」、将来の進路について学習する「キャリア探究」などの学校設定科目があり、多様な選択ができます。

□ 芸術

普通学級では、書道と美術より選択して学習しています。

□ 職業

重複障がい学級では、作業学習や現場実習など、進路に関わる学習を行います。

* 登校時間 8:50 (月・火・水・木・金)

* 下校時間 15:40 (月・火・木・金) / 14:40 (水)

■卒業後の主な進路先について (令和4年度からの累積実績を記載)

- 一般就労 (就労継続支援A型含む) ~1名【サービス業】
- 福祉的就労 (移行支援/就労継続支援B型/生活介護/自立訓練) ~2名
- 進学
- その他 ~1名

学校Webページ



札幌市

市立札幌北翔支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒063-0831 札幌市西区発寒11条6丁目2-1
- 問 合 せ 先 TEL 011-668-5161
FAX 011-668-5163
E-mail hokusho-jh@sapporo-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.hokusho-jh.sapporo-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「自分らしく 心豊かに 暮らす」

□ 目 指 す 姿

- 個性を発揮しながら主体的に生活する児童生徒
- 人との交流や興味・関心のあることを広げ楽しむ児童生徒
- 家族や地域の人たちと共に生きる児童生徒

□ 概 要

本校は平成16年に豊成養護学校中学部と高等部を合わせ、発寒の地で開校しました。また、平成28年度に小学部が設置されて、小学部・中学部・高等部がそろい、新たにスタートしました。

肢体不自由とそれ以外の重度障がい重複する子どもたちが、安全・安心な学校生活を過ごしなが、それぞれの自立に向けた目標を達成できるように、12年間の連続した教育課程の編成・実施に努めています。



■ 特色ある教育活動

高等部の目指す姿 発信する

- 卒業後の社会参加を意識しながら、自らの意思を伝えようとする。

【 自立活動・からだづくり 】

本校では、自立活動Ⅰ（個別学習）、Ⅱ（給食の時間）、Ⅲ（生活の時間）、Ⅳ（からだづくり）の分野に分けて指導を行っているほか、教育活動全般において、障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養うことを目指しています。また、療法部との連携を密にとり、本校の理学療法士、作業療法士の助言・指導を受けながら、日常生活全般において適切な姿勢や動作をとるための指導実践に努めています。特にⅣ（からだづくり）では、療法部職員と個々の課題に応じた学習を行っています。

【 医療的ケア 】

日常的に医療的ケアが必要な生徒に対して実施しています。医療的ケアとは、生徒が学校生活を送る上での健康状態の維持・改善のための喀痰吸引・経管栄養等、医師の指示のもと必要なものを指します。学校看護師と研修を受けた教員が医療的ケアを実施します。

【 北翔の給食 】

給食は、食育として重要な教育活動です。「生活リズムの安定」「いろいろな味に親しむ」「コミュニケーションスキルの獲得」を目標として取り組んでいます。秋のハーベスト給食・卒業リクエストも行っています。生徒一人一人の摂食機能および食事動作の向上を目指し、普通食から準備食（裏ごし）までの5段階の食形態で給食室から提供しています。また、アレルギー対応も細やかに実施しています。



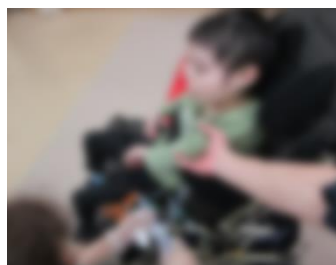
個別学習の様子



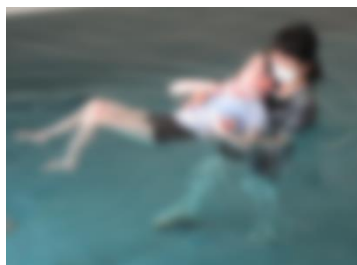
からだづくりの様子



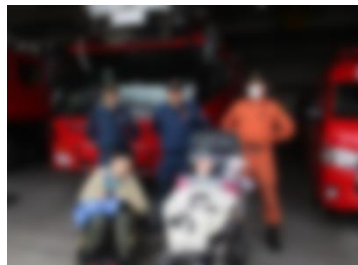
給食の様子



医療的ケアの様子



プールの様子



校外での学習の様子

■第1学年生徒の週時程表(例)

【普通科 第1学年の時間割】

	月	火	水	木	金
登校	9:15～ 登校・健康観察 9:30～ HR（朝の会）				
1	自立活動Ⅰ	自立活動Ⅰ	自立活動Ⅰ	自立活動Ⅰ	自立活動Ⅰ
生活	自立活動Ⅲ（20分）				
2	自立活動Ⅰ	HR	からだづくり	数学	社会
生活	自立活動Ⅲ（20分）				
3	プール	美術	社会	家庭科	からだづくり
給食	自立活動Ⅱ（80分）				
4	数学	国語	家庭科	職業	理科
下校	14:20～ HR（帰りの会） 14:30～ 下校				

* 登校時間 9:15

* 下校時間 14:30

■教育課程の特徴

毎日1校時に自立活動の時間を設け、学級職員と個別の課題に応じた活動を行っています。その日1日を学校で過ごすために心身を整える時間としています。

週に2回、からだづくりの時間が設けられ、本校の理学療法士、作業療法士と個の実態に応じた学習を行っています。

高等部では国語、数学、理科、社会、音楽、美術、保健体育、職業、家庭の各教科や道徳、特別活動の学習を行っています。集団学習と個別学習を組み合わせながら個々の目標達成に向けて学習しています。

社会では目的に応じ、近隣の公共施設や商業施設の利用、商店街との交流、散策活動などを行っています。

保健体育では通年で月に1回程度プール学習を行い、個別の課題に応じた水中での体の動きを学んでいます。

職業では、自分の過去や現在、卒後の生活について考えるキャリア教育を行っています。その一環として、施設実習のオリエンテーションや報告会などを行い、学部仲間と交流しながら学習しています。

特別活動として、学部集会や年2回の校外学習、宿泊行事、生徒会活動、学校祭、他校交流などを行っています。

■卒業後の主な進路先について（※令和5年度実績）

□ 福祉的就労（移行支援／就労継続B型／生活介護／自立訓練）～生活介護事業所 5名

※令和6年度は高等部卒業生の在籍はありませんでした。

学校Webページ



札幌市

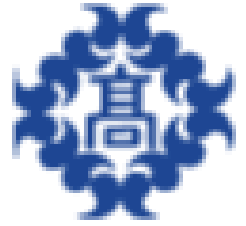
市立札幌豊明高等支援学校

寄宿舎：無

スクール便：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒002-8034 札幌市北区西茨戸4条1丁目1-1
- 問 合 せ 先 TEL 011-774-2222
FAX 011-774-0764
E-mail homei-h@sapporo-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.homei-h.sapporo-c.ed.jp/>



■本校の概要

□ スクールミッション（学校教育目標）

「自分の人生をより良く生きようとする生徒を育て
社会のウェルビーイングを実現します」

□ 私たちの教育理念（グラデュエーションポリシー）

生徒たちが、卒業した後も自分の人生をより良く生きようとするために、
目に見える成果だけでなく、目に見えない「根っこ」の育ちに目を向けたい。
そのために、豊明が大切にしたい3つの価値を、学校に関わる全ての人と
共有しながら学習活動を展開していきます。

□ 概 要

本校は、知的障がいのある生徒を対象とする札幌市立の養護学校（普通科）として、昭和52年度に開校し、平成5年度から職業学科を設置する高等養護学校となりました。また、平成29年度には校名を「市立札幌豊明高等支援学校」に変更し、職業学科を5学科（流通サービス科・クリーンサービス科・リサイクルサービス科・工芸ものづくり科・服飾ものづくり科）に再編しています。今年度は全校で118名の生徒が在籍しています。



■特色ある教育活動

【学科共通で大切にしている学び】

1 社会性と思いやりを仲間と学び合う

コミュニケーション活動を通して思いやりと社会性を学ぶプログラムを全校で展開し、学びの土台を築きます。

2 AARサイクルで主体的に学ぶ

学習の目的やゴールを見通し、自分に合った学び方で自分なりに行動し、どんな価値に気づいたかなどを振り返るというサイクルで、学習者主体の学びを大切にします。

3 「はたらく」を通して生き方を考える

「授業や学校での学び」と、「実習や現場での実践」の往還を通して、「はたらく」に向き合います。

【学科別の学び（実習）】

「流通サービス科」「クリーンサービス科」「リサイクルサービス科」「工芸ものづくり科」

「服飾ものづくり科」の5つの学科では、地域との連携による受注作業や、自主製品製作などの各学科の特色を活かした学習を行っています。（次ページ写真参照）

【学科別の学び（実習）】



リサイクルサービス科：
電子機器の解体



クリーンサービス科：
窓清掃



服飾ものづくり科：
ミシン掛け



工芸ものづくり科：
窯業製品づくり



流通サービス科：
自動販売機管理



現場実習

■第1学年生徒の週時程表(例)

	月	火	水	木	金
	朝の（自立）活動				
1		国 社 数 理 外			国 社 数 理 外
2	専門	家庭 ／ 美術	専門	専門	家庭 ／ 美術 ／ 保体
3		／ 保体			
4	各教科等 ／ 職業	国 社 数 理 外	国 社 数 理 外	道徳	HR 活動
5		職業	音楽/ 情報	国 社 数 理 外	HR 活動
6		総探	情報/ 音楽		

*登校時間 8:50（月・火・水・木・金）
*下校時間 15:05（月・木・金）
16:00（火・水）

■教育課程の特徴

- 1 専門（主として学科に開設される各教科）
学科ごとに、以下の教科を主に実習形式で学びます

学科名	学科に開設される教科名
流通サービス科	「流通・サービス」
クリーンサービス科	「家政」、「流通・サービス」
リサイクルサービス科	「工業」、「流通・サービス」
工芸ものづくり科	「工業」
服飾ものづくり科	「家政」、「工業」

- 2 各学科に共通して開設される各教科等
国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業、家庭、外国語、情報、特別の教科道徳、特別活動、総合的な探究の時間、自立活動があります。
- 3 自立活動
個別の「自立活動の目標」の達成を目指して学習します。課題別学習では、「健康」、「身体をつかう」、「まわりを見る」、「コミュニケーション」、「人間関係」、「心の安定」に関する活動を選択します。

■進路指導

専門教科や職業の学習等、校内で得た知識や経験を踏まえて、自分に合った進路を自己選択・自己決定できることを目指しています。

【進路指導の取組】

第1学年では、5日間の現場実習の中で、グループごとに4つの業種の職場体験と、1日かけて複数の企業および福祉事業所を見学する職場見学を行っています。
第2学年では、9月と10月に1週間ずつの現場実習を2回行い、その後に「進路ガイダンス」や「進路希望調査」で自分の希望する進路先（職種等）を決定します。
第3学年では、1学期に2週間、2学期にも2週間の現場実習を行って最終的な進路先を決定します。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- ☐ 一般就労（就労継続A型含む） ～25名【販売・流通業 福祉・医療業 事務 など】
- ☐ 福祉的就労（移行支援/就労継続B型/生活介護/自立訓練） ～7名【就労移行支援 就労継続B型など】
- ☐ 進学 ～1名【札幌高等技術専門学校】
- ☐ その他 ～1名

学校Webページ



札幌市

市立札幌みなみの杜高等支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒005-0012 札幌市南区真駒内上町4丁目7番1号
- 問 合 せ 先 TEL 011-596-0451
FAX 011-588-5020
E-mail minaminomori-h@sapporo-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.minaminomori-h.sapporo-c.ed.jp>

みなみの杜

■本校の概要

- 学校教育目標
「さあ 出発！～共に歩み 共に感じ 共にひらく～」

- 校 訓
「らしくあれ」

- 概 要
本校は平成29年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、地域や企業など社会とつながりをもちホンモノによる学習を行うことにより、自分らしく生き生きと社会の中で活躍する力を養うことを目指した教育を行っています。



■ 特色ある教育活動

自分らしく生き生きと社会の中で活躍する生徒を育てる

【 普通科（職業コース） 】

入学時に学ぶコースを決めず、広く柔軟に職業を学ぶことができます。そのため1年生で6つのコースを経験し、1年生の最後に2年間学びを深めるコースを選択（コース定員有）します。所属コースが決定した後も他コースで学ぶことができる仕組みがあります。普通科というのは学科を選択しないという意味で、進学を目的とした学習を行うという意味ではありません。

【 協育 ～ 地域社会との協働による専門的な教育 ～ 】

企業等の協育アドバイザー、ゲストティーチャーからの専門性の高い現場の学びを実現しています。また、地域へ積極的に出向きホンモノの学びを積み重ねます。協育サポーター（地域の方、卒業生や卒業生の保護者など）にもお手伝いいただき「地域で」「地域と共に」学ぶことを大切にしています。

【 杜cafeを中心とした6つの職業コース 】

令和6年度より、職業コースを6コースに再編しました。接客・流通業、食品製造業、農業・食品加工業、製造・整備業、介護・保育業、清掃・美装業の6つの業種で、コースを運営・経営しながら働く力を育てます。またそれぞれの専門性でカフェを支え、つながりあう社会の産業構造を学びます。

【 ふりかえり、挑む 】

ふりかえること、変化を恐れず挑戦することを大切にしています。自分で考え、動き、結果を受け止め、ふりかえり、相談し、次へつなげる。みなみの杜は生徒が主役の学校です。

【 自己選択・自己決定を支える進路支援 】

3年間で約90日、約20ヶ所の職業体験をしながら、自分の適性を知り職業観を広げ勤労観を深めていきます。その上で、何度も自分をふりかえり、自らの進む道を探っていきます。みなみの杜では本人の納得感を大切にした進路支援をしています。



杜カフェ



協育アドバイザー



地域協働



ふりかえり



協育実習



部活動

■第1学年生徒の週時程表(令和7年度)

	月	火	水	木	金
	生活基礎				
1	LHR	職業Ⅰ	家庭	教科	保健 体育
2	家庭	実習	情報	職業Ⅰ	
3	情報		教科	実習	総合
4	生活基礎		生活基礎		総合
5	教科		音楽		LHR
6			美術		

総合：総合的な探究の時間

教科：国語・社会・数学・理科が入ります

※ 時期によって協育実習が入ります

* 登校時間 8:40

* 下校時間 14:25 (月・火・金)

15:20 (水・木)

■教育課程の特徴

地域社会の現場から学ぶことや主体的に学びを創り上げることが大切になっています。

□ 生き抜く力を育てる学び（教科学習）

受験を目指した知識を身に付ける学習ではなく、教科の専門性に触れおもしろさを感じたり、学んできた学習と生活を結び付ける学習をします。意見を交流して自分なりの考えをもったり、共同して企画実施をしたりしながら学んでいきます。

□ 働く力を育てる学び

生徒主体のコース運営で、主体的に組織の中で仕事をするを学びます。プロからの最新で専門的な指導、質の高い授業で技術と想いをもったみな杜らしい未来の職業人になっていきます。現地で学んでくる現地学習、地域で働く地域実習、共に創り上げる地域協働、様々な学び方で即戦力が育ちます。

□ 生徒会、局・部活動

生徒会、学級代表による全校協議会、放送局・図書局などを通して自分たちで学校を作り上げます。その他、放課後には部活動があります。令和6年度は、8つの部活動が活動しています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

令和7年6月時点

- 一般就労（就労継続A型含む） ～40名（76.9%）【企業26、継続A14】
- 福祉的就労 ～12名（23.1%）【移行4、継続B型8、その他0】
- 進学 ～2名（ハローワーク分類により%に含まない）

※本人の納得感を大切にした進路支援

（自己選択・自己決定への納得感100% 卒業時の生徒アンケートより）

学校Webページ

